

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第174集

井 通 遺 跡

井伊谷川流域の遺跡 II

平成8~18年度 二級河川井伊谷川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

文字資料編

2007

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

卷首図版



井通遺跡 大溝出土 墨書き土器

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第174集

井 通 遺 跡

井伊谷川流域の遺跡 II

平成8～18年度 二級河川井伊谷川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

文字資料編

2007

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

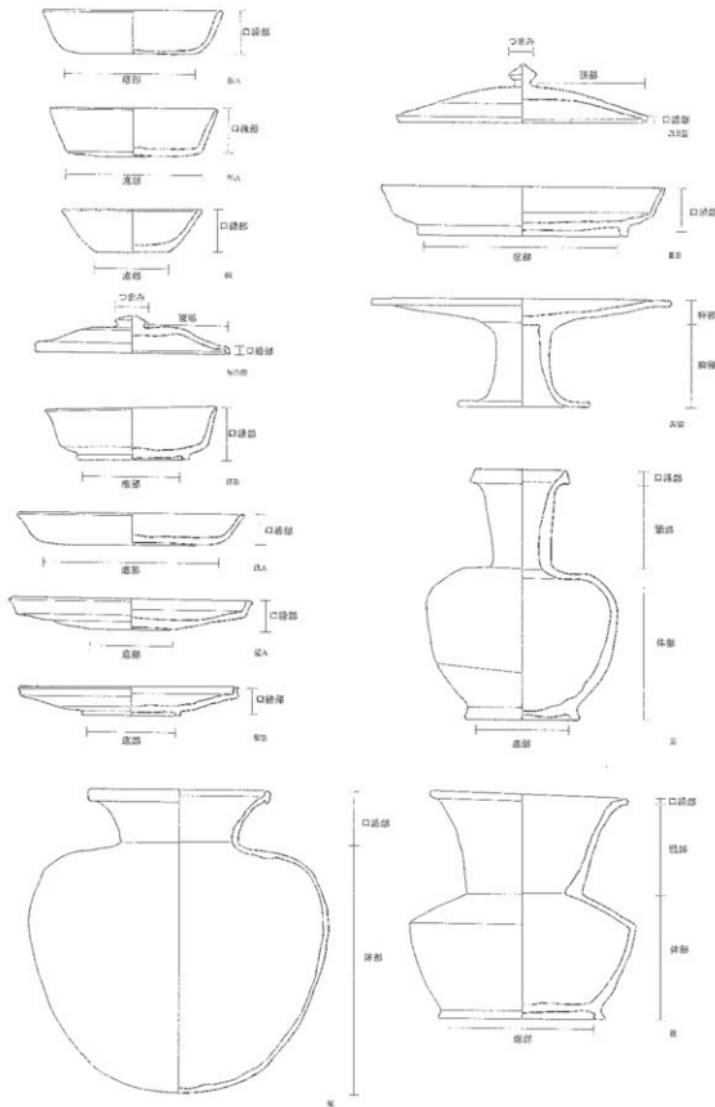
例　　言

- 1 本書は静岡県引佐郡細江町（現浜松市細江町）広瀬に所在する井通遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本書は井通遺跡における古墳時代中期以降の調査を報告するものであり、本文編Ⅰ・本文編Ⅱ・図版編・文字資料編の4分冊で構成している。本冊はこのうち文字資料編である。
- 3 文字資料編は、井通遺跡の発掘調査で出土した古代の墨書き・刻書き土器などの文字資料を編集・収録した。
- 4 文字資料編は、調査研究員 丸杉 俊一郎が執筆した。
なお、本文編の執筆者名は、本文編Ⅰ例言に記した。
- 5 文字資料の訳文には、平川 南氏（国立歴史民俗博物館）のご指導を賜った。
また、向坂 譲二氏（当研究所評議員）からは、文字資料をはじめとする遺跡の総合的指導を得た。
- 6 調査体制等は、本文編Ⅰに記載している。
- 7 本書の編集は丸杉を担当として、財團法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所が実施した。
- 8 発掘調査資料及び出土遺物は、静岡県教育委員会が保管している。

凡　　例

- 1 遺物番号は墨書き土器に3000番台、刻書き土器には4000番台を付した。
- 2 資料は、遺構ごとにまとめて訳文を示した。訳文の後に、出土遺構・層位・グリッド、土器の種類・器種、記載部位を示した。さらに、墨痕・失墨が確認されたものは明記した。また、土器の法量として口径・器高・底径・高台径の順に示し、反転したものには（ ）を付した。
- 3 訳文はすべて横書き1行に書き改めた。また、縦字に際しては、原則として現行の常用漢字を用いた。
- 4 訳文に用いた符号は以下のとおりである。

□□□	残痕があるものの、訳読不能のもの
[]	文字数の確定が困難なもの
[a]	残画から文字を推定し、□の後に用いて注記したもの
()	省書・記号・説明註
/	一連の文字列と認められないもの
.	同一個体で記載部位が異なるもの
- 5 「+」もしくは「×」のいずれか判断できない記号は、訳文を「×」で統一した。
- 6 大溝の地域区分は、本文編Ⅱ第6章第1節に示した。
- 7 墓痕・筆ならし類は収録の対象外としている。
- 8 図版の縮小はすべて1/2に統一した。
- 9 図版・写真図版は、基本的に訳説した文字の方向に合わせて配置した。
- 10 土器の器種は、本文編Ⅰ第3章第3節に示した。
- 11 記載部位の名称は、次頁に示した基準を使用した。



各種器の部位名称

井 通 遺 跡

—文字資料編—

目 次

卷首圖版

例 言

凡 例

第 1 章 序 言 1

第 2 章 遺構概說 2

第 3 章 資料概要 5

第 4 章 積 文 11

図 版

写 真 図 版

報告書抄録

図版目次

- Pl. 1～29 人溝出土 墓寄土器 1～29
Pl. 30～44 S D3004出土 墓寄土器 1～15
Pl. 45～57 第3調査面出土 墓寄土器 1～13
Pl. 58～82 第2調査面出土 墓寄土器 1～25
Pl. 83～85 包含層出土 墓寄土器 1～4
Pl. 86～89 刻書土器 1～4

挿図目次

- Fig. 1 南部微高地 遺構配置図 3
Fig. 2 S D3004 F層 墓寄土器等出土状況 4
Fig. 3 井通遺跡墓寄土器出土状況 5
Fig. 4 出土遺構の種類割合 6
Fig. 5 大溝墓寄土器出土状況 6
Fig. 6 主要墓寄土器出土地点 8
Fig. 7 大溝出土主要墓寄土器出土地点 9

写真図版目次

- 卷首図版 井通遺跡 大溝出土 墓寄土器

Ph. 1 大溝出土 墓寄土器 1
Ph. 2 大溝出土 墓寄土器 2
Ph. 3 大溝出土 墓寄土器 3
Ph. 4 大溝出土 墓寄土器 4
Ph. 5 大溝出土 墓寄土器 5
Ph. 6 大溝出土 墓寄土器 6
Ph. 7 S D3004F上 墓寄土器 1
Ph. 8 S D3004出土 墓寄土器 2
Ph. 9 S D3004出土 墓寄土器 3
Ph. 10 第3調査面出土 墓寄土器 1
Ph. 11 第2調査面出土 墓寄土器 1
Ph. 12 第2調査面出土 墓寄土器 2
Ph. 13 第2調査面出土 墓寄土器 3
Ph. 14 第2調査面出土 墓寄土器 4
Ph. 15 包含層出土 墓寄土器
Ph. 16 刻書土器

表目次

- Tab. 1 墓寄土器種類別比率 7
Tab. 2 墓寄記載位置 8
Tab. 3 墓寄土器種類表 36
Tab. 4 刻書土器一覧表 38

第1章 序 言

墨書き土器・刻書き土器は上器から得られる知見だけではなく、文字・記号等の情報が加わることにより、遺跡の機能・性格を評価する際に極めて貴重な資料となる。井通遺跡の調査においては、古代の墨書き土器545点、刻書き土器22点が出土している。この文字資料編は、古代における墨書き土器・刻書き土器の文字資料を報告するものである。

井通遺跡の発掘調査では、古代に限定しても膨大な量の土器類が出土している。井通遺跡出土土器総数は把握していないが、古代の上器類の中で墨書き土器・刻書き土器が占める割合は2割を超えることはないと推定される。まとまった量の土器類、墨書き土器が出土した遺構から墨書き率を検討してみると、大溝では土器類出土総量1635点（須恵器1202点・土師器433点）のうち、墨書き土器は194点（須恵器179点・土師器15点）で墨書き率は11.9%である。大溝に接続する溝・S D3004では土器類出土総量341点（須恵器268点・土師器73点）のうち、墨書き土器は64点（須恵器57点・土師器7点）で墨書き率は18.8%である。これらは墨書き土器の出土量が多い遺構の例であり、他の遺構では墨書き率はより低くなる。この成績を勘案すれば、墨書き土器は特殊な性格をもつ土器といえる。

墨書きは須恵器・土師器・灰釉陶器にみられるが、須恵器が全体の90%以上を占める。墨書きされる器種には、杯・皿・蓋・盤など多様にわたるが、量的な比率をみると杯類・蓋類に集中している。蓋類などの狩猟形態の上器類を除けば、供給用食器類に墨書きされた数は95%以上であり、墨書きされる土器の種類・器種は偏在する傾向にある。

墨書き土器の記載内容は、郡名・官職名・施設名・人名・地名・器名・數詞等がみられる。字数も1字のものから2字以上のものまで多様である。また、少數ながら記号・吉祥句・習書なども認められる。記載内容では「引佐」「引佐…」「川戸」など、非運遺跡の機能を追求するうえで重要な資料が多数確認されている。

刻書き土器には、明らかに文字として認められるものや、供給先を記したものが出土地で出土している。文字として刻書きされたものは全て須恵器であり、生産地で須恵器が生乾きの状態で窯やその他の器具で刻まれたものである。これらは共通して特徴的な胎土・焼成であることから、同一の工人集団によるものとみられる。この他、絵画と推定されるものが出土している。記号と捉えられるものも認められるが、盤・皿類の内面に刻まれたものは食器の機能を放棄したものであることから刻書に含めた。また、蓋の内面に刻まれたものでも、一般的に線刻される範記号とは明らかに線種の異なるものは刻書きとして区別した。

墨書き土器・刻書き土器の多くは、破碎され投棄されたものである。しかし、その分布は均質ではなく、井通遺跡の南部斜高地に大きく偏った状況を看取できる。この地域では、大溝や總括施設を含む多くの獨立柱建物が出土され、陶瓶・朱墨付着土器・分銅・陶製計量器などが出土している。これら大溝と建物配置・出土遺物と「引佐」「引佐…」「川戸」などの墨書き土器から、井通遺跡は古代水上交通の機能を有する港湾関連施設として評価できる。

文字資料編の作成においては、国立歴史民俗博物館・平川 南氏による墨書き土器・刻書き土器を総覽・収録・指導していただいた。また、浜松市博物館元館長・向坂 錠二氏には墨書き土器をはじめ調査研究方法・静岡県内における各事例についてご教示いただいた。

第2章 遺構概説

井通遺跡の墨書き土器と刻書き土器は、大溝・溝・土坑・掘立柱建物柱穴内・竪穴建物・包含層などから出土している。このうち、遺構内から最も多く出土したのは大溝であり、次いで大溝に接続する溝・SD3004である。竪穴建物や柱穴内から出土した墨書き土器、刻書き土器は混入した可能性が高く、特に第2調査面で検出された諸遺構にはその傾向が強いことを指摘できる。

ここでは、井通遺跡出土墨書き土器の約50%が出土した大溝とSD3004について概説する。大溝・SD3004では、出土層位が判明する資料については層位ごとに記述を掲載した。ここで記述できない遺構については、本文編を参照していただきたい。

大溝 南部敵高地を亘り135mにわたり南流する遺構である。幅は平均7.1m、大溝が東へ大きく拡張する部分では最大16.5mとなる。大溝は検出面からの深さ平均0.6m、底面は比較的幅広い形状を呈する。大溝は東側に展開する古代漏立柱建物群と時期的にも共存して機能していたことが判明する。また、大溝に直交して接続する溝が検出されており、この溝により大溝を5地区に分割できる。

大溝出土遺物として、須恵器・土師器・墨書き土器・陶器・転用碗・朱墨付骨土器・分銅・陶馬・轍足付短頭壺・水滴等が確認されている。

大溝堆積土は全体的に粘性がやや強く、大溝の底面比高差も小さいことから、水流は非常に緩やかであったものと思われる。大雨などにより一時に水流が早まるることはあったにせよ、當時急激な水流にさらされていたとは考えがたい。したがって、土器や金属製品などの比重の高い遺物は大溝上流から流れてきたものではなく、投棄された地点からあまり移動していないものと考えて大溝ないであろう。

大溝の層位は多数に分層されるが、基本的には上面からI～V層に分けられる。各層の出土土器をみていくと、IV層からは量は少ないが7世紀末～8世紀初頭の上器が含まれており、この頃には大溝が形成されていたと考えられる。II～IV層における遺物の半数は、8世紀末葉～後葉頃を中心とした時期に比定できる。そのうち、中層であるIII-c層は炭・焼土を多量に含む灰褐色粘質土であり、大溝の他の堆積土とは明確に判別できる。III-c層は大溝南半でのみ確認され、一括りの高いまとった遺物の出土があった。堆積層の状況を勘案すると、系統的に投棄行為を行い、特に漏水状況が窺えるIII-c層が形成される段階にまとまって廃棄され、以後急速に堆積が進行したものと想われる。大溝が埋没する時期は、上層のII層から8世紀末葉頃の土器が含まれていることから、この頃には完全に埋没し機能を停止したものと思われる。

大溝に設けられた施設として、大溝落込部と大溝突堤部を遺構の検出状況から確認した。

大溝落込部は、直線的な流路が東へ大きく屈曲し、他の大溝底面より深くなる箇所である。規模は南北7.5mにわたり東へ5.2m入り江状に張り出している。また、検出面から最も深い箇所では深さ58cm、大溝底面との比高差は約20cmと深く落ち込んでいる。大溝落込部内では、直線に並ぶ直径30～50cmほどの柱穴を3基確認しており、大溝を航行する舟の繩留用柱、若しくは横樋の一部である可能性を考えられる。

大溝突堤部は、大溝が東へ5mほど鈎手状に屈曲して検出された箇所である。この箇所は再度南へと屈曲した際、西岸に階段が設けられることにより長さ1.3m・幅1.5mにわたり大溝内に突き出る部分が形成されている。この部分は大溝堆積土とは明瞭に異なり、基盤層を残り残していたことが確認され、大溝開削当初より計画的に配置されたことが窺える。大溝突堤部は大溝の流路幅を狭める役割となつて



Fig. 1 南部微高地 造模配圖

おり、大溝突堤部以南では出土遺物が著しく減少している。したがって、大溝突堤部周辺が南部微高地に展開した建物群の南限付近と認識されていたと考えられる。

S D3004 大溝に対してほぼ直交して接続し、東西方向に舌状に張り出して検出された溝である。

大溝接続部からの全長5.37m、最大幅は2.15mである。深さは大溝接続部で38cm・中央部では64cmとなり、中央部に向かい規模を増している。堆土は大きく上層・下層の2層に分層でき、ともに炭・焼土を多量に含んでいた。上・下層ともに多くの遺物が出土しており、上層では円面鏡・鈴帶金具・下層では獸脚鏡・移動式鏡・土馬などが出土している。墨書き器は下層から多量に出土している。出土遺物は大溝と接合できる資料も確認されており、大溝との関連性が窺える。周辺の建物や大溝との切り合いが認められず、大溝底面で接続していることから、大溝との関連が開削当初より窺える。周辺遺構や出土遺物から、大溝・他の大溝と接続する溝と同様8世紀後葉頃まで機能を有し、急速に埋め戻されたものと考えられる。

S D3004と同様、大溝に接続する溝として南から S D3001・3005・3007・3009・3010が検出されている。しかし、S D3001で墨書き器2点・刻書き土器1点、S D3010で墨書き器が1点出土したのみであり、出土量に明瞭な差異が認められる。

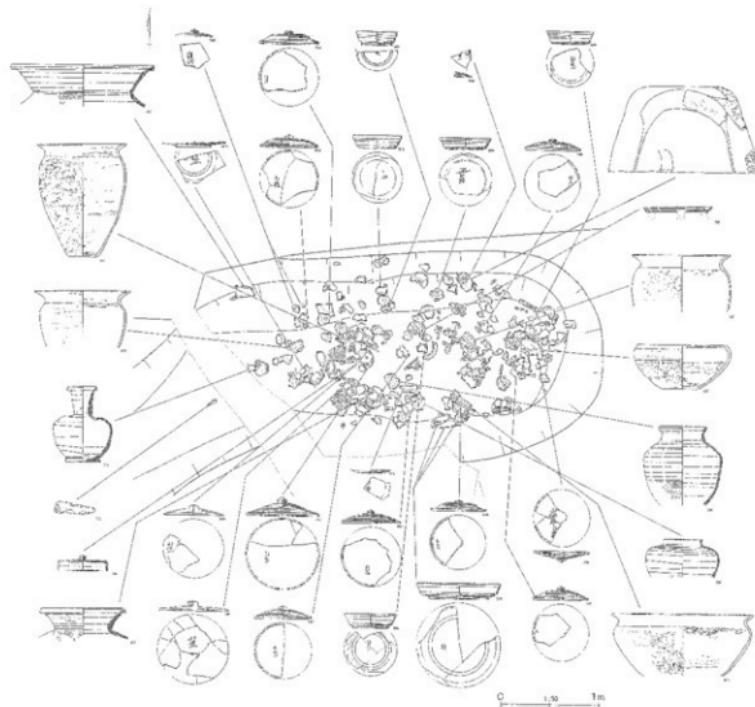


Fig. 2 SD3004下層 墨書き土器等出土状況

第3章 資料概要

井通遺跡から出土した墨書き土器・刻書き土器について概要を示す。なお、ここで記述する墨書き土器・刻書き土器の概要是古代に限り、中世の資料は割愛している。

出土傾向 井通遺跡における墨書き土器出土状況をFig. 3に示した。井通遺跡は地理的要因・遺構状況から北部微高地・中央部低地・南部微高地の3地域に分割されるが、墨書き土器の分布密度には眞密が存在する。3つの地域では南部微高地が最も出土量が多く、出土点数の9割以上を占める。しかし、南部微高地の広域で墨書き土器が出土する様相ではなく、南側に集中する傾向がある。北部微高地は出土点数が少ないが、ここでも微高地内全域で出土するものではなく、北部微高地南側に限定される点を確認できる。つまり、墨書き土器の出土傾向は遺跡全域、及び微高地内において均質的ではないことを指摘できる。このことは、墨書き土器の分布が遺跡内の空間利用を考える上で有効な資料となることを示している。

刻書き土器は22点出土しているが北部微高地出土は1点のみであり、南部微高地に集中する傾向にある。

Fig. 4に墨書き土器が出土した遺構の種類・割合を示した。墨書き土器の36%が大溝から出土しており、続いて溝からの出土が多い。溝のなかでも大溝に接続するS D3004からの出土が最も多く、墨書き土器全体でも12%を占める。大溝に接続する溝を相互に有機的関連をもつ遺構として一括すると、墨書き土器のほぼ半数がこれらの遺構から出土したものと確認できる。

墨書き土器が多数出土した大溝・溝からは他の遺物も多く出土しており、墨書き土器が限定して出土した状況ではない。墨書き土器も不要となれば、他の多くの土器類などとともに投棄されたものであろう。しかし、Fig. 5に示したように大溝内でも

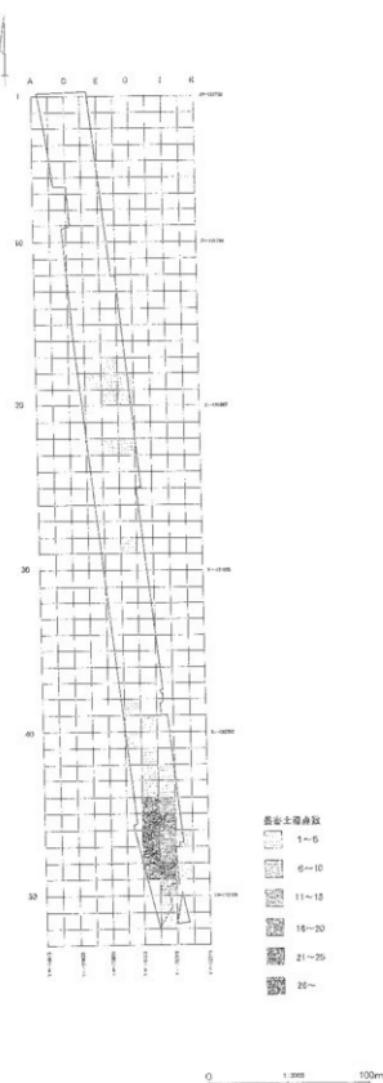
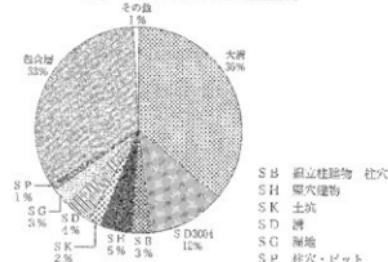


Fig. 3 井通遺跡墨書き土器出土状況

Fig. 4 出土遺構の種類別割合



墨書き土器の分布には偏在傾向が認められ、44～48グリッドの範囲からの出土が圧倒的多数を占める。したがって、墨書き土器を含めた土器類などを大溝に廃棄する際には、一定の原理が働いていた点を指摘できる。

墨書き土器は建物柱穴・土坑・溝状遺構からの出土もみられるが、下層から混入したものも多く含まれている。包含層からの出土は細片が多く、遺跡の削平状況も考慮する必要があるが、南部敵高地からの墨書き出土総数の優位性に変化はないであろう。刻書き土器の出土遺構の種類も墨書き土器と同様の傾向を示している。

他方、北部敵高地を南流する自然流路・S R3201からは多くの土器類が出土しているものの、墨書き土器は確認されていない。北部敵高地は墨書き土器の出土点数自体少ないが、地域だけではなく遺構の種類でも出土傾向に差異が認められる点は注意される。

土器の種類 墨書きが記された土器には、須恵器・土師器・灰陶陶器がある。須恵器と土師器の割合では須恵器493点・土師器32点であり、須恵器が90%以上である。墨書き土器としては須恵器の割合が高いが、土器類が多量に出土した人溝・SD3004の集計を比較すると須恵器が70%以上の比率を有しているため、須恵器への墨書き率が段階的に高いという指摘はできない。

器種ごとの比率をみると、須恵器では杯類と蓋類で98%を占めて他の器種を圧倒しており、特に杯Aと杯B蓋で墨書きされた須恵器の80%近くを占

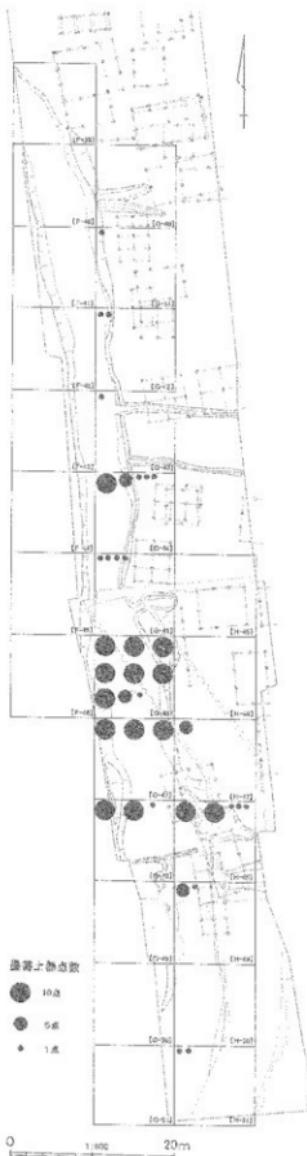


Fig. 5 大溝墨書き土器出土状況

Tab. 1 墓寄土器種類別比率

				杯A	140	28.4%		
			157	杯B	11	2.2%		
				杯B b	1	0.2%		
				杯C	5	1.0%		
			36	皿A	30	6.1%		
		杯類	226	45.8%	皿B	6	1.2%	
				盤A	4	0.8%		
			17	盤B	10	2.0%		
				盤C	3	0.6%		
須恵器	493	90.5%		2	碗C	2	0.4%	
			14	杯A?皿A?	12	2.4%		
				皿B?盤B?	2	0.4%		
				杯B蓋	243	49.3%		
		蓋類	260	52.7%	皿B蓋	11	2.2%	
				平頂蓋	6	1.2%		
		高盤	4	0.8%	高盤	4	0.8%	
		壺類	3	0.6%	壺	2	0.4%	
			3		壺?壺?	1	0.2%	
		計	493	100%	合計	493	100.0%	
				杯A	10	31.3%		
			11	杯B	1	3.1%		
		杯類	19	59.4%	皿A	3	9.4%	
土師器	32	5.9%		5	杯?皿?	5	15.6%	
				蓋	12	37.5%		
			12	蓋B	12	37.5%		
		高盤	1	3.1%	高盤	1	3.1%	
			32	100%	合計	32	100.0%	
灰陶器	20	3.7%	碗類	20	100%	碗	20	100.0%
			計	20	100%	20	100.0%	
総計	545点							

有する。高盤や壺類などの中・大型品は数%を有するに過ぎない。土師器でも同様の傾向を示しており、土器類の各器種において供膳形態を中心に墨書き上層が確認されている。大溝やSD3004から出土する一般的な土器類の器種構成比も供膳形態が主体であることから、墨書き土器の器種についても井通遺跡の土器様相をほぼ反映したものとなっている。

刻書き土器は1点を除き須恵器で占められる。特に、確實に文字として認読できる記載内容の土器は、須恵器に限定される。また、刻書きは多様な器種にみられるが、盤Aには共通した記載内容・焼成・胎土などの特徴を有する。これは刻書きされた須恵器の生産は同一の工人集団によるものと捉えられ、井通遺跡の生産地との関連を窺う上で興味深い。

記載部位・須恵器・土師器・灰陶器の各器種について、墨書きされた部位をTab. 2に示した。墨書き部位が數ヶ所に及ぶ場合は、それぞれ1点として数えたため累計となっている。

集計結果によると須恵器・土師器を問わず、杯類では底部外側・蓋類では頂部内面に墨書きされたものが圧倒的多数を占める。この成果からは、墨書きされる部位に関しては何らかの規範が存在した可能性が

Tab. 2 墓寄記載位置

記載位置	須恵器				灰釉陶器				土器			
	新・原・延・清・奇・延・延・津	新・原・延・高・高・延・延・津										
口縁部内面	3	1			1				8			
底部内面	4											
底部外面	221	3	18						14			
頂部内面	228		12									
頂部外面	32											
脚部内面		3			1							
脚部外面												
体部内面												
体部外面												
合計	223	260	4	3	19	12	1	0	22	0	0	0

指摘できる。また、墨書きされる部位は供膳形態では正位に設置した際に使用に影響のない部位に記載されていることから、食器本来の機能を優先させた結果と捉えられる。井通遺跡においては蓋類の墨書きは頂部内面に記すのが例例であるが、平城宮では約60%が頂部外面に施されると指摘されている（神野2003）。この背景として、須恵器杯蓋の頂部内面を裏面とした転用窯の習書きと捉えられている。井通遺跡でも墨痕・朱墨が付着している須恵器杯蓋が確認されているが、頂部内面に墨書きとともにみられる資料は11点を数えるに過ぎないため、平城宮とは別の記載契機が存在するとみられる。

刻書き土器では記載される部位に顕著な偏りはみられない。確実に文字として認識できる刻書は、須恵器・盤の底部外側だけでなく、内面に記されているものも認められている。このことは、食器本末の機能を放棄したものであり、土器類に墨書きする行為とは異なる理念が働いていた可能性を指摘できる。焼成前に刻書きされることから、生産当初より用途が明確になっていたことを示すものであろう。

記載内容 墓書き土器の記載内容は多様であるが、ここでは出土位置と記載内容の相関関係について概観しておく。なお、灰釉陶器に記された資料は省略した。

43グリッドライン以北は、墨書き墨點数が激減するとともに數種の記載内容が確認されるに過ぎない。記載内容に多くの種類が認められるのは44～49グリッドまでに限定でき、出土土器の集中傾向と対応した状況である。この範囲は大溝に接続する溝が配置されており、北側にS D3005・3007、南側にはS D3001が検出されている。また、南部微高地の掘立柱建物群とは別の棟方位を採用する建物も検出され、S D3005・3007-S D3001間が密に区画されていたことを示している。したがって、南部微高地に展開された掘立柱建物群はS D3005・3007を境に南北で機能が異なっていたことが遺構・遺物の両面から指摘できる。

人名・「川戸」と記載された墨書き土器は狭い範囲に出土が限定され、特に「川戸」は大溝46～48グリッド・S D3004でのみ出土する墨書き土器である。大溝では、人名と「引佐大」と記載された墨書きには出土範囲が重複することが看取される。「引佐」「引佐一」など郡名を冠する墨書きや、「百」はやや広範に分布が認められる。「百」は9世紀以降も土器類に記載されており、長期間継続して墨書きされる点に特徴がある。北部微高地で唯一、「引佐一」と記載された墨書き土器が出土した範囲の周辺は掘立柱建物群が配置される点は注目される。北部微高地における7世紀代の掘立柱建物は、微高地西側に位置する自然流路・S R3201に規制された棟方位を採用している。しかし、8世紀代には南部微高地の建物群が類似した棟方位に変更することが指摘でき、埋物の変化と墨書き土器の出土は無関係ではないと推察される。

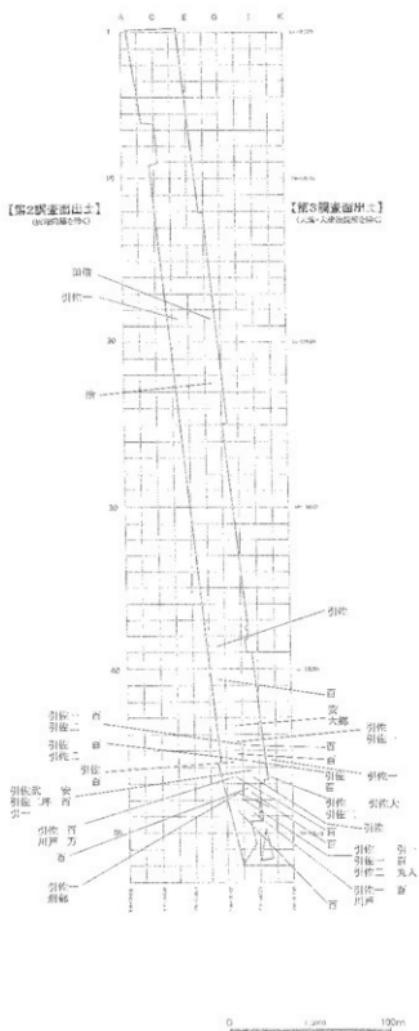


Fig. 6 主要露骨土器出土地点

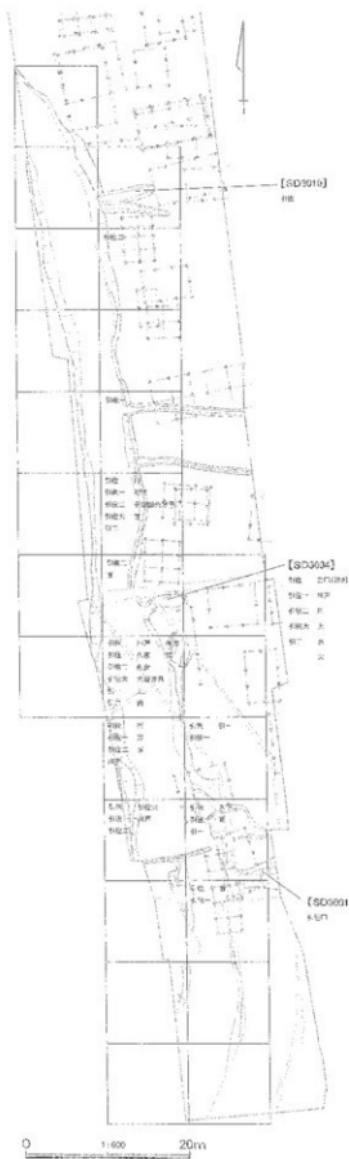


Fig. 7 大洞出土主要露骨土器出土地点

刻畫土器の記載内容は、「大」・「大一」と「□〔引か〕」が大半を占める。「□〔引か〕」は郡名の引佐を示すものと捉えられる。焼成後に刻畫されたものは1点のみであり、記号とも絵画とも判断できる。絵画の場合には舟の航路を示す標識である²⁵²⁵落標とも推測されるが明確ではない。墨書き・刻畫とも記載された資料は1点のみであった。

掲載資料の年代 文字資料欄に収録した墨書き土器・刻畫土器の文字資料は、8世紀代に属するものを中心とした資料群である。井通遺跡では、7世紀後半の文字資料は現在まで確認されていない。8世紀御頭へ中葉頃の資料は、出土遺焼・層位から判断すれば出土傾向を確認できるが、量的には少ない。文字資料がまとまって出土した大溝・S D3004などは、出土土器の示す年代観の中心は8世紀後葉頃であり、出土土器総量と文字資料の年代的増加傾向は相関関係があると認められる。大溝は遺跡の機能を考慮すれば、洗浄を頻繁に実施したことか推測でき、結果としてそれ以前の堆積層が遺存しなかった可能性も考慮すべきである。しかし、8世紀前半の文字資料は細片を含めても比率として極めて低く、8世紀後葉頃に文字資料が増加するのは井通遺跡の様相を反映していると捉えられる。

9世紀になると文字資料は減少していく、10世紀後半以降には中世に到るまで文字資料を確認できない。井通遺跡では「百」以外に継続して墨書きされる記載内容は確認できず、一文字や字義不明な資料が増加していく。したがって、全国各地の墨書き土器の動向と同じく、この時期には8世紀の墨書き土器とは機能・性格が変容したものと考えられる。

参考文献

- 石川県埋蔵文化財保存協会 1997 「石川県出土文字資料集成」
- 石川県埋蔵文化財保存協会 1998 「古代北陸と出土文字資料」
- 金沢市教育委員会 1993 「上荒屋遺跡（二）」
- 神野 恵 2003 「第3章 平城宮出土墨書き土器について」『平城宮出土墨書き土器集成Ⅱ』
- 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所
- 奈良国立文化財研究所 1993 「平城宮出土墨書き土器集成Ⅰ」
- 奈良国立文化財研究所 1989 「平城宮出土墨書き土器集成Ⅱ」
- 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 2003 「平城宮出土墨書き土器集成Ⅲ」
- 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 2003 「古代官署・施設と墨書き土器」
- 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 2004 「古代の官署遺跡 II 遺物・遺跡編」
- 奈良市教育委員会 2002 「平城宮跡出土墨書き土器資料」（第一分冊）
- 奈良市教育委員会 2002 「平城宮跡出土墨書き土器資料」（第二分冊）
- 浜松市教育委員会 1980 「伊藤選林遺物編2」
- 平川 南 2000 「墨書き土器の研究」吉川弘文館
- 岐阜市教育委員会 1985 「板尻遺跡－奈良時代編－」
- 鷹栖市教育委員会 1991 「日本住宅公團鷹栖地区埋蔵文化財発掘調査報告書－奈良・平安時代編－志太郡遺跡（御子ヶ谷遺跡・秋合遺跡）」

第4章 积 文

大清

3001 引佐一

大清 上層 IV区 G-44
 須恵器・皿A 底部外面
 (16.6)・2.7・(16.6)

3002 引佐二

大清 上層 直区
 須恵器・杯A 底部外面
 - - - (2.0)

3003 引二

大清 上層 直区 G-44
 須恵器・皿A 底部外面
 (16.6)・2.2・(12.2)

3004 百

大清 上層 直区 G-44
 須恵器・杯B蓋 顶部外面
 - - -

3005 百

大清 上層 直区 G-45
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 (13.2)・-

3006 大口口

大清 上層 直区 G-45
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 - - -

3007 引佐

大清 上層 IV区 G-47
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 (14.9)・-

3008 引佐

大清 上層 IV区 G-47
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 (15.2)・-

3009 引佐

大清 上層 IV区 H-48
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 - - -

3010 引佐二

大清 上層 IV区 G-48
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 13.1・2.6

3011 引佐二

大清 上層 IV区 G-48
 須恵器・杯A 底部外面
 (11.6)・3.4・(6.7)

3012 引佐二

大清 上層 IV区 G-47
 須恵器・杯A 底部外面
 - - - (3.9)

3013 百

大清 上層 IV区 G-46
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 - - -

3014 百

大清 上層 IV区 G-47
 須恵器・杯A 底部外面
 - - - (9.6)

3015 百

大清 上層 IV区 H-48
 須恵器・杯B蓋 顶部内面
 12.4・-

3016 万

大清 上層 IV区 G-47
 須恵器・杯A 底部外面
 (10.5)・3.8・(8.7)

3017 □ [引] □

大清 上層 IV区 H-48
 須恵器・盤B 口縁外側
 - - - (8.0)

3018 □

大清 上層 IV区 G-46
 須恵器・杯B蓋 顶部外面
 (14.6)・-

3019 □

大清 上層 IV区 G-46
 須恵器・皿A 底部外面
 - - - (8.0)

3020 □

大清 上層 V区 H-51
 須恵器・杯A?皿A? 底部外面
 - - - (7.4)

3021	引佐一	大溝 中層 Ⅱ区 G-43 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.2) · -	3031	百	大溝 中層 Ⅲ区 G-45 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.0) · 4.2
3022	引佐二	大溝 中層 Ⅲ区 G-41 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (16.0) · -	3032	初万	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯A 底部外面 (12.0) · 3.8 · (7.3)
3023	口引佐	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - · -	3033	子志部公万呂	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯A 底部外面 (13.8) · 5.1 · 9.5
3024	引佐口	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.6) · -	3034	口大	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯A 底部外面 - · - · -
3025	引佐二	大溝 中層 Ⅲ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - · -	3035	引佐	大溝 中層 Ⅳ区 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.0) · -
3026	川	大溝 中層 Ⅳ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部外面 内面に赤鉄・朱墨 12.2 · -	3036	引佐	大溝 中層 Ⅳ区 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部外面 内面に朱墨 - · -
3027	百	大溝 中層 Ⅳ区 G-44 須恵器・杯A 逃逸外面 - · - · (7.6)	3037	引佐	大溝 中層 Ⅳ区 H-47 須恵器・杯C 底部外面 12.8 · 4.0 · 6.4
3028	百	大溝 中層 Ⅳ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に墨痕 - · -	3038	引佐一	大溝 中層 Ⅳ区 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.0) · 3.2
3029	百	大溝 中層 Ⅳ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (12.2) · -	3039	引佐一	大溝 中層 Ⅳ区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - · -
3030	百	大溝 中層 Ⅳ区 G-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.0) · 3.1	3040	佐一	大溝 中層 Ⅳ区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (17.2) · -

3041	引佐一	大溝 中層 IV区 G-45 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3051	引佐二	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.4) - 2.0
3042	引佐一	大溝 中層 IV区 G-45 須恵器・杯B蓋 顶部内面 14.3 - -	3052	二	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外側 (10.6) - 3.6 - (5.6)
3043	引佐一	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 13.4 - 3.5	3053	引佐二	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯A 底部外側 (13.4) - 3.7 - (9.0)
3044	引佐一	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.6) - -	3054	引佐二	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外側 - - - , (10.0)
3045	引佐一	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.2) - -	3055	□ [引] 佐二	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外側 - - - -
3046	佐一	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯B 底部外側 - - - , (9.0)	3056	引	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3047	引佐一	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・皿A 底部外側 - - - , (16.7)	3057	引□ [佐]	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3048	引佐一	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯A 底部外側 (13.3) - 3.6 - 10.0	3058	引	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3049	引佐一	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯A 底部外側 15.8 - 4.9 - 13.2	3059	引佐□ [-]	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外側 - - - -
3050	引佐一	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・高體b 脚部内面 (21.8) - - -	3060	引佐	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外側 内面に余墨 - - - , (6.0)

3061	佐口	大溝 中層 IV区 G-43 須恵器・杯A?皿A? 底部外面 - - - - -	3071	川戸	大溝 中層 IV区 G-45 須恵器・杯A 底部外面 (11.4)・3.6・9.1
3062	引佐	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外面 - - - - -	3072	川戸	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (12.7)・3.6・10.0
3063	引	大溝 中層 IV区 G-46 土師器・杯?皿? 底部外面 - - - - -	3073	川戸	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯A 底部外面 - - - - -
3064	引佐口	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯C 底部外面 12.2・4.1・6.2	3074	百	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - - - -
3065	引一	大溝 中層 IV区 H-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (16.3)・-	3075	百	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 - - - (7.0)
3066	引一	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.6)・-	3076	百	大溝 中層 IV区 G-46 上部器・皿A 底部外面 - - - - -
3067	引一	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・皿B b 底部外面 (20.3)・1.5・9.7	3077	百	大溝 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に朱墨 (11.0)・2.4
3068	引二	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - - - -	3078	百	大溝 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - - - -
3069	引佐大	大溝 中層 IV区 G-48 須恵器・皿B蓋 顶部内面 27.6・-	3079	否	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - - - -
3070	川戸	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - - - -	3080	□	大溝 中層 IV区 G-47 須恵器・杯A 底部外面 (9.6)・3.2・(7.0)

3081	満	大満 中層 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (14.1)・3.5・(11.0)	3081	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-48 土師器・蓋B 顶部内面 - - -
3082	□	大満 中層 IV区 G-46 土師器・蓋A 底部外面 (15.2)・2.6・(10.6)	3092	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 (18.4)・-
3083	久□	大満 中層 IV区 G-47 須恵器・杯B 蓋 底部内面 (14.0)・-	3093	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外面 - - - (10.0)
3084	□□	大満 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 (13.8)・3.0	3094	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外面 - - - (7.9)
3085	□ [佐介]	大満 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B 蓋 顶部外面 (13.1)・-	3095	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-47 須恵器・杯A 底部外面 - - - -
3086	二	大満 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外面 - - - (9.3)	3096	引	大溝落込部 中層 IV区 H-47 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 - - -
3087	□□	大満 中層 IV区 H-48 須恵器・且B 底部外面 - - - (14.0)	3097	引佐二	大溝落込部 中層 IV区 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 - - -
3088	□	大満 中層 IV区 G-46 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 - - -	3098	引佐	大溝落込部 中層 IV区 G-48 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 - - -
3089	□	大満 中層 IV区 G-47 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 - - -	3099	引佐	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B 蓋 顶部内面 14.1・-
3090	□ [戸介]	大満 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外面 - - -	3100	引	大溝落込部 中層 IV区 H-47 須恵器・且B 底部外面 - - - 17.0

3101	百	大溝落込部 中層 IV区 H-48 土師器・蓋B 顶部内面 - - -	3111	引佐一	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3102	久字	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B 脊部外側 - - -	3112	佐一	大溝 下層 IV区 C-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3103	口主	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯A 底部外側 - - -	3113	引一	大溝 下層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.9) - -
3104	○(記号) ×(記号) □〔川加〕	大溝落込部 中層 IV区 須恵器・杯A 底部外側 - - -	3114	引佐二	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外側 - - -
3105	□	大溝落込部 中層 IV区 H-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3115	引佐二	大溝 下層 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (16.3) - -
3106	引佐大	大溝 下層 III区 C-44 須恵器・杯B 底部外側 - - - , 8.5	3116	佐二	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3107	□〔引加〕佐一	大溝 下層 III区 F, G-45 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.8) - -	3117	川戸	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3108	引佐二	大溝 下層 III区 G-45 須恵器・蓋B 底部外側 - - - , (5.8)	3118	太方口	大溝 下層 IV区 G-46 土師器・蓋B 顶部内面 - - -
3109	引佐	大溝 下層 IV区 G-45 土師器・杯A 底部外側 - - -	3119	口二	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・皿A 底部外側 - - - , (12.0)
3110	引佐	大溝 下層 IV区 G-48 須恵器・杯A 底部外側 - - - , (8.6)	3120	□	大溝 下層 IV区 G-47 土師器・蓋B 顶部内面 (19.0) - -

3121	引佐		3131	引佐	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・杯A 底部外面 - - - - -			大溝 IV区 G-48 須恵器・杯B蓋 顶部外面 - - - - -
3122	引佐一		3132	引佐	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・杯B蓋 顶部外面 - - - - -			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯C 底部外面 (13.2)・4.0・4.9
3123	引佐二		3133	□ [引介]	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・杯A 底部外面 - - - - - 7.8			大溝 IV区 G-46 土師器・杯B 底部外面 (17.0)・4.4・(12.7)
3124	百		3134	引	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・平皿蓋 顶部外面 12.4・2.4			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 - - - - - (9.0)
3125	□ [百丸]		3135	引	
		大溝 下層 V区 H-51 須恵器・杯A 底部外面 - - - - - (7.8)			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部外面 - - - - -
3126	百		3136	引佐	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・杯A 底部外面 - - - - - (9.0)			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部外面 14.4・-
3127	□		3137	引佐一	
		大溝 下層 V区 H-49 須恵器・杯A 底部外面 - - - - - (9.9)			大溝 IV区 G-46 須恵器・皿B 底部外面 新附「大一」 (21.0)・4.4・15.8
3128	引佐一		3138	引佐二	
		大溝 下層 IV区 (SK3003) 須恵器・杯B 底部外面 - - - - - 9.2			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (17.7)・3.7
3129	□良		3139	引佐一	
		大溝 下層 IV区 (SK3003) 須恵器・高盤 顶部内面 - - - - - (13.2)			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B 底部外面 - - - - - (8.7)
3130	引佐		3140	引佐二	
		大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.4)・2.5			大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 17.2・-

3141	引佐二	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 内面に朱墨 (12.2)・3.0・(9.6)	3151	川戸	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 — · — · —
3142	引佐二	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (18.1)・2.8・(15.6)	3152	百	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (12.8)・—
3143	引佐二	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (13.2)・3.6・(11.0)	3153	百	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 — · — · —
3144	引佐二	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (13.0)・3.7・9.8	3154	百	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 11.6・2.6
3145	引一	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.6)・—	3155	百	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 — · — · —
3146	引佐大	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.7)・—	3156	百	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 — · — · (11.5)
3147	川戸	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.7)・3.2	3157	百	大溝 IV区 G-46 土師器・杯A 口縁部外面 — · — · —
3148	川戸	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B 底部外面 — · — · 9.2	3158	犬若万呂	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外面 (13.2)・3.7・(8.4)
3149	川戸	大溝 IV区 G-46 土師器・蓋B 顶部内面 — · — · —	3159	口 [一寸]	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A? 盖A? 底部外面 — · — · —
3150	川	大溝 IV区 G-46 土師器・杯? 盖? 底部外面 — · — · —	3160	仟万	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (12.3)・2.3

3161	口 [引加]	大溝 IV区 G-46 土師器・蓋B 顶部内面 - - -	3171	引佐一	S D3004 上層 須恵器・杯A 底部外側 12.2・3.7・10.5
3162	-	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外側 内面に墨跡 - - - -	3172	引佐一	S D3004 上層 須恵器・杯A 底部外側 - - - -
3163	久家	大溝 IV区 G-46 須恵器・皿B 盤 顶部内面 内面に墨跡 20.0 -	3173	引佐一	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部外側 (15.2) -
3164	久女	大溝 IV区 G-46 須恵器・皿A 密部外側 16.2・2.3・14.8	3174	引佐一	S D3004 上層 須恵器・皿B 盤 顶部内面 (22.0) -
3165	口付	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外側 (10.0)・3.5・(8.4)	3175	引佐一	S D3004 上層 須恵器・杯A 底部外側 内面に墨跡 - - - (14.2)
3166	上	大溝 IV区 G-46 須恵器・杯A 底部外側 (12.4)・3.6・(10.2)	3176	引佐二	S D3004 上層 須恵器・盤A b 密部外側 16.3・1.9・15.0
3167	口 [丸加]	大溝 IV区 G-46 須恵器・皿A 密部外側 (16.0)・2.6・(12.5)	3177	引佐二	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部内面 - - -
<hr/> <u>S D3004</u>		<hr/>		3178	引佐二
3168	引佐	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部内面 (11.2)・-	3179	佐二	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部外側 - - -
3169	引口 [佐加]	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部内面 (14.8)・-	3180	川	S D3004 上層 土師器・蓋A b 密部外側 内面に墨跡 18.0・2.4・14.4
3170	引	S D3004 上層 須恵器・杯B 盤 顶部内面 - - -			

3181	川戸	S D3004 上層 土師器・皿A 底部外面 (15.8)・2.6・(13.0)	3191	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (22.4)・-
3182	□□	S D3004 上層 須恵器・杯C 底部外面 (13.0)・3.9・(7.0)	3192	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B 底部外面 (14.1)・3.9・9.5
3183	□	S D3004 上層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3193	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 (12.8)・3.5・(10.0)
3184	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.3)・3.8	3194	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (7.8)
3185	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.8)・4.3	3195	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (8.0)
3186	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 14.8・-	3196	佐一	S D3004 下層 須恵器・盤B 裏 頂部外面 - - - (9.0)
3187	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 12.9・-	3197	引佐一	S D3004 下層 須恵器・盤B b 裏 頂部外面 (18.0)・- - -
3188	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 15.3・-	3198	引佐一	S D3004 下層 土師器・蓋B 顶部内面 (15.0)・-
3189	引佐一	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 19.0・5.2	3199	引佐一	S D3004 下層 土師器・蓋B 顶部内面 (15.7)・2.6
3200	引佐一	S D3004 下層 須恵器・蓋B 顶部内面 (19.0)・-	3200	引佐一	S D3004 下層 土師器・蓋B 顶部内面 13.5・2.6

3201	引二	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (15.6)・3.7	3211	安口 [津丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 内面に擦痕 (15.2)・3.6
3202	引佐大	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (14.3)・3.0	3212	上	S D3004 下層 須恵器・杯B 底部外面 (14.8)・3.6・(10.0)
3203	引	S D3004 下層 須恵器・正B 底部外面 (22.6)・4.3・15.8	3213	虫	S D3004 下層 須恵器・杯A 莖部外面 (13.6)・3.6・(10.4)
3204	引佐口 [一丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -	3214	□月	S D3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 (13.8)・2.2・(11.2)
3205	口〔晋書〕/引佐口 [一丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (11.3)・-	3215	大	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (15.0)・3.8
3206	引佐	S D3004 下層 土師器・蓋B 頂部内面 - - -	3216	□	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -
3207	引佐口 [一丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -	3217	□	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -
3208	引佐口 [一丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (14.9)・3.2	3218	□/□	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部外面 - - -
3209	引佐	S D3004 下層 土師器・蓋B 頂部内面 (14.8)・-	3219	□ [引丸]	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (14.9)・-
3210	引	S D3004 F層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (17.0)・-	3220	□□	S D3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -

		S B 3019
3221	□	3231 百
		S D 3004 下層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -
		S B 3019 P7 須恵器・瓶B 底部外面 - - - 10.8
		S B 3023
3222	□	3232 引佐一
		S D 3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (11.4)
		S B 3023 P1 須恵器・玉B ?瓶B ? 底部外面 - - - (14.0)
		S B 3024
3223	□□	3233 引佐
		S D 3004 下層 須恵器・杯A 底部外面 13.4・3.7・9.5
		S B 3024 P9 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
		S B 3025
3224	□ [一九]	3234 引佐一
		S D 3004 下層 須恵器・杯A ?皿A ? 底部外面 - - -
		S B 3025 P7 須恵器・杯A 底部外面 - - - (11.2)
		S B 3027
3225	□	3235 百
		S D 3004 下層 須恵器・杯B 底部外面 (11.0)・3.7・8.4
		S B 3027 P2 上飾器・杯A 底部外面 - - -
		S B 3016
3226	子	3236 □□
		S B 3016 P5 須恵器・杯A 底部外面 - - - (10.0)
		S B 3027 P2 須恵器・杯A 底部外面 - - - (11.4)
		S K 3006
3227	□ [引] 佐一	3237 引佐
		S B 3016 P3 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
		S K 3006 須恵器・杯A 底部外面 - - -
		S D 3001
3228	引佐	3238 引佐□ [二九]
		S B 3016 P10 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
		S D 3001 須恵器・杯A 底部外面 - - -
		S D 3010
3229	引佐一	3239 引佐
		S B 3016 P2 須恵器・皿B 底部外面 - - - (17.3)
		S D 3010 須恵器・壺? 蓋? 底部外面 - - - (7.9)
		S B 3018
3230	川戸	3240 引
		S B 3018 P8 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
		S P 3001 須恵器・杯A 顶部外面 - - -

3241 □一

S P 3002

須恵器・杯B? 腹B? 底部外面
- - - (17.3)

第3調査面包含層

3242 引佐 (他に習書あり)

第3調査面包含層 I - 45
須恵器・盤B? 底部外面
既側内外面に墨痕? (16.8) - 2.4 - 7.5

3243 引佐

第3調査面包含層 H - 46
須恵器・杯B蓋 底部内面
(15.4) -

3244 引佐

第3調査面包含層
須恵器・杯B蓋 底部内面
- - -

3245 引口 (佐前)

第3調査面包含層 I - 46
須恵器・杯B蓋 底部内面
(13.7) -

3246 引佐

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B蓋 底部外面
- - -

3247 引

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B蓋 底部内面
- - -

3248 引佐

第3調査面包含層 H - 46
須恵器・杯B蓋 底部内面
- - -

3249 引佐

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯A 底部外面
- - - (7.0)

3250 引佐

第3調査面包含層 G - 44
須恵器・杯A 底部外面
- - -

3251 引佐大

第3調査面包含層 I - 46
須恵器・杯A 底部外面
- - -

3252 引一

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B 底部外面
- - - 9.1

3253 引佐一

第3調査面包含層
須恵器・杯B蓋 顶部内面
- - -

3254 引佐一

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(11.4) -

3255 引佐二

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(11.3) - 2.7

3256 引佐二

第3調査面包含層 I - 46
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(13.0) -

3257 引佐二

第3調査面包含層
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(13.0) -

3258 引佐二

第3調査面包含層
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(13.0) -

3259 引佐二

第3調査面包含層 G - 47
須恵器・杯B蓋 顶部内面
(10.4) -

3260 引佐口 (二丸)

第3調査面包含層 H - 45
須恵器・杯B蓋 顶部内面
- - -

3261	佐二	第3調査面包含層 H-42 須恵器・杯A 底部外面 - - - (9.6)	3271	百	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3262	佐二	第3調査面包含層 H-46 須恵器・杯A 底部外面 (8.9)・3.3・(7.4)	3272	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (12.8)・2.6
3263	引佐二	第3調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 (12.4)・3.4・(8.2)	3273	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3264	佐二酒	第3調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 (10.3)・3.8・(7.2)	3274	百	第3調査面包含層 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.4)・2.5
3265	引佐二	第3調査面包含層 須恵器・皿A 底部外面 (16.8)・2.3・(11.1)	3275	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3266	川戸口守	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部外面 (12.4)・2.7	3276	百	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (12.8)・-
3267	安	第3調査面包含層 G-43 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3277	百	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 12.8・3.0
3268	安	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.2)・2.5	3278	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に朱墨 13.2・3.2
3269	大鰐	第3調査面包含層 G-43 須恵器・杯B蓋 底部外面 (17.6)・5.3・9.8	3279	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.0)・-
3270	万呂	第3調査面包含層 H-45 須恵器・杯A 底部外面 - - - (9.6)	3280	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -

3281	百	第3調査面包含層 G-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3291	百	第3調査面包含層 H-45 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3282	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に朱墨 (12.8)・2.6	3292	百	第3調査面包含層 G-45 土器器・杯A 底部外面 - - -
3283	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3293	大口	第3調査面包含層 F-18 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (17.4)・-
3284	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3294	丸人	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯A 底部外面 (12.7)・4.1・10.5
3285	百	第3調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 12.2・4.5・8.4	3295	○○○ (記号)	第3調査面包含層 須恵器・瓜B蓋 顶部内面 - - -
3286	百	第3調査面包含層 G-48 須恵器・杯A 底部外面 - - - (9.9)	3296	(繪丸)	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯A 底部外面 - - - (9.4)
3287	百	第3調査面包含層 G-45 須恵器・杯A 底部外面 - - - (8.9)	3297	□□	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.2)・-
3288	百	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯A 底部外面 - - - (8.3)	3298	□下	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3289	百	第3調査面包含層 H-47 須恵器・杯A 底部外面 内面に朱墨 - - - (9.3)	3299	□□	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部外面 (11.5)・-
3290	百	第3調査面包含層 F-40 須恵器・皿A 底部外面 (15.3)・2.8・(12.7)	3300	□	第3調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -

		S B2002
3301	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 G-48 須恵器・杯A 底部内面 ----- (2.0)
3302	<input type="checkbox"/> [引物]	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯A 底部外面 -----
3303	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 H-51 須恵器・杯A 底部外面 ----- (2.2)
3304	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 G-47 須恵器・杯A 底部外面 -----
3305	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 G-45 須恵器・杯A 底部外面 ----- (2.0)
3306	<input type="checkbox"/> □	第3調査面包含層 G-44 土師器・杯A 底部外面 -----
3307	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 F-40 須恵器・杯A 底部外面 -----
3308	<input type="checkbox"/>	第3調査面包含層 G-46 須恵器・杯A ? 底部外面 -----
S B2001		
3309	(内面) 百. (外面) 百 S B2001 P2	3310 百
	須恵器・盤C c 底部内外面 (21.0) · 2.4 · 11.4	S H2004 須恵器・平頂蓋 底部外面 (13.0) · 1.0
3310	<input type="checkbox"/>	S B2001 P5 須恵器・杯B 蓋 底部外面 -----
3311	百	S B2002 P1 須恵器・杯B 蓋 底部外面 (17.0) · --
		S H2002
3312	百	S H2002 須恵器・杯B 蓋 底部内面 -----
3313	百	S H2002 須恵器・杯B 蓋 底部内面 (12.1) · 2.8
3314	万	S H2003 須恵器・杯A 底部外面 ----- 10.3
3315	引佐	S H2003 須恵器・杯A 底部外面 ----- (2.2)
3316	百	S H2004 須恵器・杯A 底部外面 (11.2) · 3.5 · 8.4
3317	<input type="checkbox"/> [百物]	S H2004 須恵器・杯A 底部外面 (11.3) · 3.5 · (8.2)
3318	百	S H2004 須恵器・杯B 蓋 底部内面 (13.0) · 1.0
3319	百	S H2004 須恵器・平頂蓋 底部外面 (15.0) · 2.5
3320	百	S H2004 土師器・杯A 底部外面 -----

3321	百	S H2004 須恵器・杯A 底部外面 (13.0) × 3.9 × -	3331	百	S H2005 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3322	引	S H2004 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3332	百	S H2006 須恵器・杯A 底部外面 - - -
3323	引佐	S H2004 須恵器・杯A 底部外面 - - - (13.0)	3333	百	S H2006 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.3) × 4.3
3324	口鶴	S H2004 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に朱墨 - - -	3334	口大	S H2006 須恵器・盤C 底部外面 - - - (11.0)
S H2005		S K2008		S K2008	
3325	引佐二	S H2005 須恵器・皿A 底部外面 16.9 × 2.2 × 13.4	3335	引佐貳	須恵器・皿A 底部外面 (17.5) × 1.6 × (13.8)
3326	佐二	S H2006 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3336	引	S K2010 須恵器・高盤 顶部内面 - - - (10.0)
3327	引佐二	S H2005 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3337	引	S K2017 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (17.1) × -
3328	佐二	S H2005 須恵器・杯A 底部外面 - - - (11.2)	3338	佐二	S K2017 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3329	引佐	S H2006 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.2) × -	3339	引	S K2017 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (14.8) × -
3330	引	S H2005 須恵器・杯A 底部外面 - - -	3340	引佐	S K2018 須恵器・杯A 底部外面 - - - (10.0)

S K2019			
3341 引口	3351	百	
S K2019			
須恵器・杯A 底部外面			

S K2021			
3342 引佐	3352	百	
S K2021			
須恵器・盤B b 口縁部外面			
(10.2) -----			
S K2023			
3343 □家	3353	百	
S K2023			
須恵器・杯B 盤 顶部内部			

S K2026			
3344 引	3354	□	
S K2026			
須恵器・杯B 盤 顶部内部			

3345 百	3355	百	S D2002
S K2026			
須恵器・杯A 底部外面			
内面に墨痕 -----			
S D2001			
3346 川戸	3356	百	
S D2001			
須恵器・皿B 盤 顶部内部			
26.5・4.9			
S D2001			S D2002
3347 川戸	3357	廣口	
S D2001			
須恵器・盤B b 底部外面			
(18.0)・2.1・(8.9)			
S D2003			
3348 川戸	3358	引佐	
S D2001			
須恵器・杯B 盘 顶部内部			
(13.9)・2.8			
S G2001			S G2001 最下層
3349 百	3359	引佐	
S D2001			
須恵器・盤C c 底部外面			
(23.3)・3.3・14.4			
S G2001			S G2001 下層 I - 48
3350 百	3360	引一	
S D2001			
須恵器・皿A 底部外面			
(16.2)・1.9・-			
S G2001			S G2001 最下層
			須恵器・杯B 盘 顶部内部
			(12.6)・-

		S P 2002
3361	引佐大	
	S G2001 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
3362	安	
	S G2001 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
3363	安	
	S G2001 下層 H-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に朱墨 11.4・3.3	
3364	百	
	S G2001 最下層 H-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 12.0・3.1	
3365	百	
	S G2001 上層 H-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 14.4・-	
3366	百	
	S G2001 下層 H-47 須恵器・杯B蓋 顶部内面 内面に墨痕 (14.0)・-	
3367	百	
	S G2001 上層 H-46 須恵器・皿A 壺部外側 (15.0)・1.9・-	
3368	百	
	S G2001 中層 灰陶陶器・碗 口縁部外側 14.2・4.0・7.1	
3369	刑部	
	S G2001 下層 T-48 須恵器・朴A 底部外面 - - -・9.2	
3370	大	
	S G2001 最下層 須恵器・杯B蓋 顶部外側 (13.2)・-	
		S P 2002
3371	引佐	
	須恵器・杯B蓋 顶部内面 (17.2)・-	
3372	□	
	S P 2002 灰陶陶器・碗 底部外側 (16.0)・3.4・(6.6)	
3373	引一	
	S P 2003 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
3374	□	
	S P 2004 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
		S P 2004
		第2調査面包含層
3375	引佐	
	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.0)・-	
3376	引佐	
	第2調査面包含層 H-44 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
3377	引佐	
	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外側 - - -・(6.0)	
3378	引佐	
	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 11.3・2.5	
3379	引佐	
	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	
3380	引一	
	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外側 - - -・(6.0)	

3381	引佐二	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3391	川口〔首刀〕	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 11.6・4.4・7.7
3382	佐二	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3392	主	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.4)・- -
3383	引佐二	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.2)・- -	3393	口秋	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (6.9)
3384	引佐二	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (8.0)	3394	上殿	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (15.0)・- -
3385	引佐二	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 - - - 6.8	3395	万	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3386	引佐二	第2調査面包含層 H-46 須恵器・杯A 底部外面 - - - -	3396	大	第2調査面包含層 須恵器・盤A a 底部外面 (16.9)・1.7・(10.6)
3387	佐二	第2調査面包含層 H-46 須恵器・杯A 底部外面 - - - (12.0)	3397	具口	第2調査面包含層 灰陶陶器・碗 底部外面 - - - (6.8)
3388	引佐二坏	第2調査面包含層 H-46 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (10.8)・- -	3398	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (11.8)・- -
3389	川戸	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3399	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3390	川戸	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 - - -	3400	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -

3401	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 12.5・1.6	3411	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 11.5・5.0・8.4
3402	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部外側 — · —	3412	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外側 (11.5)・3.0・7.2
3403	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 — · —	3413	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 — · — · 7.3
3404	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 — · —	3414	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 — · — · (5.6)
3405	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部外側 — · —	3415	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 — · — · (7.6)
3406	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 (11.5)・2.5	3416	百	第2調査面包含層 須恵器・杯A 底部外面 — · — · 7.4
3407	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部外側 — · —	3417	百	第2調査面包含層 H-44 須恵器・杯B 底部外側 — · — · (9.6)
3408	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 (12.3)・2.6	3418	百	第2調査面包含層 須恵器・皿A 底部外面 15.5・2.4・10.8
3409	百	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内部 — · —	3419	百	第2調査面包含層 須恵器・皿A 底部外面 15.8・2.6・10.8
3410	百	第2調査面包含層 須恵器・平皿蓋 顶部外側 (12.4)・1.4	3420	□	第2調査面包含層 H-43 須恵器・杯B蓋 顶部内部 — · —

3421	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -	3431	百	第2調査面包含層 E-22 灰釉陶器・碗 底部外側 15.4・4.8・3.0
3422	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 G-43 須恵器・平底盤 頂部外側 - - -	3432	田倍	第2調査面包含層 F-18 須恵器・杯A 感應外面 - - - (0.8)
3423	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 G-43 須恵器・鋸B 感應外面 - - - (11.2)	3433	治	第2調査面包含層 F-22 須恵器・皿A 底部外側 (14.0)・2.1・(3.6)
3424	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 H-44 須恵器・杯A 感部外面 - - - (10.6)	3434	(口縁部外面) 百・(底部外面) 百	第2調査面包含層 H-30 灰釉陶器・碗 口縁部外面・底部外面 15.4・4.8・7.4
3425	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 土師器・杯A 感部外面 (11.0)・3.4・(5.0)	3435	(口縁部外面) 百・(底部外面) □	第2調査面包含層 灰釉陶器・碗 口縁部外面・底部外面 - - - (6.0)
3426	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 土師器・杯A 感部外面 - - - (7.9)	3436	□ [百丸]	第2調査面包含層 H-48 灰釉陶器・碗 感應外面 - - - (6.4)
3427	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 灰釉陶器・碗 感應外面 - - - (7.6)	3437	□	第2調査面包含層 G-47 灰釉陶器・碗 底部外側 - - - (6.8)
3428	<input type="checkbox"/>	第2調査面包含層 須恵器・碗C 感部外面 (11.6)・4.6・5.1	3438	□	第2調査面包含層 H-50 灰釉陶器・碗 底部外面 - - - (6.0)
3429	引佐一	第2調査面包含層 D-18 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (14.0)・3.2	3439	百	包含層
3430	百	第2調査面包含層 E-17・18 須恵器・杯B蓋 頂部内面 (11.3)・3.0	3440	引	S D1012 G-47 須恵器・杯A 產部内面 (11.0)・3.6・(7.2)
					SD1012 G-47 須恵器・杯B蓋 頂部内面 - - -

3441	百	S D1012 H-47 灰陶胸器・碗 口縁部外面 (14.0) - - -	3451	百	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3442	百	S D1012 H-47 灰陶胸器・碗 口縁部外面 (14.6) - - -	3452	百	包含層 須恵器・杯A? 盆A? 底部外面 - - - -
3443	引佐一	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 14.8 -	3453	百	包含層 須恵器・皿A 底部外面 (15.8) 2.5 - (7.7)
3444	引佐一	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3454	□	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -
3445	引佐一	包含層 須恵器・杯3蓋 顶部内面 - - -	3455	◎ (記号)	包含層 須恵器・皿A 底部外面 (16.6) (2.5) -
3446	引佐二	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 (13.8) -	3456	引口	包含層 須恵器・杯A 底部外面 - - - (10.9)
3447	引佐大	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 14.4 - (3.5)	3457	□	包含層 須恵器・杯A? 皿A? 底部外面 - - - -
3448	引佐大	包含層 須恵器・杯A? 皿A? 底部外面 - - - -	3458	□	包含層 土師器・杯? 皿? 底部外面 - - - -
3449	引佐	包含層 須恵器・杯B蓋 顶部内面 - - -	3459	□	包含層 須恵器・杯A? 皿A? 底部外面 - - - (5.4)
3450	百	包含層 G-44 灰陶胸器・碗 底部外面 17.4 - 6.0 - 8.7			

Tab. 3 磨嘗土培養床底質

	層別	層厚	層別	層厚	層別	層厚	層別	層厚	層別	層厚
□	大潤上層Ⅲ区	G-44	須恵器・皿B	底部外面						33
□	大潤上層Ⅳ区	G-44・45	須恵器・杯A	底部外面						65
(記分)	大潤上層Ⅳ区	G-47	須恵器・皿B	頂部外面					内部に墨痕付	345
□	大潤上層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯B	顶部内面						333
□	大潤上層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯A	底部外面						349
□	大潤上層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯A	底部外面						341
□□	大潤上層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯B	頂部内面						342
□	大潤上層Ⅴ区	G-48	須恵器・皿A?	底部外面						348
□	大潤上層Ⅴ区	G-48	須恵器・杯B	頂部内面						350
□	大潤中層Ⅱ区	G-42	須恵器・皿B	頂部外面					内部に墨痕付	194
□	大潤中層Ⅱ区	G-42	須恵器・杯B	底部内面						613
□	大潤中層Ⅲ区	G-44	須恵器・杯A	底部外面						47
□	大潤中層Ⅲ区	G-44	土師器・杯A	底部外面						50
□	大潤中層Ⅳ区	G-46	須恵器・杯A	底部外面						77
□□□	大潤中層Ⅳ区	G-46	須恵器・杯B	頂部内面						78
□	大潤中層Ⅳ区	G-46	須恵器・皿A	底部外面						85
□	大潤中層Ⅳ区	G-46	須恵器・杯B	頂部内面						84
□□□	大潤中層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯A	底部外面			(1.2)			362
□	大潤中層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯A	底部外面	(14.8)	4.1	(3.8)			417
□	大潤中層Ⅳ区	G-48	須恵器・杯A	底部外面						522
□	大潤中層Ⅳ区	G-47	須恵器・杯B	頂部内面						690
□	大潤中層Ⅳ区	G-48	須恵器・杯B	頂部内面						696
(内面)□・(外面)□	大潤中層Ⅳ区	G-48	須恵器・皿A	頂部外面	(14.5)	1.5	(10.0)			359・471
用□	大潤IV区	G-45	土師器・杯?加?	底部外面						71
□一	大潤IV区	G-45	須恵器・杯B	頂部内面						217
□	大潤IV区	G-46	須恵器・杯A?	底部外面						215
□	大潤IV区	G-46	須恵器・杯B	頂部外面						218
[]	S D3004上層		須恵器・杯B	頂部内面					内部に墨痕付	423
□	S D3004上層		須恵器・皿B	頂部内面						462
□	S D3004上層		須恵器・皿A?	底部外面						496
□	S D3004上層		須恵器・杯B	頂部外面						499
□	S D3004上層		須恵器・杯B	頂部内面						501
[]	S D3004上層		須恵器・皿A b	底部外面						508
□	S B3017 P10		須恵器・杯B	頂部内面						229
□	S D5001		須恵器・杯B	頂部外面						146
□	S P3011		須恵器・杯A	底部外面						693
亦	第3箇直面包含層	F-28	須恵器・杯A	底部外面						665
□ (安?)	第3箇斜面包含層	G-47	須恵器・杯B	頂部内面						468
□	第3箇斜面包含層	G-47	須恵器・皿A	底部外面						443
□	第3箇直面包含層	G-47	須恵器・杯C	底部外面						447
□	第3箇斜面包含層	G-47	須恵器・皿A	底部外面						448
□	第3箇直面包含層	G-47	須恵器・杯B	頂部内面						449
□	第3箇斜面包含層	G-47	須恵器・杯A	底部外面						451

章	节	标题	子项	描述	部位	检测项目	口令	测试	方法	备注
□	第3瓣底部包含层	G-47	须滤器·杯B盖	顶部内面						457
□	第3瓣底部包含层		须滤器·杯A	底部外面						57
□	S G2005		须滤器·杯?盖?	底部外面						200
□	S H2005		须滤器·杯A	底部外面						108
□	S H2005		须滤器·杯A	底部外面						106
□	S H2005		须滤器·杯A	底部外面						110
□	S H2005		须滤器·杯A	底部外面						115
□□	S K2010		上脚踏·真缘	脚部内面						131
□	S D2001		须滤器·杯B盖	顶部内面						134
□	S D2001		须滤器·盖	底部外面						138
□	S C2001		须滤器·杯A	底部外面	(6.7)	(10.8)				139
□	S D2001		须滤器·平底盖	顶部外沿						261
□	S D2002		须滤器·杯B盖	顶部内面	(1.2)					156
百	S G2001盖下层		灰釉陶罐·碗	口沿部外面						608
□□	S G2001盖下层	I-48	须滤器·杯B盖	顶部内面						699
引	S G2001下层	H-46	须滤器·杯B盖	顶部内面						248
□	S G2001下层	H-46	须滤器·杯B盖	顶部内面						244
□	S G2001下层	H-47	须滤器·杯B盖	顶部内面						246
□	S G2001下层	H-47	须滤器·杯B盖	顶部内面						247
□	S P2007		须滤器·杯B盖	顶部内面	(1.2)					165
百	第2制衣层包含层		灰釉陶罐·碗	口沿部外面						188
百	第2制衣层包含层	H-46	须滤器·杯A	底部外面						310
□	第2制衣层包含层		须滤器·皿A	底部外面						140
□	第2制衣层包含层		灰釉陶罐·碗	底部外面						80
□	第2制衣层包含层		须滤器·皿A	底部外面						281~283
□	第2制衣层包含层	E-18	须滤器·碗C	底部外面						89
□	第2制衣层包含层	D-18	须滤器·杯A	底部外面						661
□	第2制衣层包含层	E-17	须滤器·高领	口沿部外沿						662
□	第2制衣层包含层	E-19	须滤器·皿A	底部内面						667
□	第2制衣层包含层		灰釉陶罐·碗	底部外面						277
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯A	底部外面						279
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	底部内面						284
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	顶部内面						287
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	顶部内面						288
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	顶部外沿						300
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	顶部外沿						263
□	第2制衣层包含层		须滤器·皿A	前襟外侧						205
□	第2制衣层包含层		须滤器·杯B盖	顶部内面						42
□	第2制衣层包含层		灰釉陶罐·碗	底部外面						360
□	S D1012		须滤器·杯A	底部外面						272
百	包含层		须滤器·杯A	底部外面						37
百	包含层		须滤器·杯B盖	底部内面						564
□	包含层		灰釉陶罐·碗	口沿部外面						276
□	包含层		须滤器·皿A	底部外面						

Tab. 4 刻畫土器一覽表

番号	調査区分	標識名	分類	形態・器形	採取場所	採取地	説明
4001	□ [引カ]	S D3001		須恵器・盤A?	底部内面	焼成前	
4002	□ [引カ]	大溝 上層 IV区	G-47	須恵器・盤A b	底部内面	焼成前	
4003	□ [引カ]	大溝 中層 IV区	H-48	須恵器・盤A?	底部内面	焼成前	同一產地
4004	□ [引カ]	第3調査面包含層	G-49	須恵器・盤A?	底部外面	焼成前	同一產地
4005	□ [引カ]	大溝 中層 IV区	H-48	須恵器・盤A?	底部外面	焼成前	同一產地
4006	□ [引カ]	大溝 上層 IV区	G-47	須恵器・杯A	底部外面	焼成前	同一產地
4007	□ [引カ]	大溝 中層 IV区	G-48	須恵器・皿B	底部外面	焼成前	
4008	大一	S B3024 P 7		須恵器・盤A	底部外面	焼成前	
4009	大	大溝 下層 IV区	G-47	須恵器・盤A	底部外面	焼成前	同一產地
4010	□	大溝 中層 II区	G-42	須恵器・杯B	底部外面	焼成前	
4011	□	第3調査面包含層	G・H-45	須恵器・皿A	底部外面	焼成前	
4012	× (記号)	大溝 中層 IV区	H-48	須恵器・皿B	底部内面	焼成前	
4013	大	S H2004		須恵器・盤A	底部内面	焼成前	同一產地
4014	大	第2調査面包含層	G-43	須恵器・盤A a	底部内面	焼成前	同一產地
4015	大	第2調査面包含層	G・H-44	須恵器・盤A	底部外面	焼成前	同一產地
4016	□ [引カ]	S G2001 中層		須恵器・盤A?	底部内面	焼成前	同一產地
4017	□ [引カ]	S G2001 小層		須恵器・盤A a	底部外面	焼成前	
4018	□ [木カ]	第2調査面包含層	F-40	須恵器・平頂壺	頂部外面	焼成前	
4019	記号	第2調査面包含層		上師留・皿A	底部外面	焼成後	複数? 南部激高地出土
4020	記号	第2調査面包含層	F-18	須恵器・杯B 蓋	頂部内面	焼成前	
4021	× (記号)	S D2001		須恵器・碗C	底部内面	焼成前	
3137	大一	大溝 IV区	G-46	須恵器・皿B	底部外面	焼成前	墨書「引佐一」

図版
PLATE



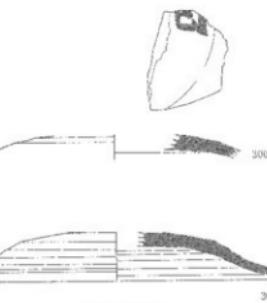
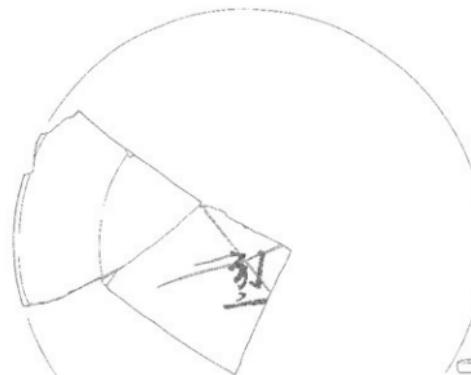
3001



3002



3003



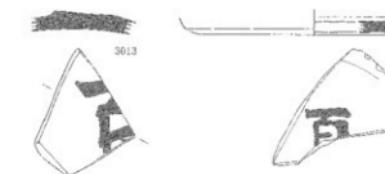
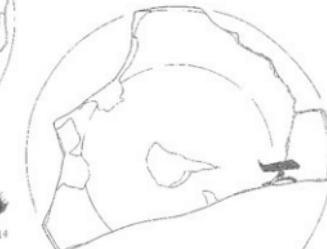
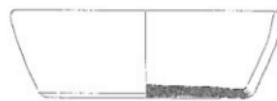
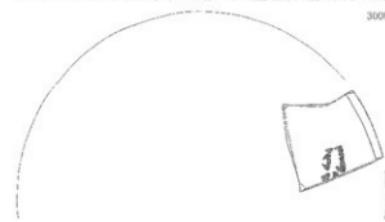
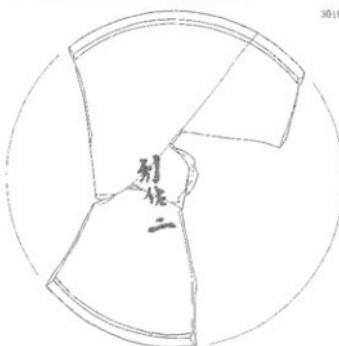
3004

3005



3006



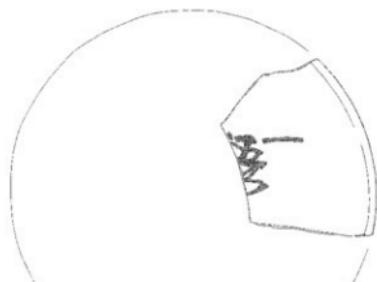
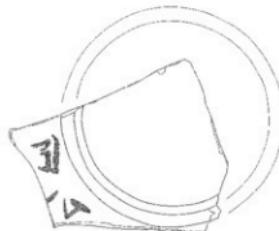
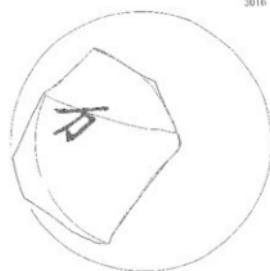




3016



3017



3021



3022

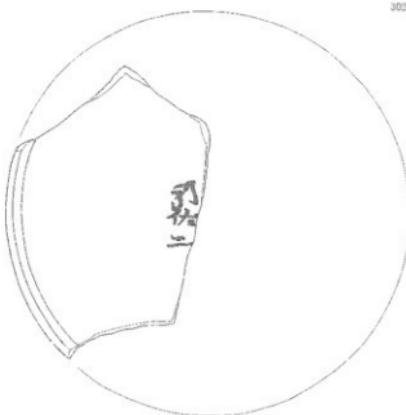


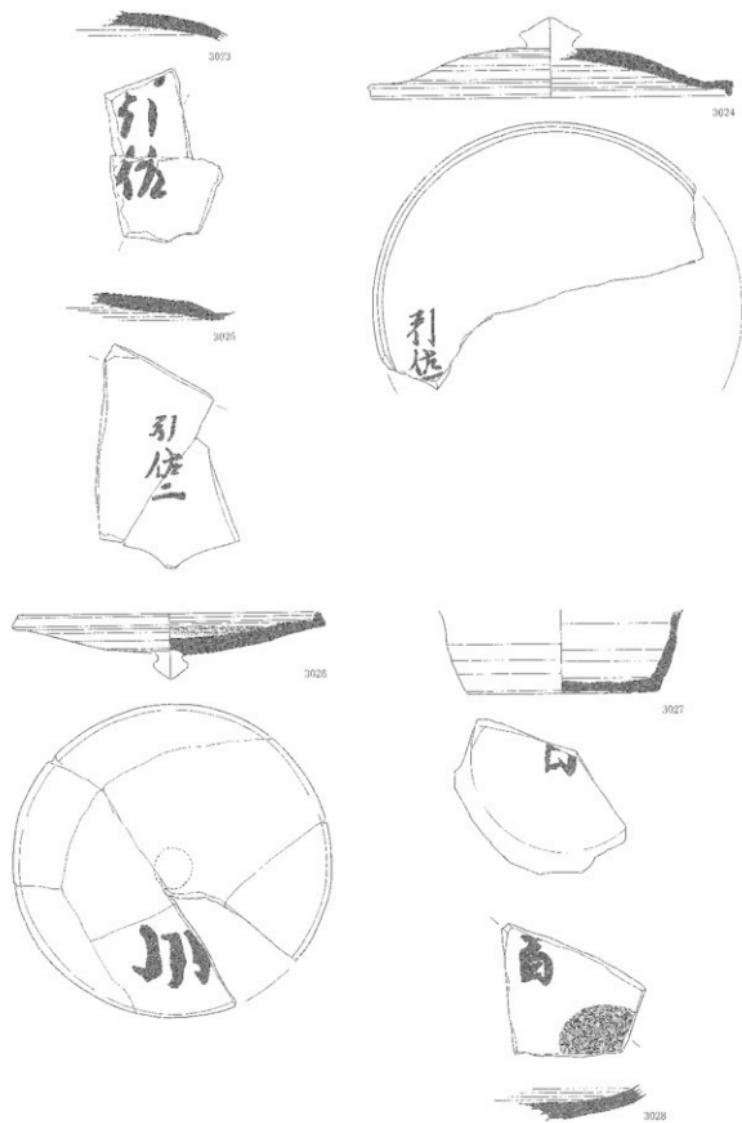


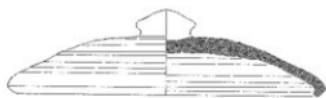
3021



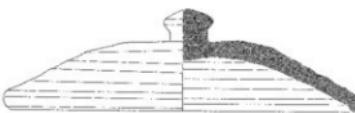
3022







3029



3031



百



百



3030



百



3033



3032



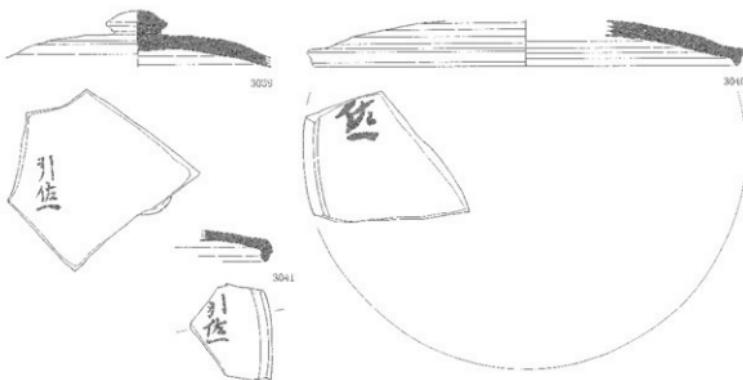
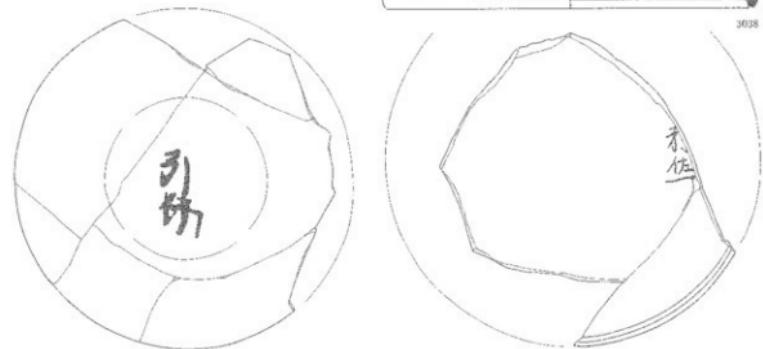
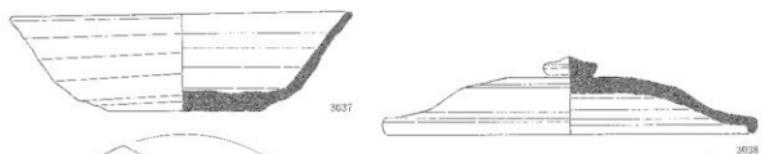
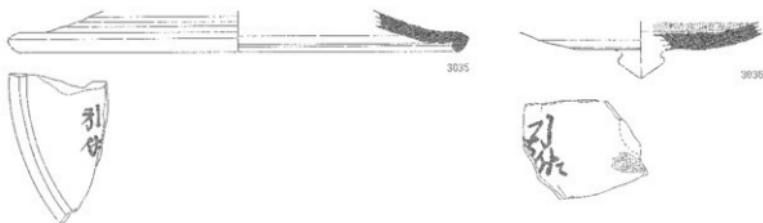
百



百

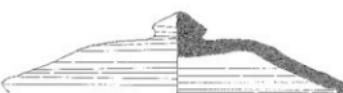


3034

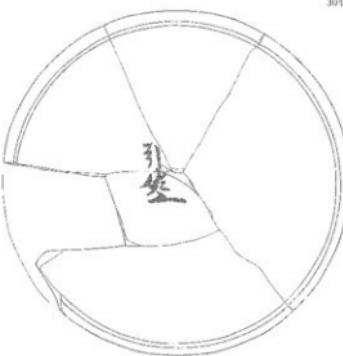
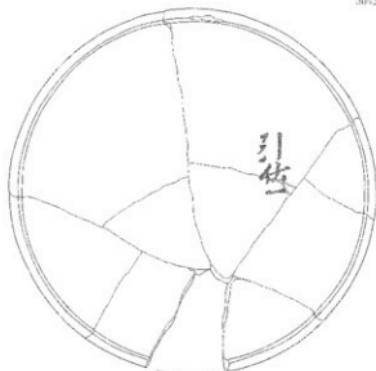




3042



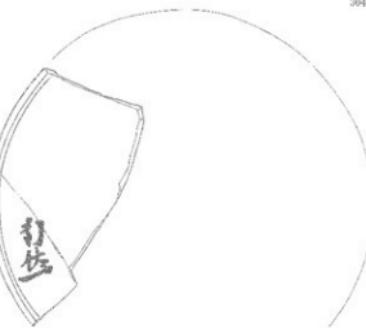
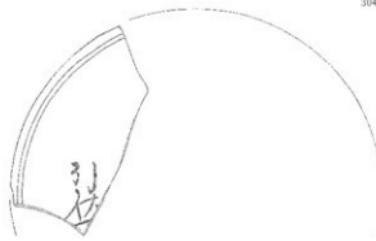
3043



3044



3045



3046

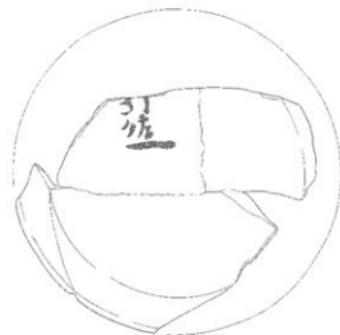


3047



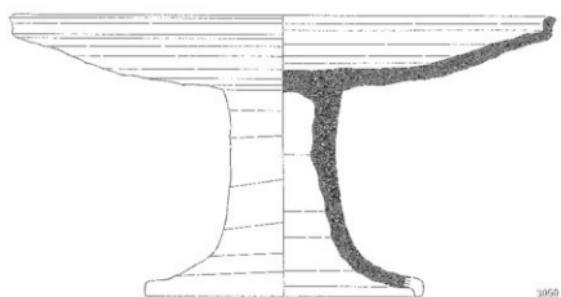


3046

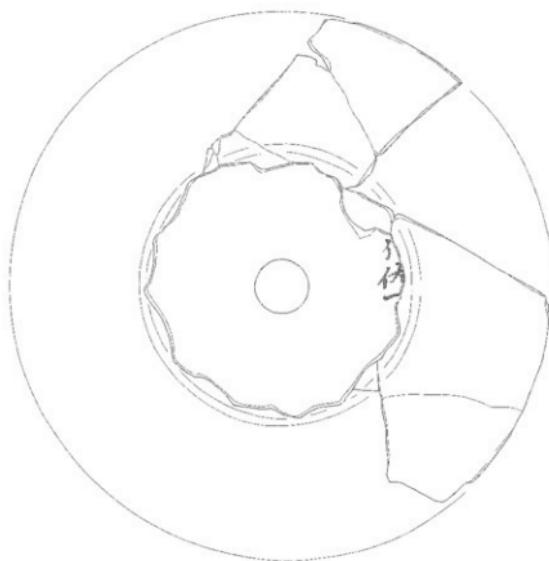


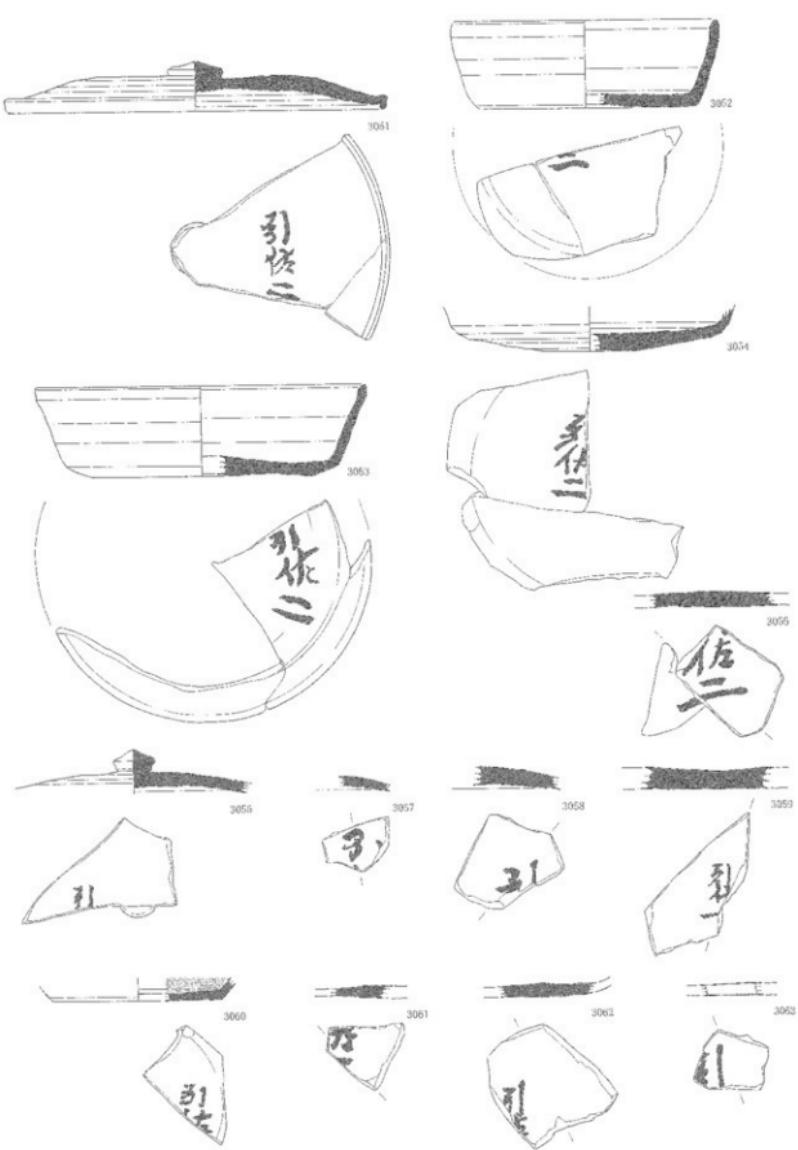
3048





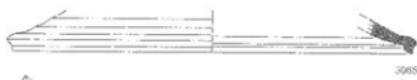
3060



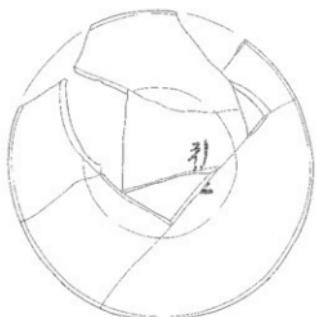




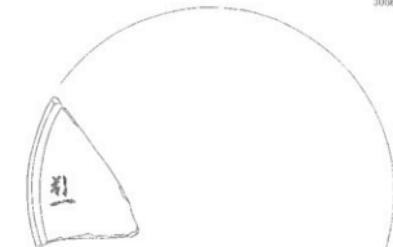
3064



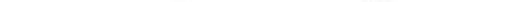
3065



3066

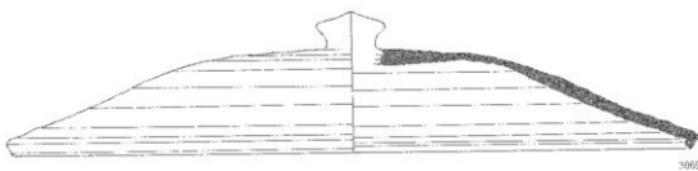


3067

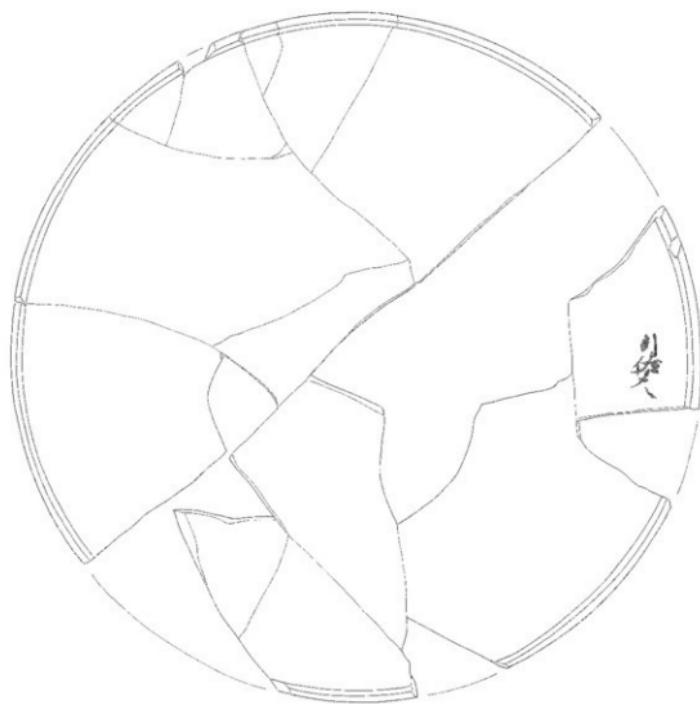


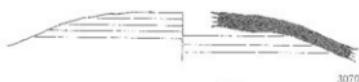
3068





3069





3070



3071



3072



3073



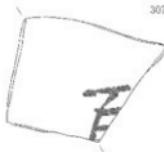
3074

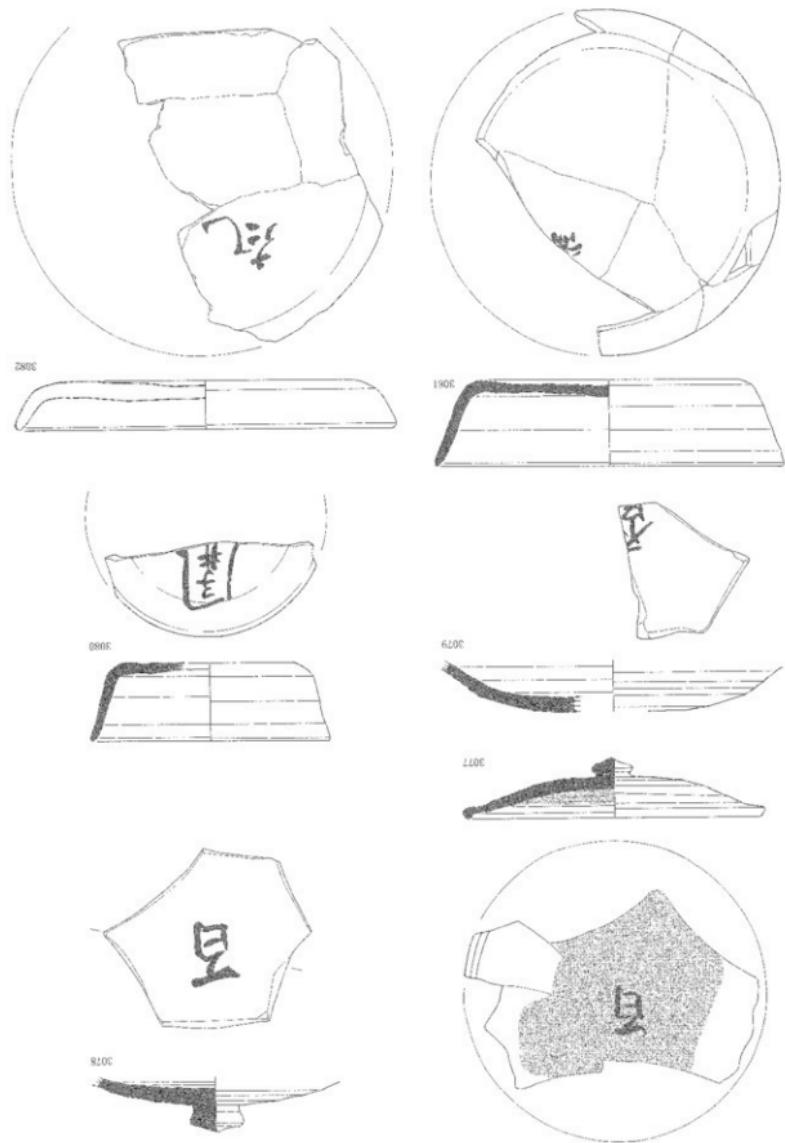


3075



3076



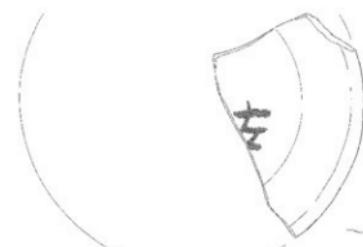
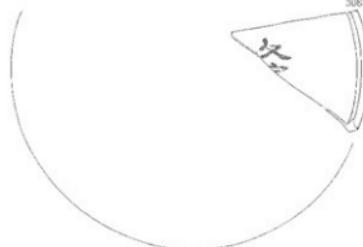




3083



3084



3085

3086

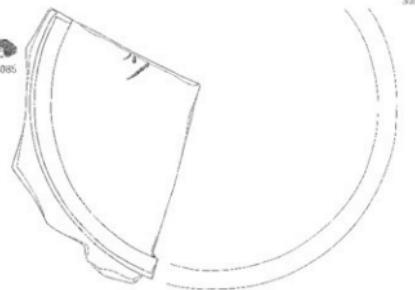


3087



3088

3089



3090

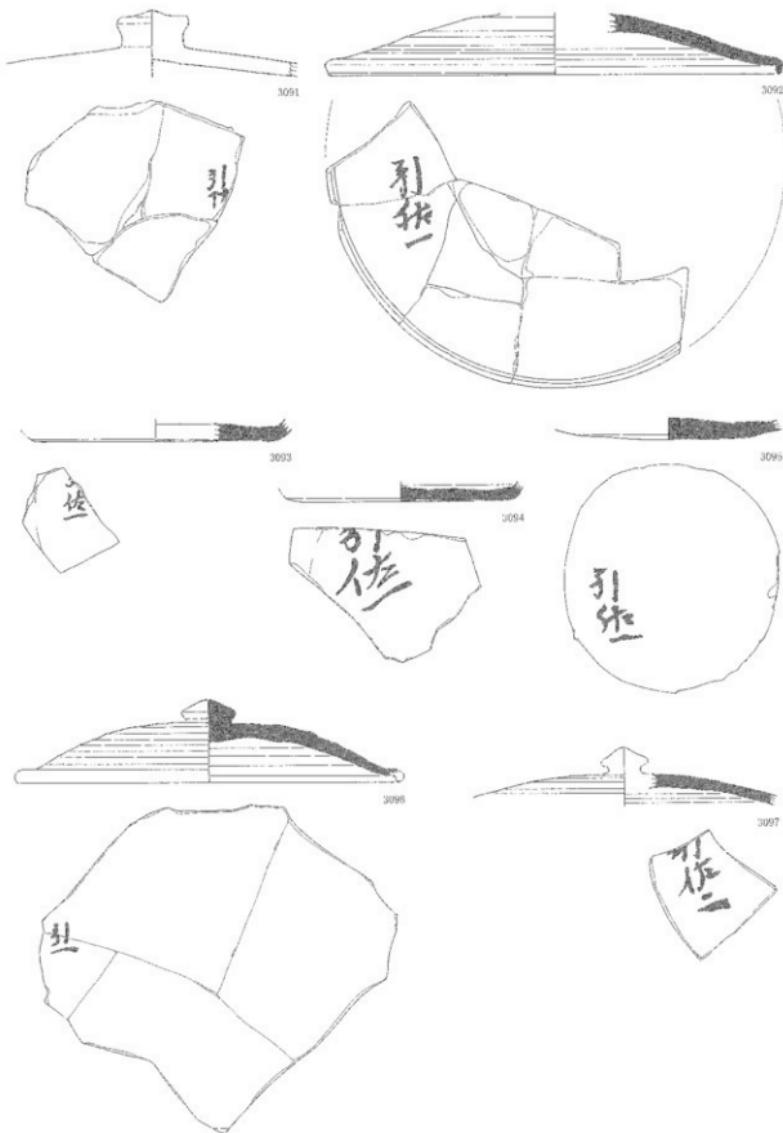


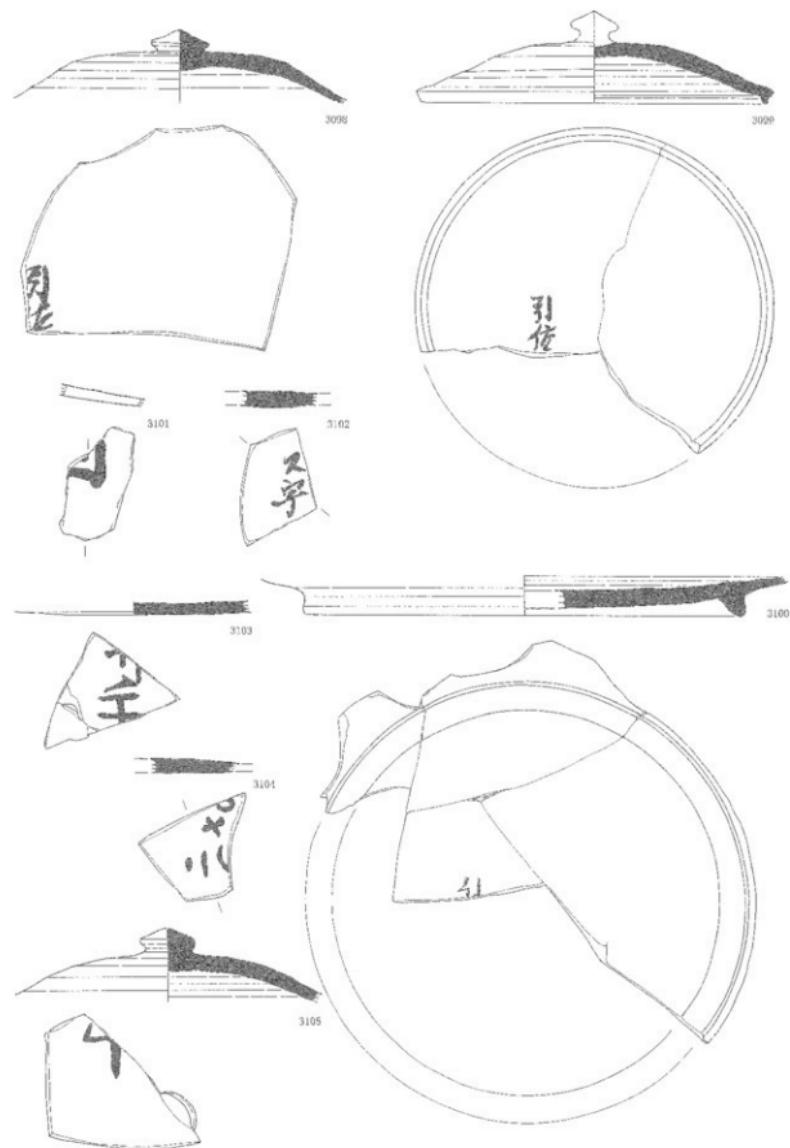
3091

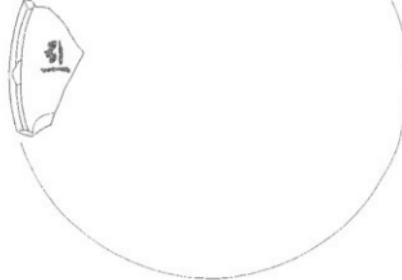
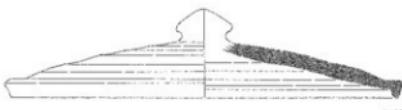


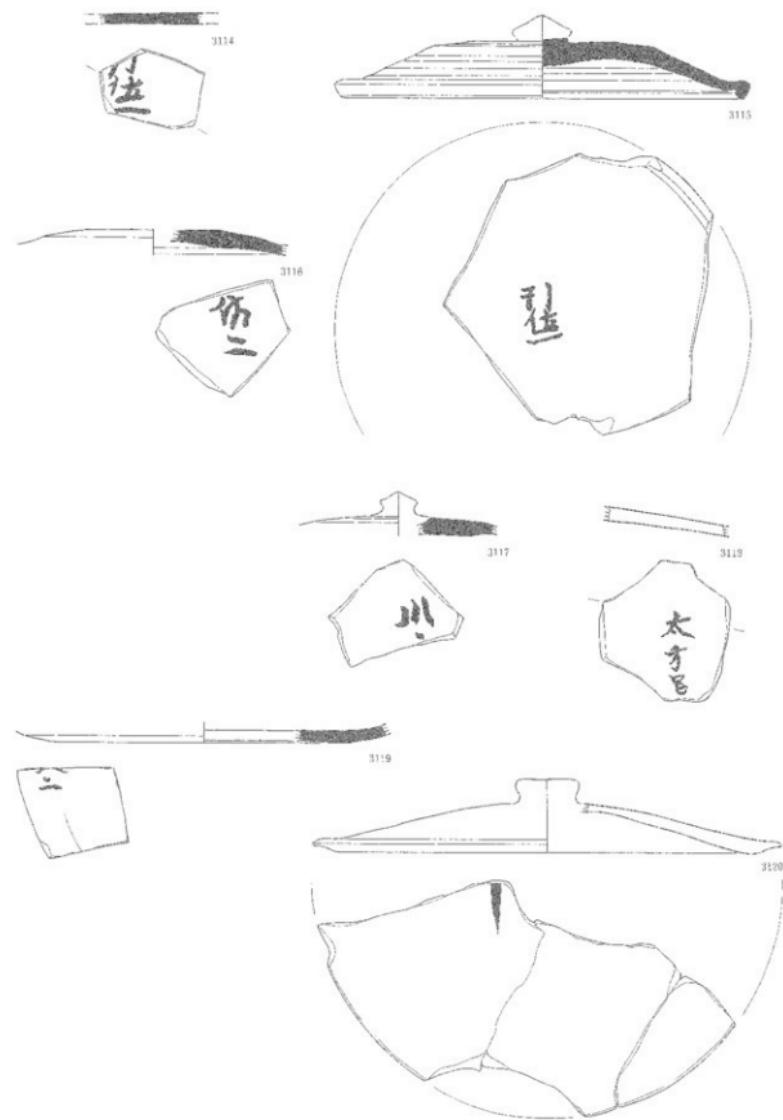
3092





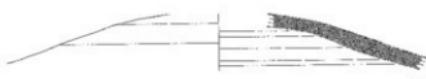








3121



3122



3123



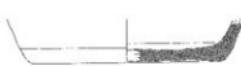
3124



3125



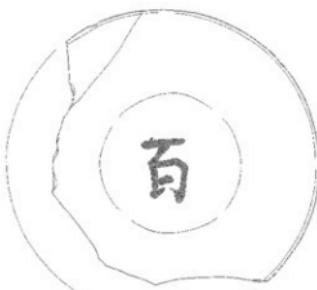
3126



3127



3128



3129



3130



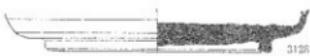
3131



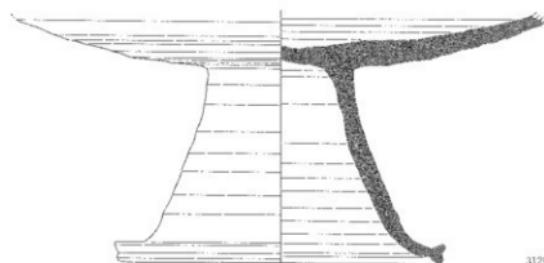
3132



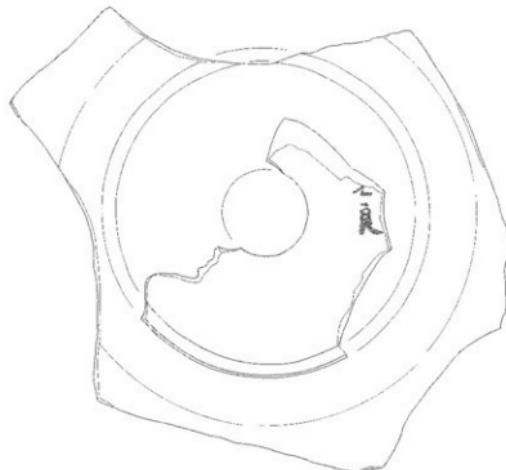
3133

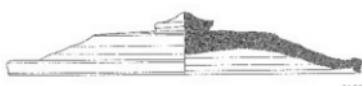


3128



3129

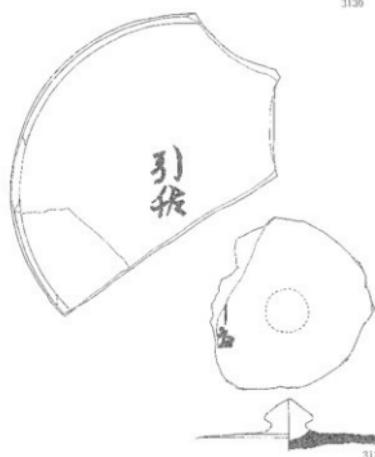




3130



3132



3131



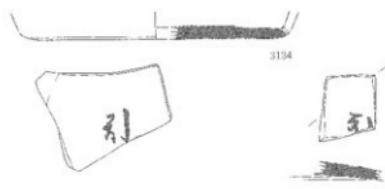
3135



3136

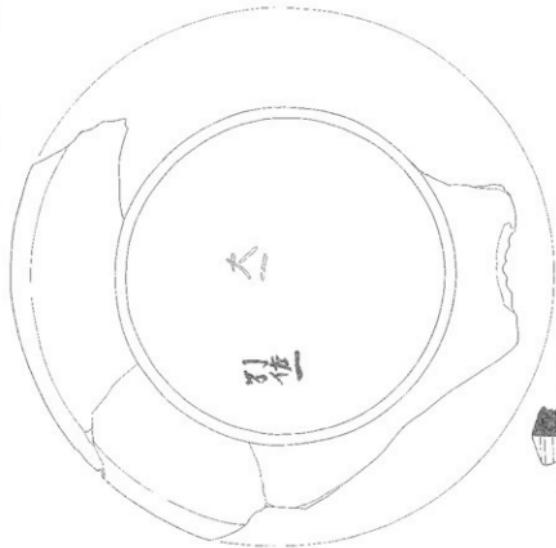
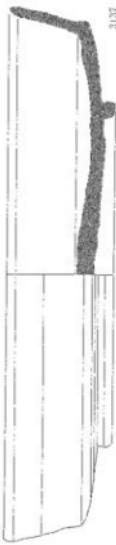


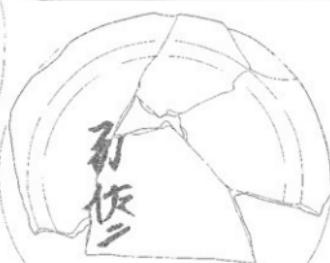
3134

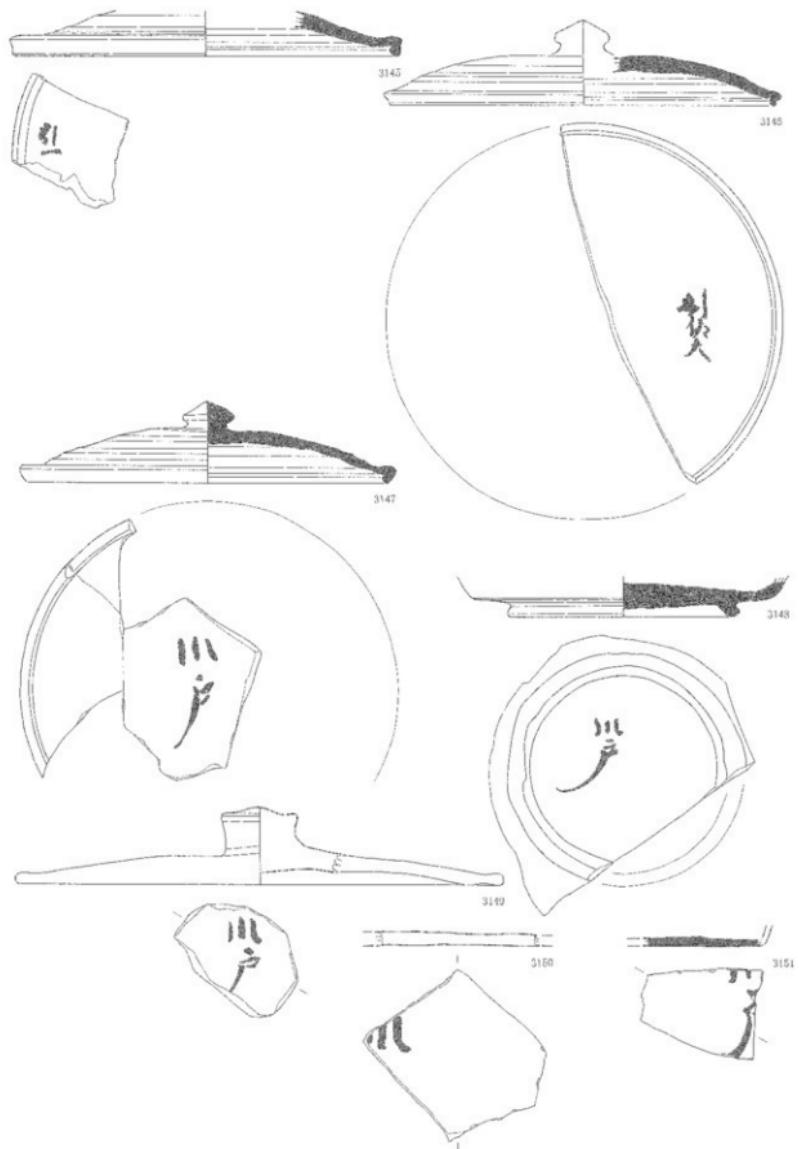


3135



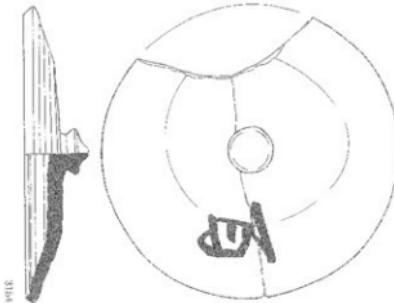




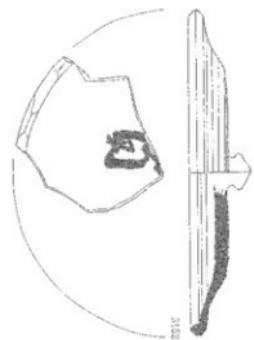




3155



3156



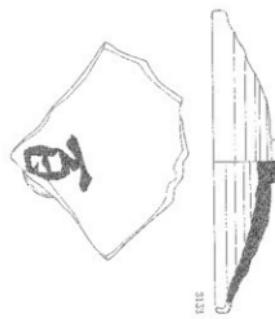
3152



3157



3158



3153



3158



3160



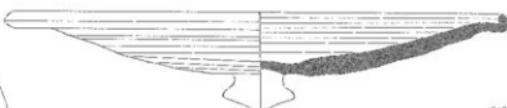
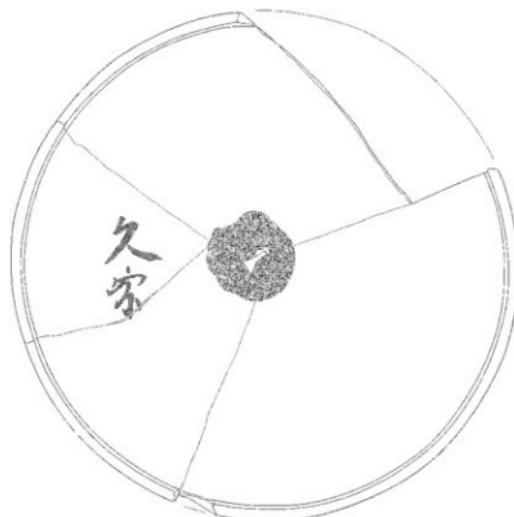
3159



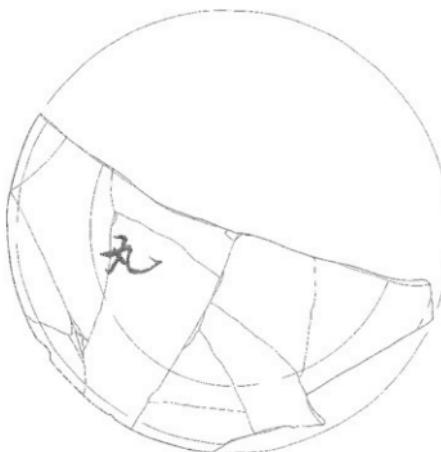
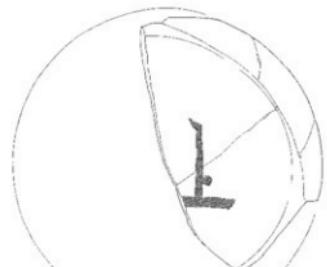
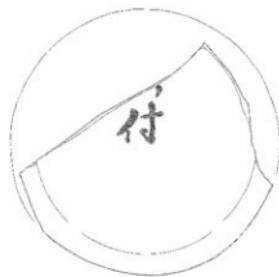
3161

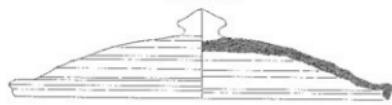
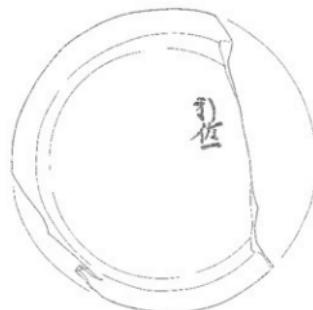
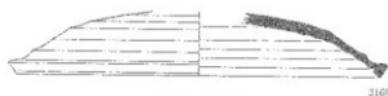


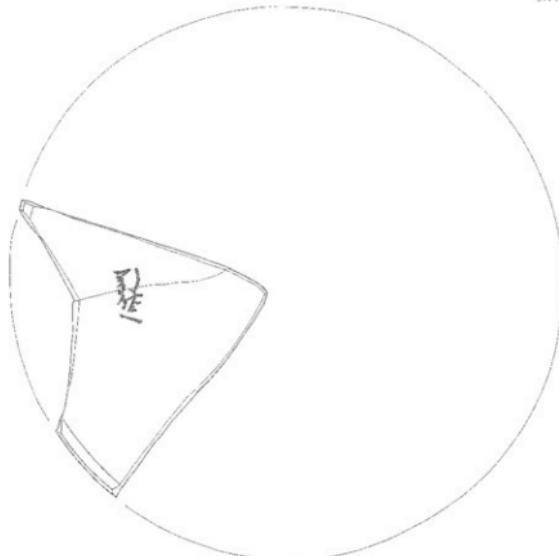
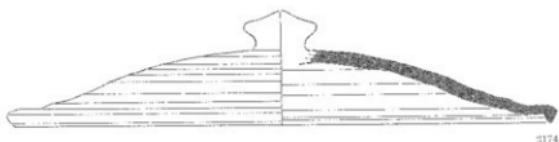
3162



3163











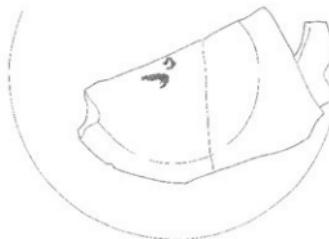
3180



3181

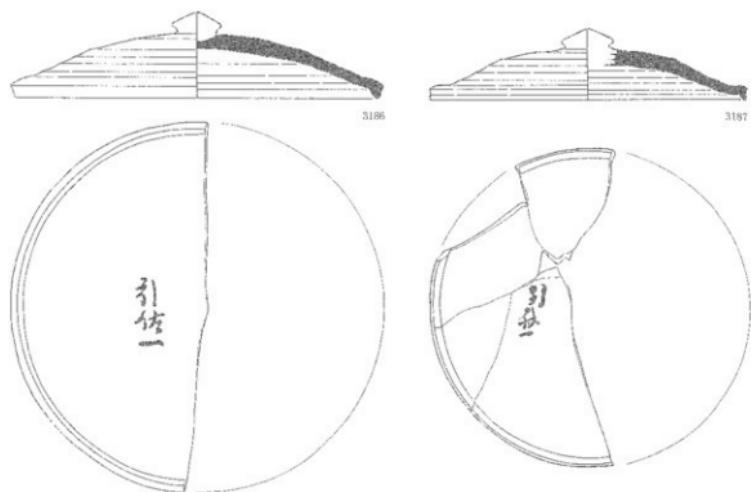
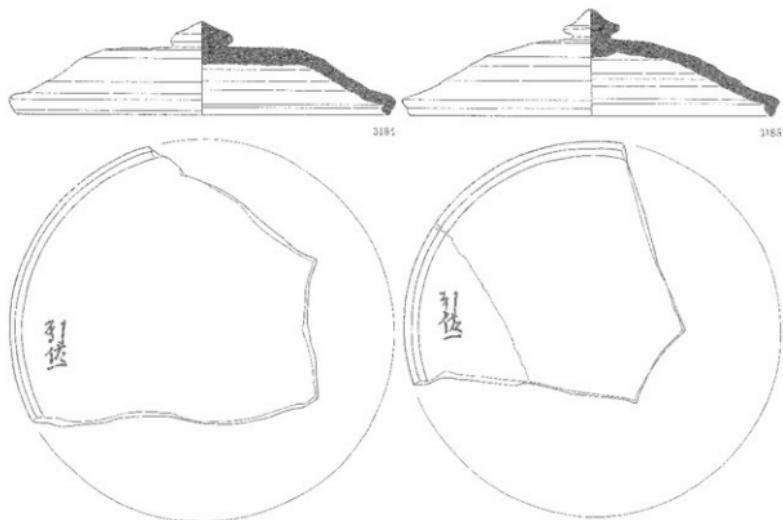


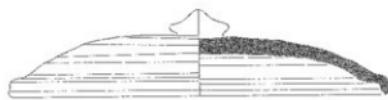
3182



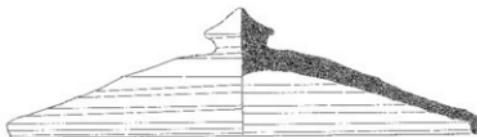
3183



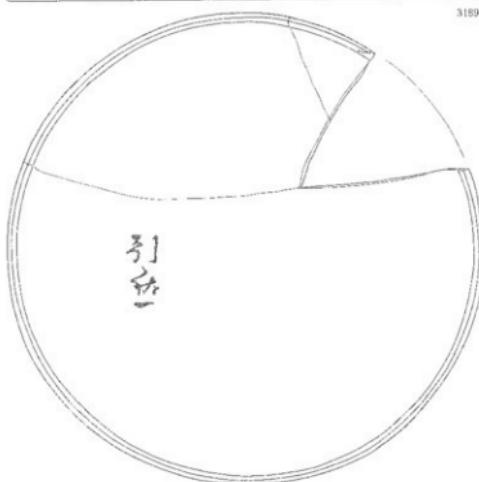




3188

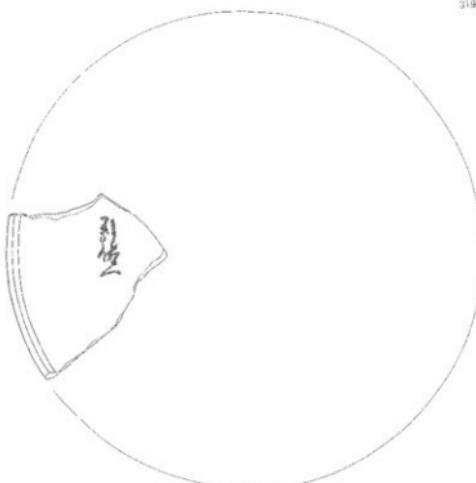


3189

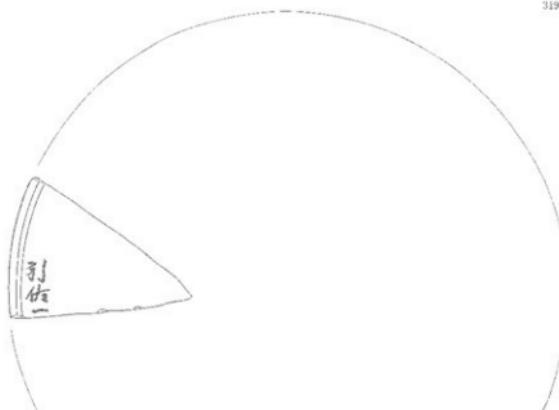




3190

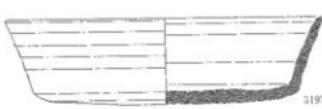


3191





3192



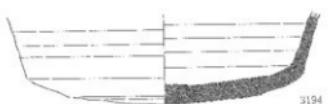
3193



引佐一



引佐一



3194



3195



引佐一



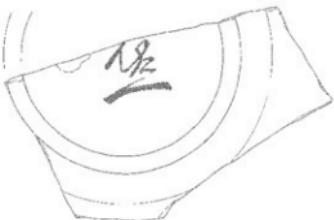
引佐一



3196



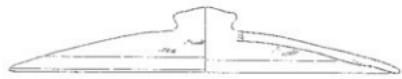
3196



引佐一



引佐一



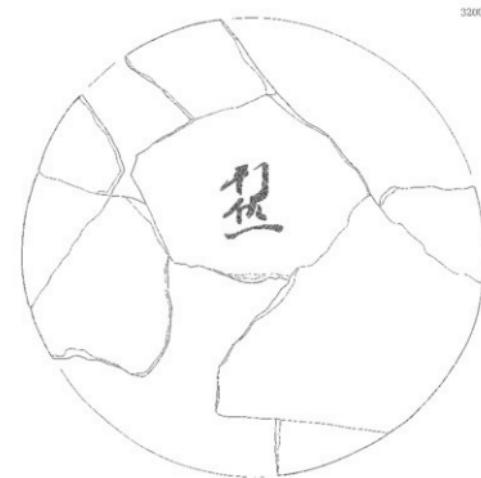
3198

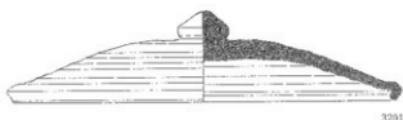


3199

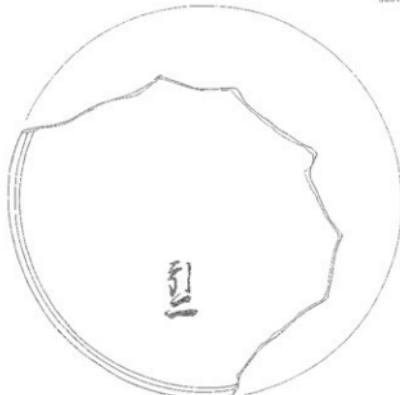


3200

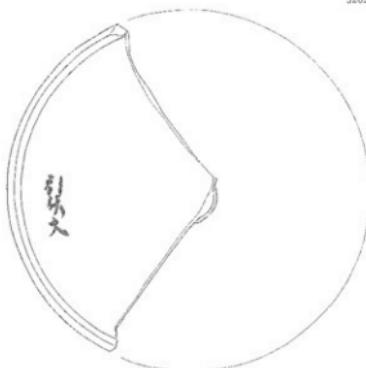




3291

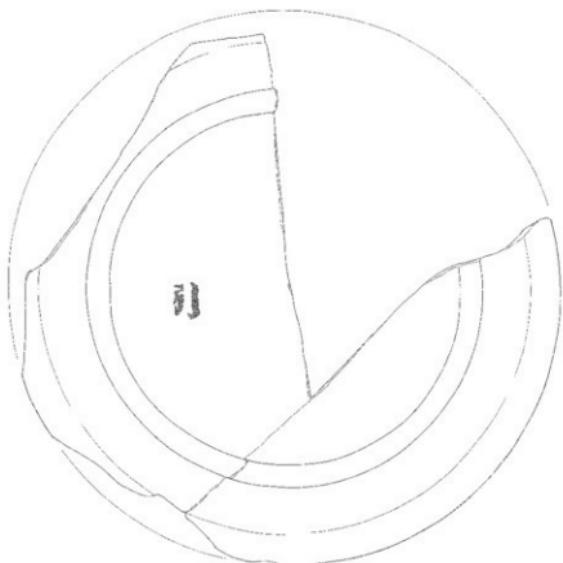


3202





3203



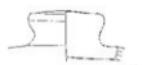
3204



3205



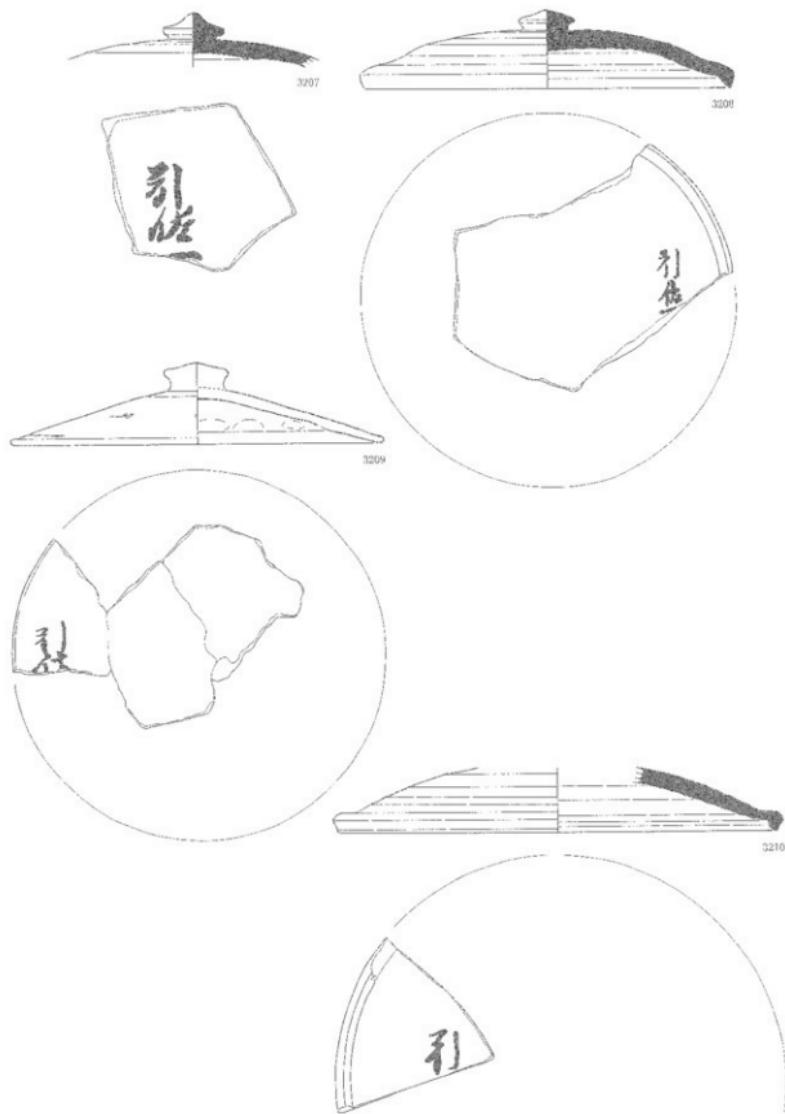
3206



3206



3206

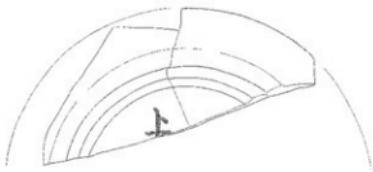




3211



3212





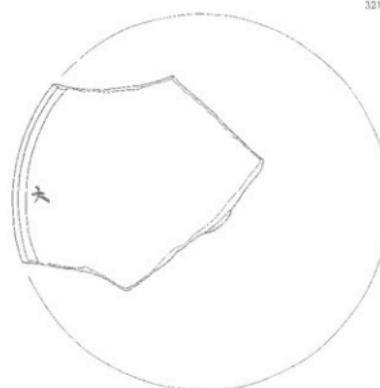
3213



3215



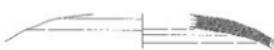
3214



3216



3217



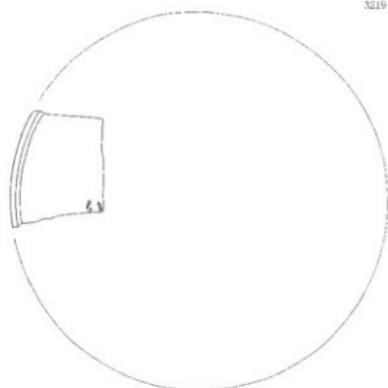
3218



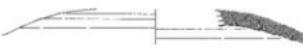
3219



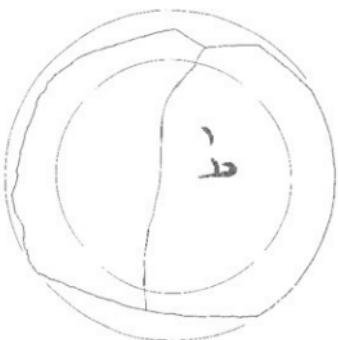
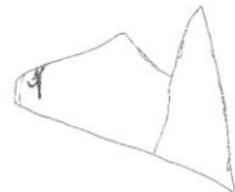
3219



3221



3223



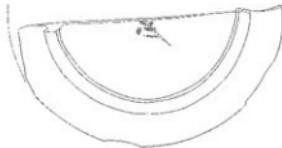
3226



3227



3228



3229



3226



3227



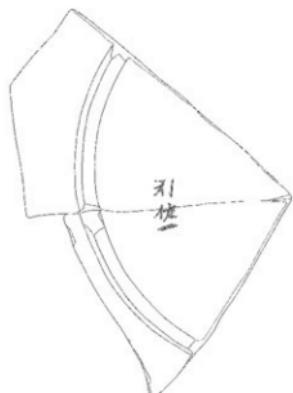
3228



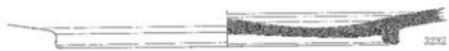
3229



3229

引
柱
一

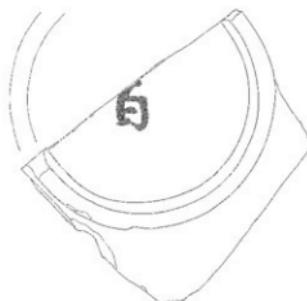
3230

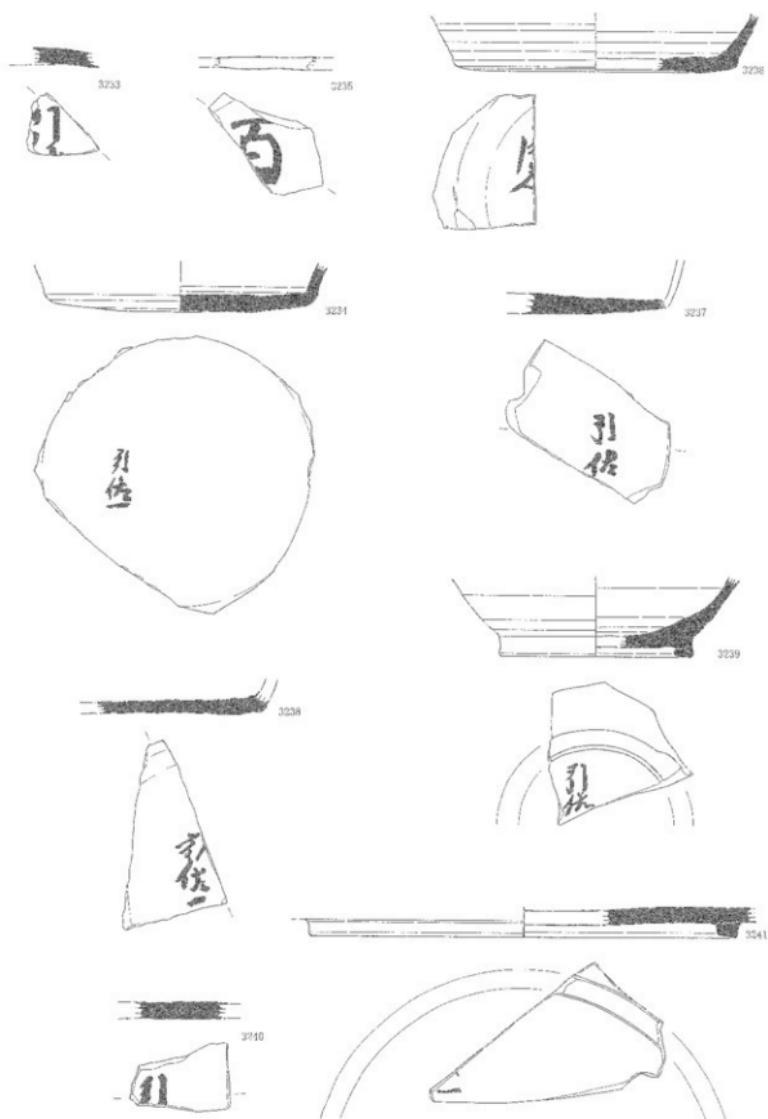


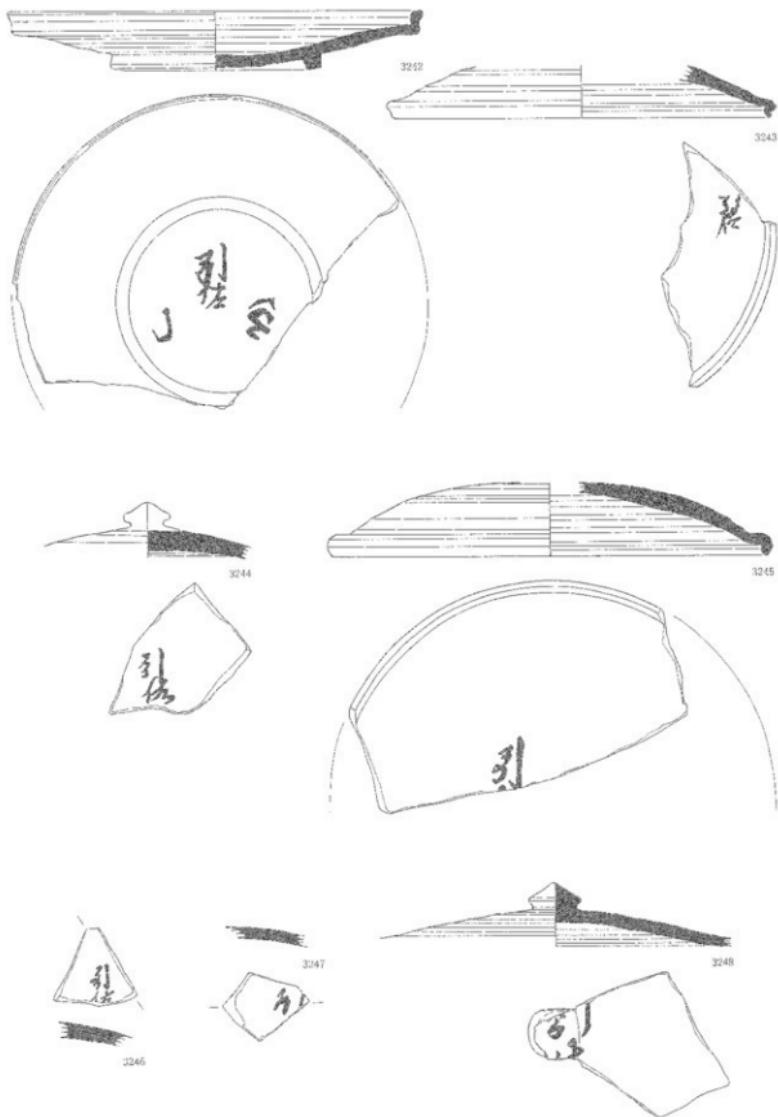
3232

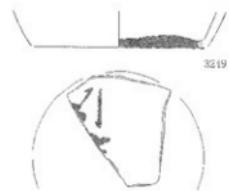


3231

引
盐
一引
盐
二







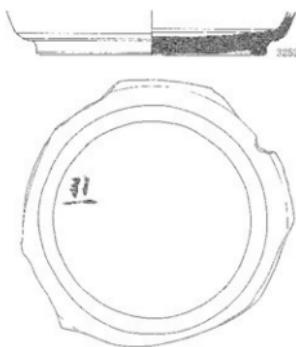
3249



3250



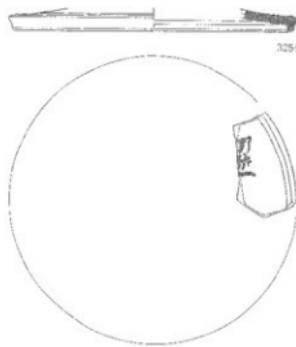
3251



3252



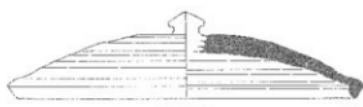
3253



3254



3255



3258



引佐二



引佐二



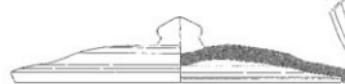
3256



3259



引佐二



3257



引佐二



引佐二



3260



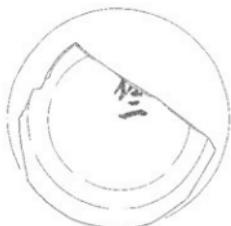
3261



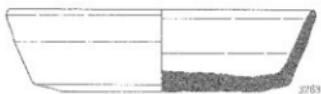
3264



3262



3263

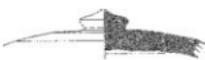


3263





3266



3267



3268

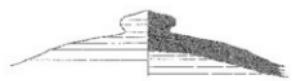


3269



3270

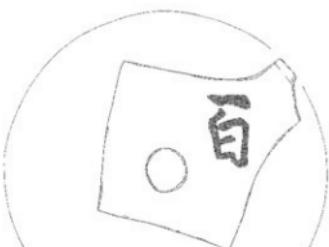




3271



百



3272



百



3273



百



3274



百



3275



五



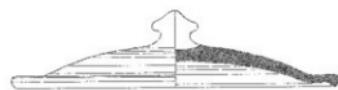
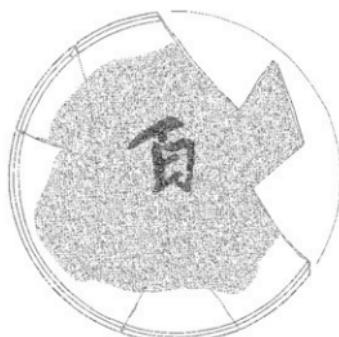
3276



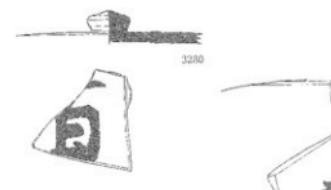
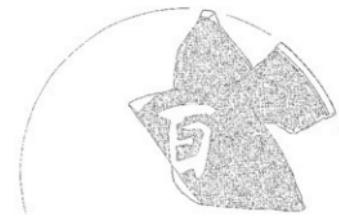
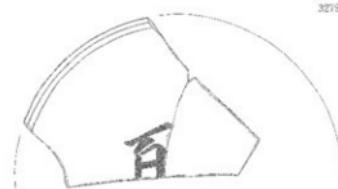
五



3277



3279

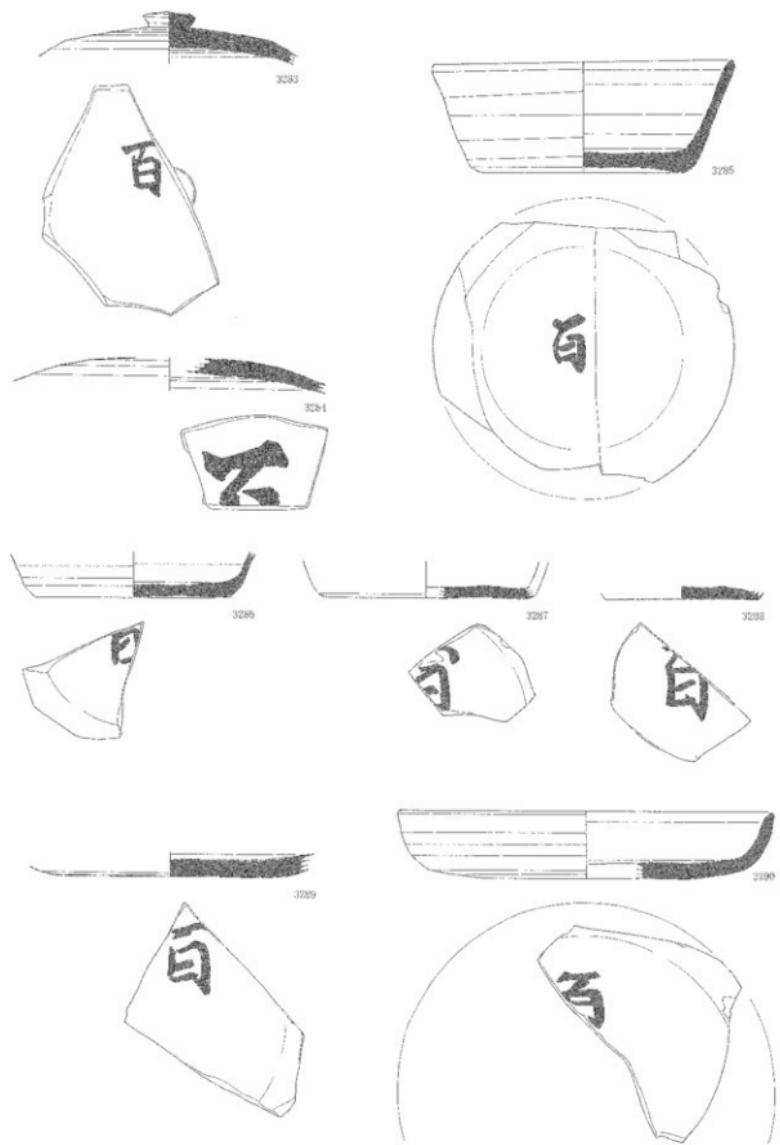


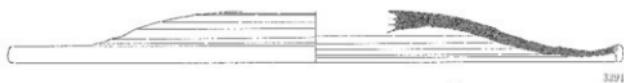
3280



3281



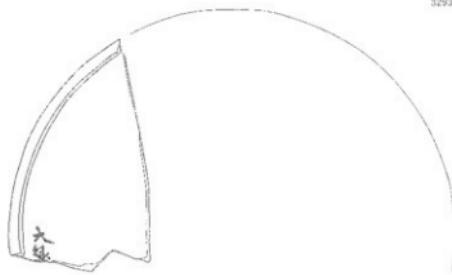




3290



3293

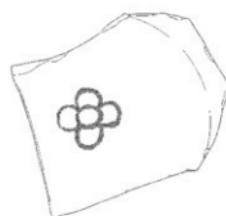




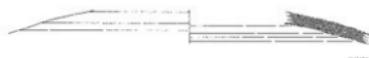
3295



3296



3297



3298



3299



3300



3301

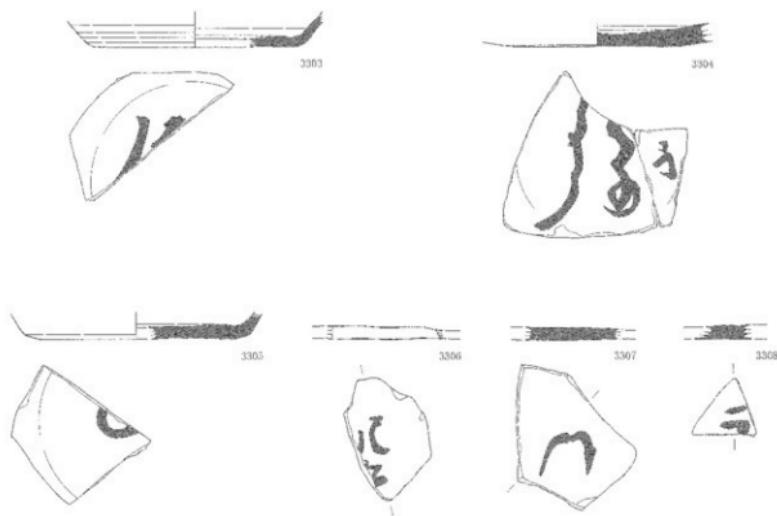


3301

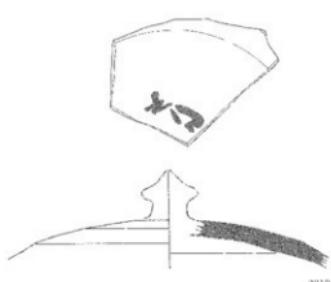


3302

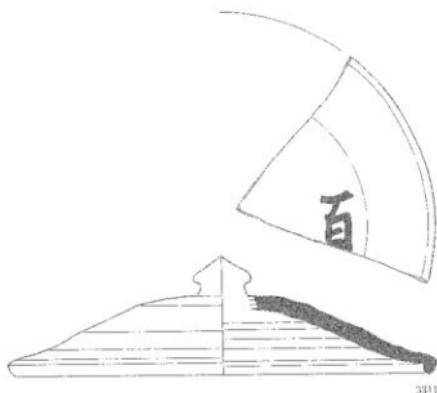








3310



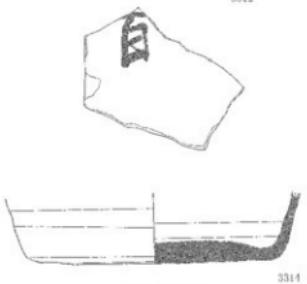
3311



3312



3313



3314



3315





3316



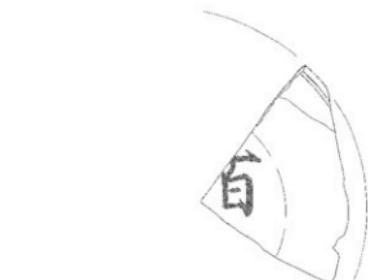
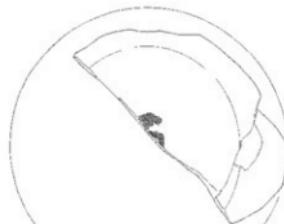
3318



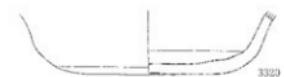
3319



3317



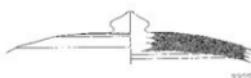
3319



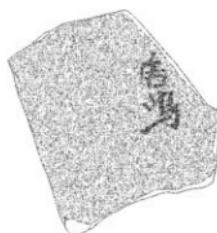
3320



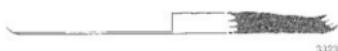
3321



3323



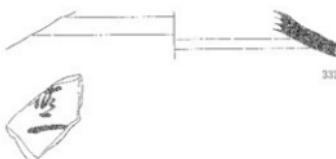
3324



3325



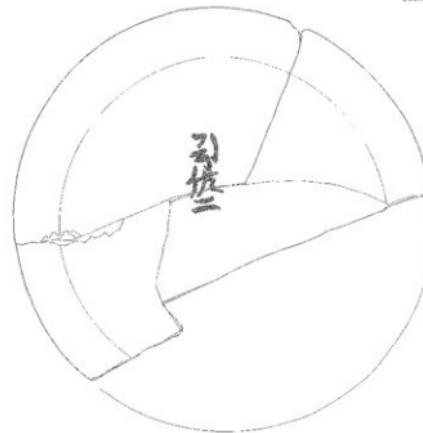
3326



3327

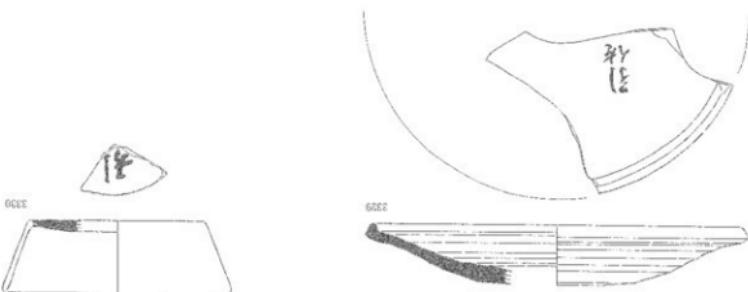
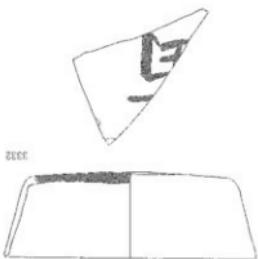
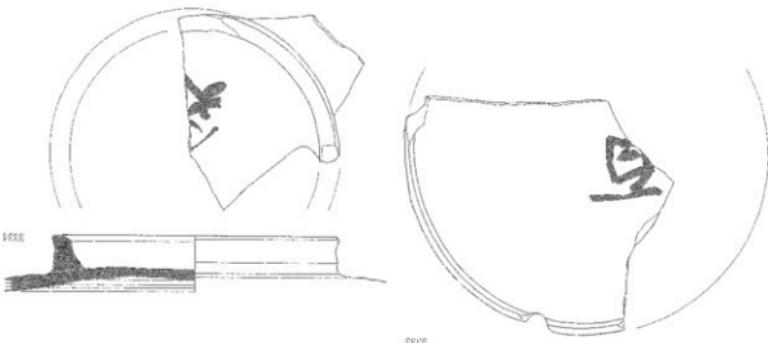


3328



3329



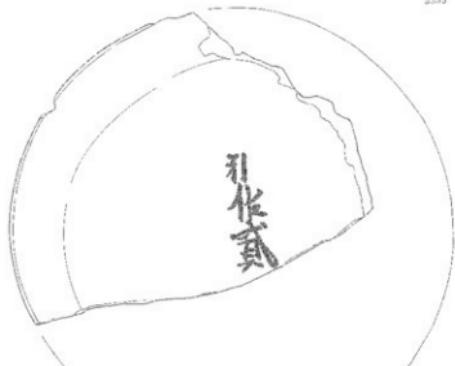




3335



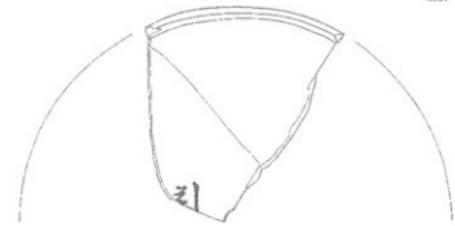
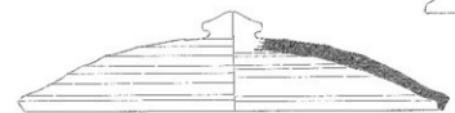
3336



3337

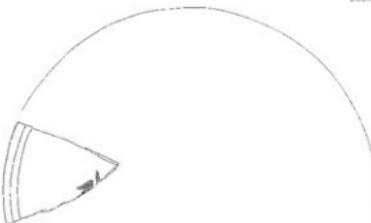


3338



3340

3341



3342



3340



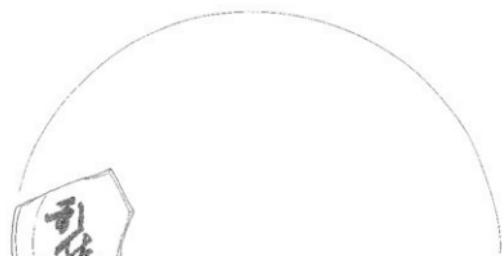
3341



3343



3342



乱



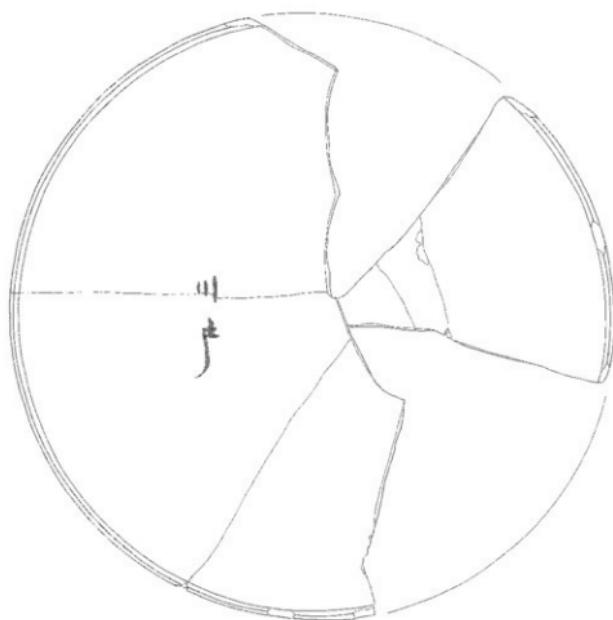
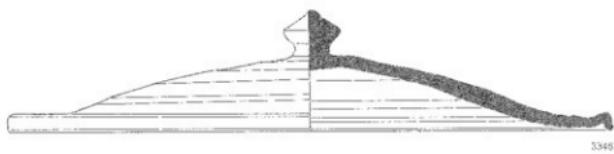
3344



3345

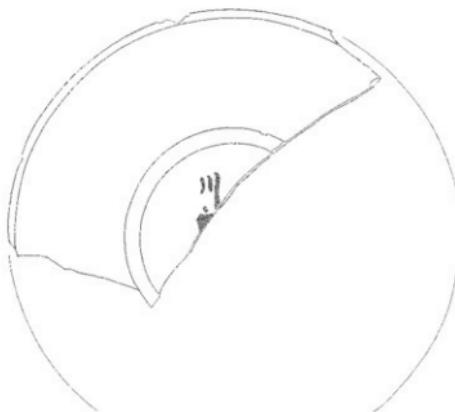


百

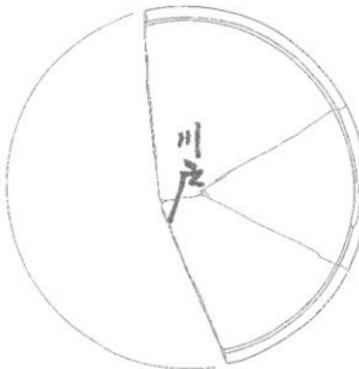




3317



3318





3349

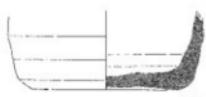


3350

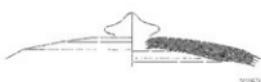


3351

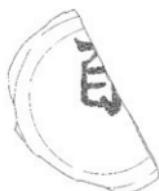




3352



3353



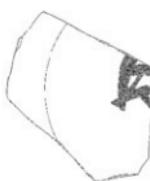
3354



3355



3356

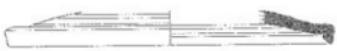


3357



3358





3358



3389



3360



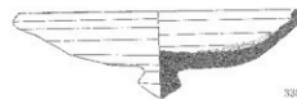
3361

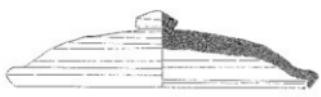


3362

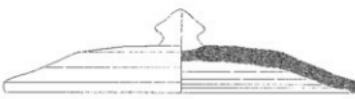


3353

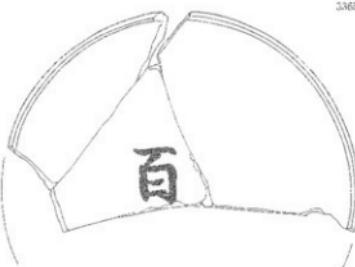




3364



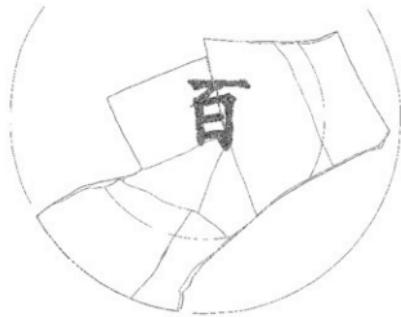
3365



3367



3368



3369





3369



3371



3370



3372

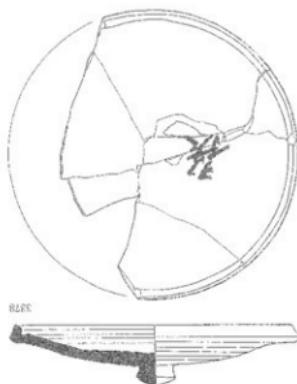
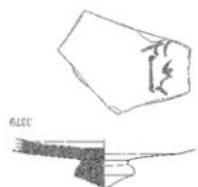


3373



3374







3381



3382



別佑二



3383



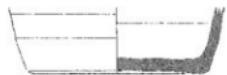
3384



別佑二



3385



3385



別佑二



3386



3387



3388



3389

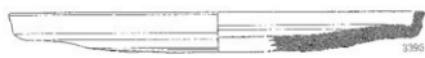
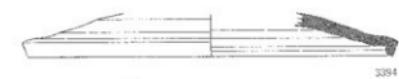
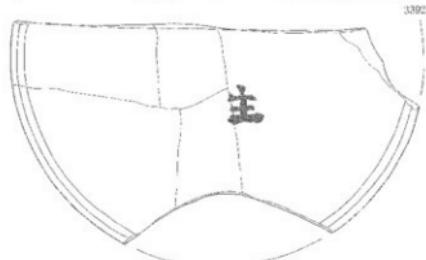
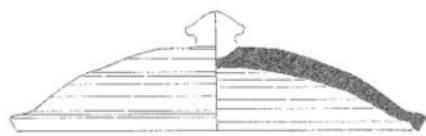


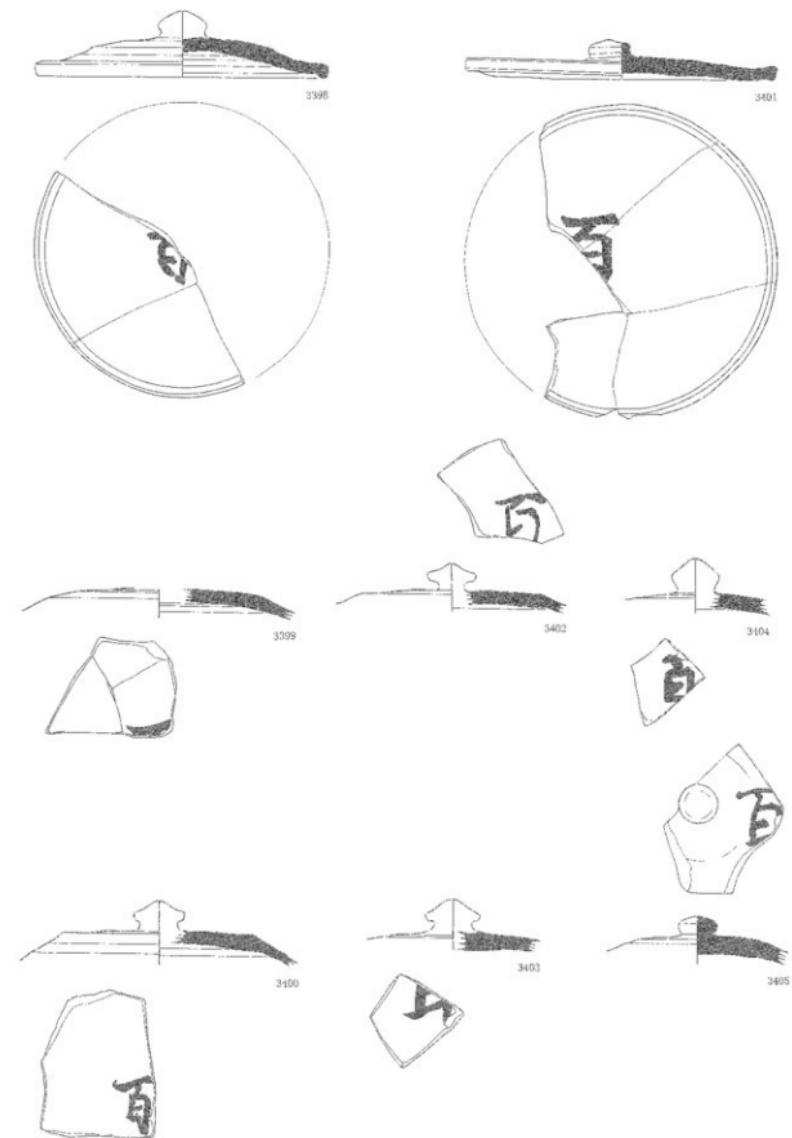
3391

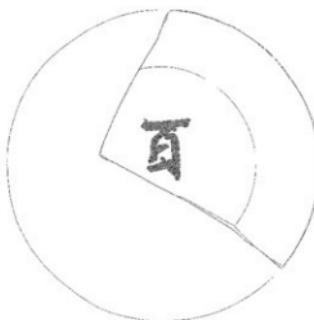
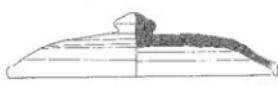
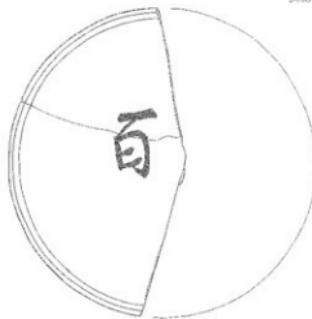
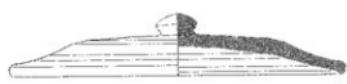


3390







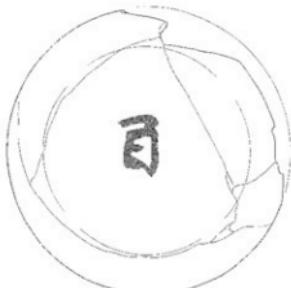




3411



3412



3413



3414



3415



3416

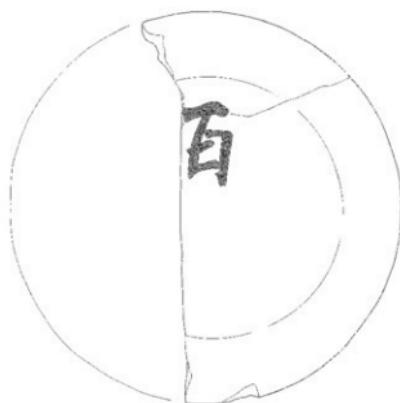


3417



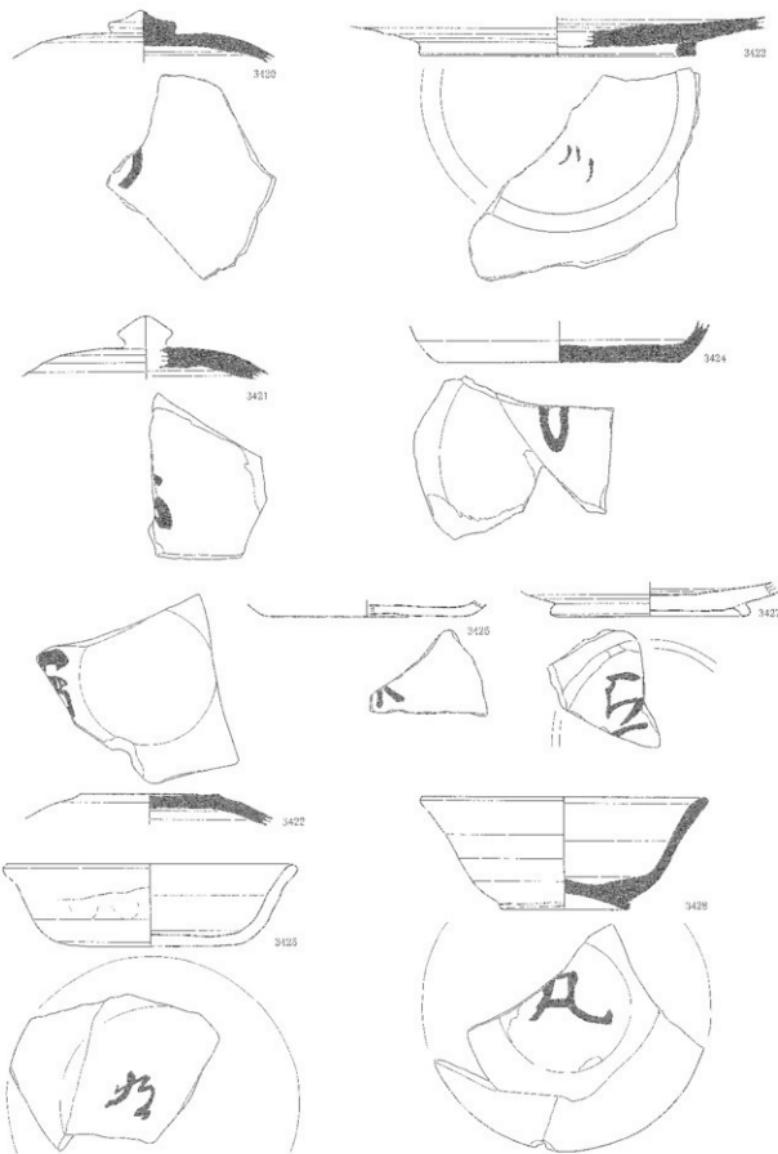


3418



3419



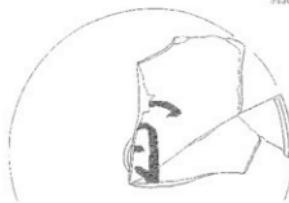




3429



3430



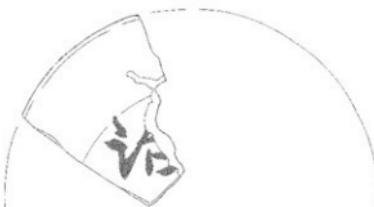
3432

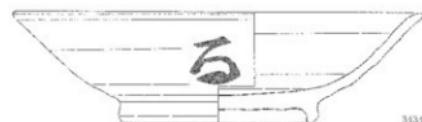


3431

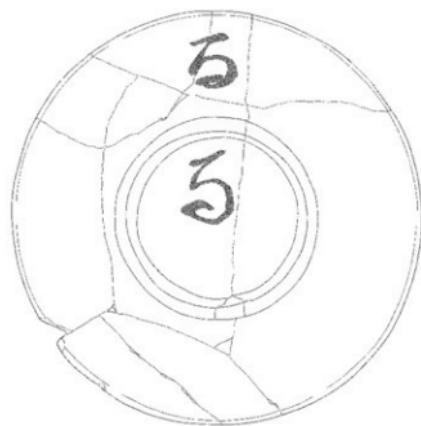


3433





3434



3435



3436



3437



3438



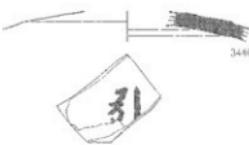
3439



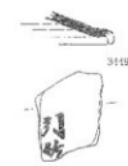
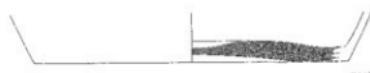
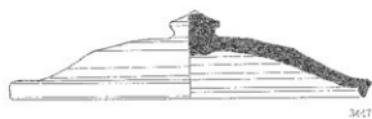
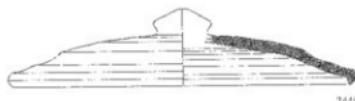
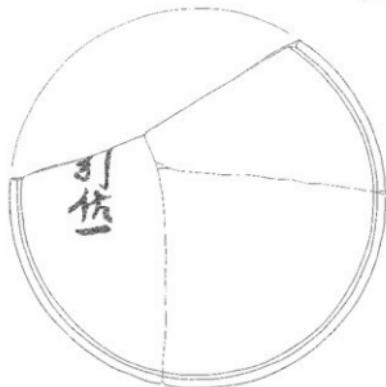
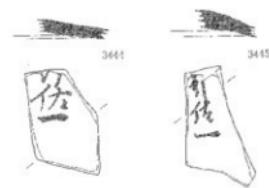
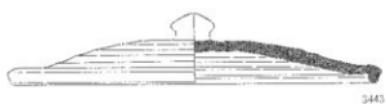
3441



3442



3440

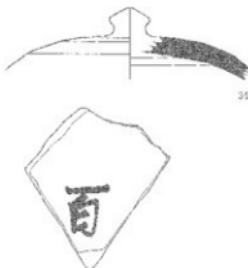




3450



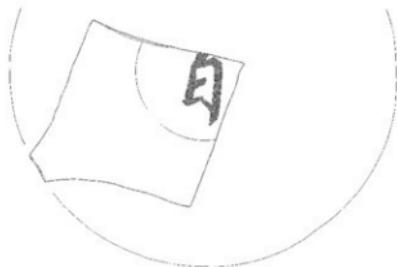
3451

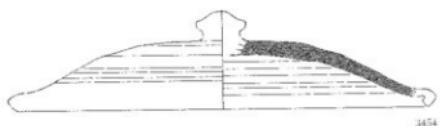


3452



3453





3454



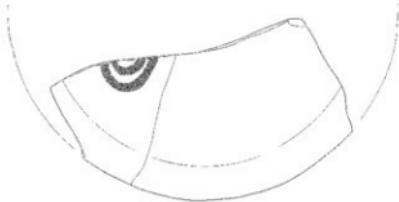
3457



3455



3458

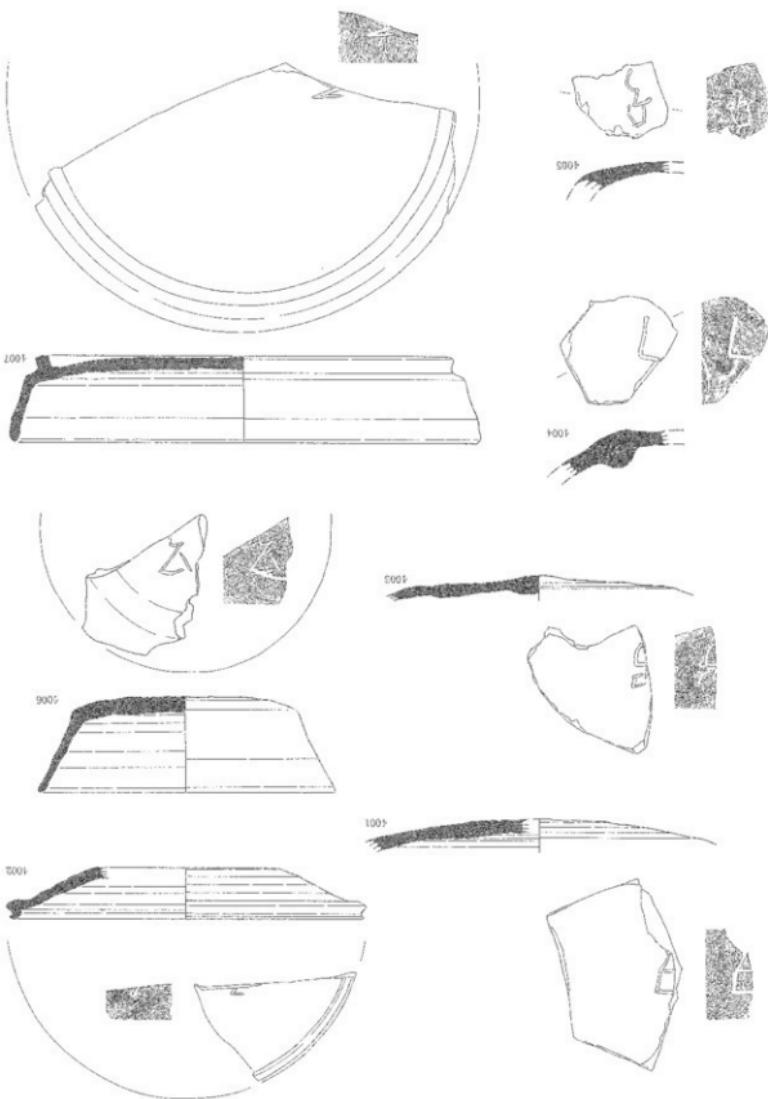


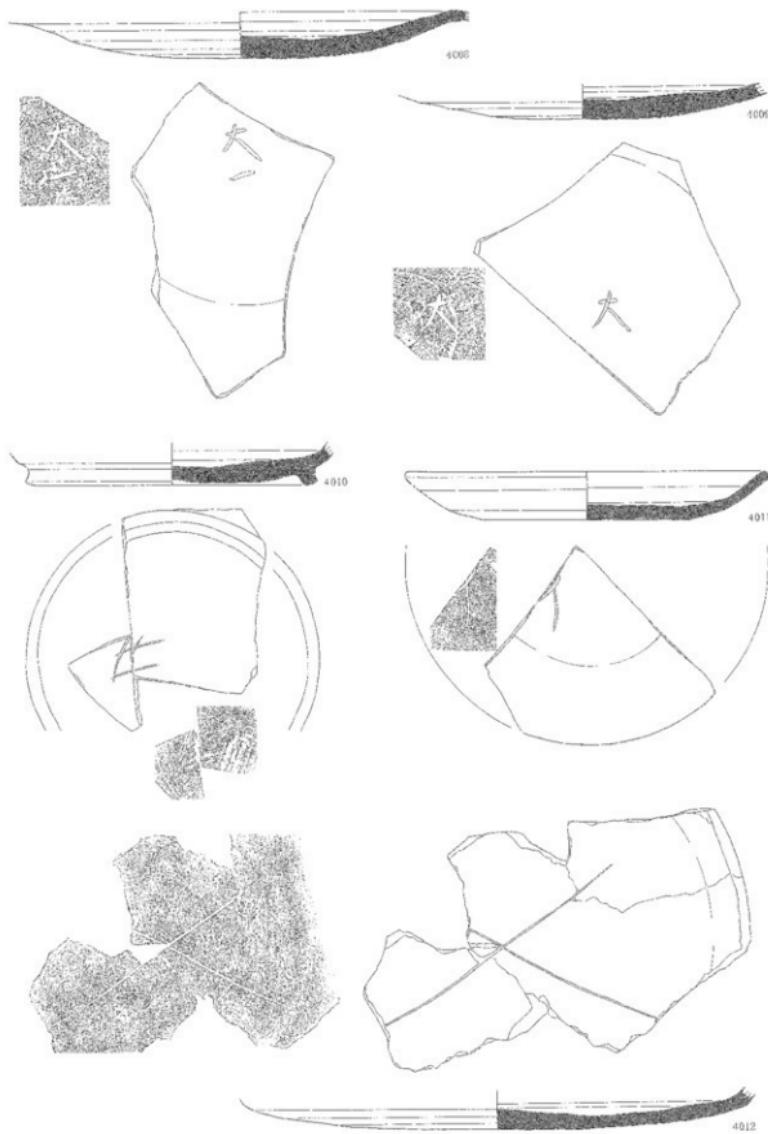
3456

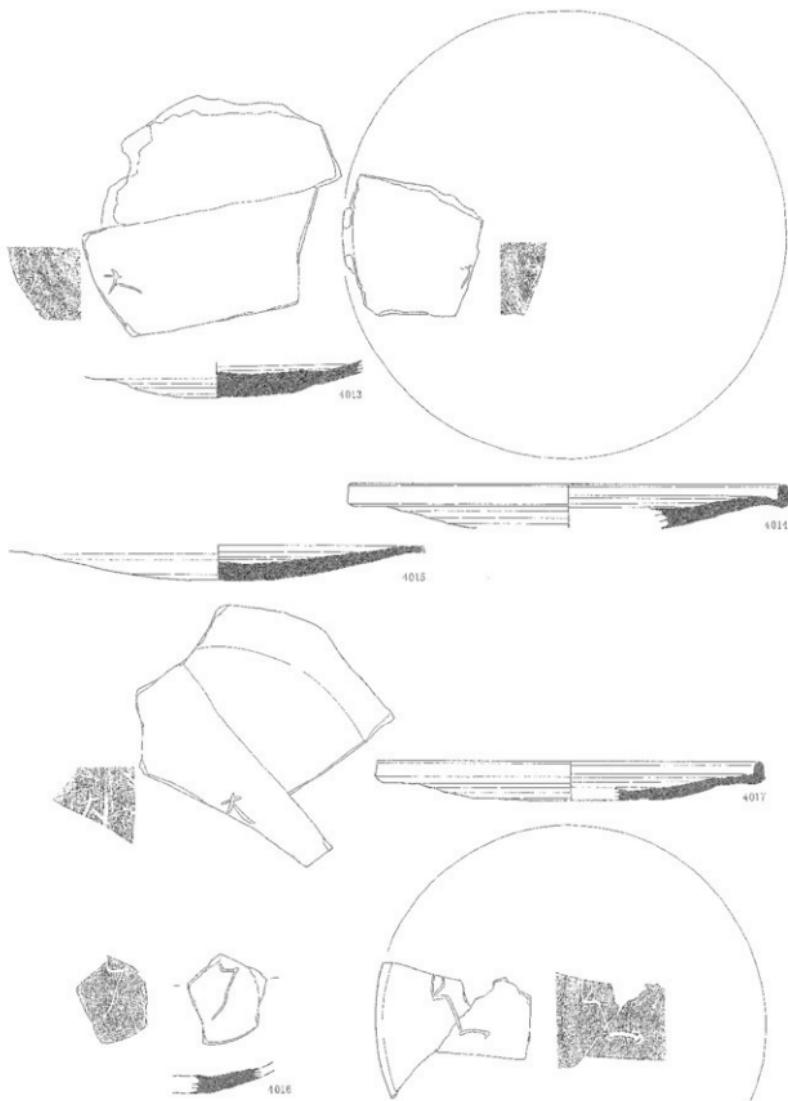


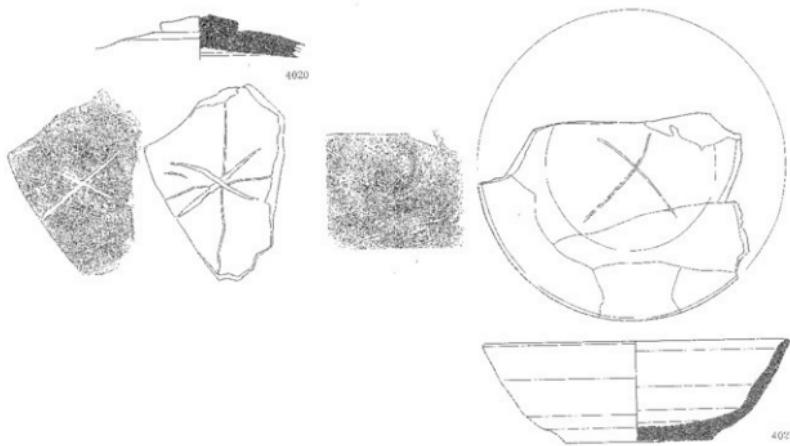
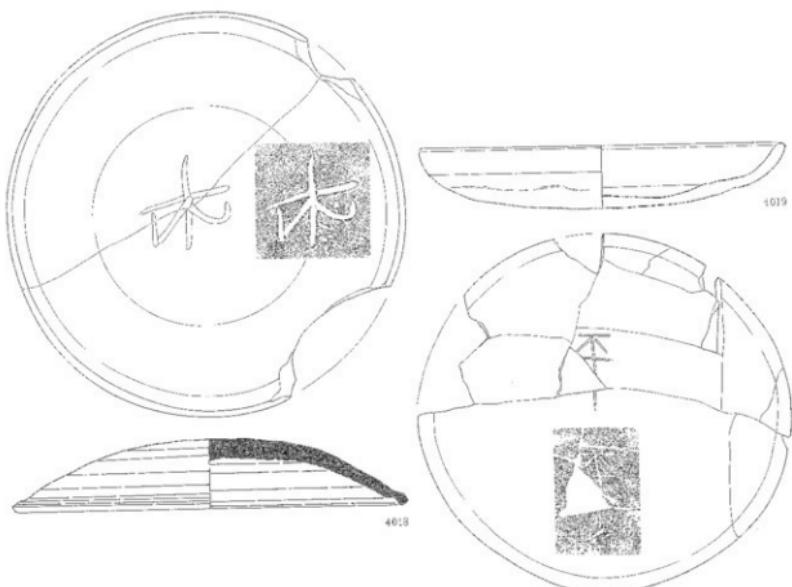
3459



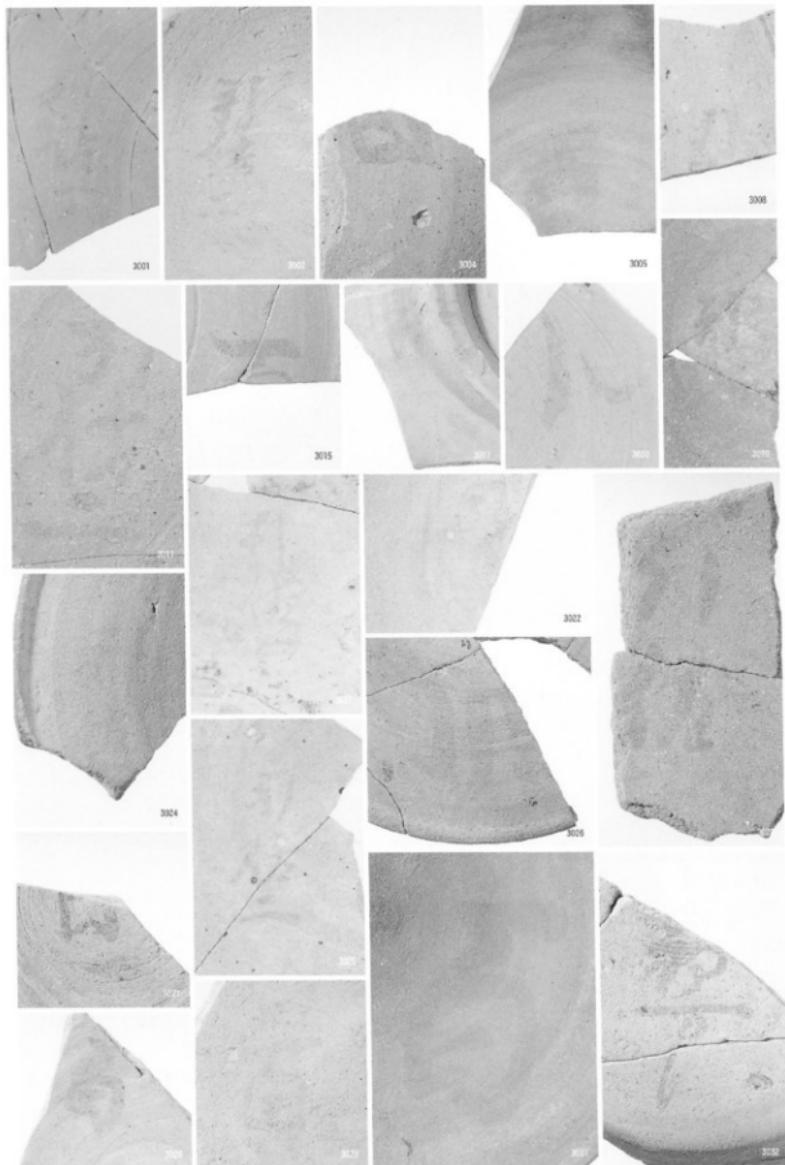


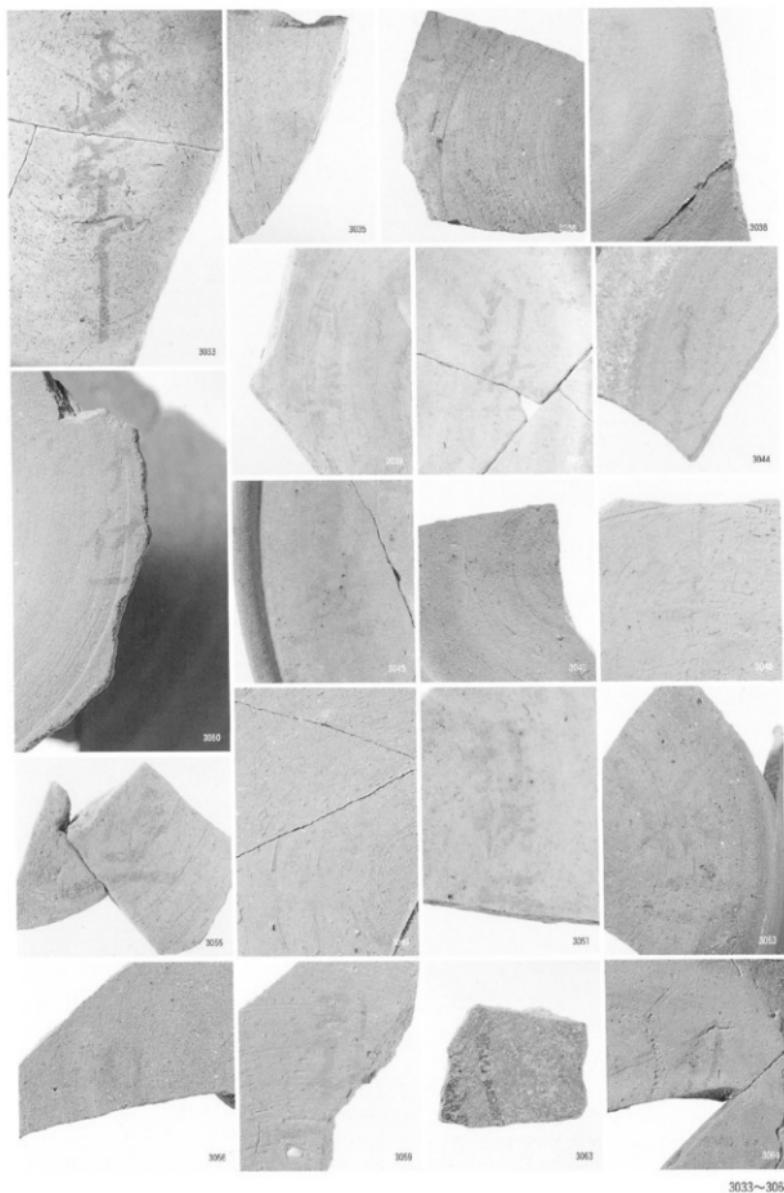


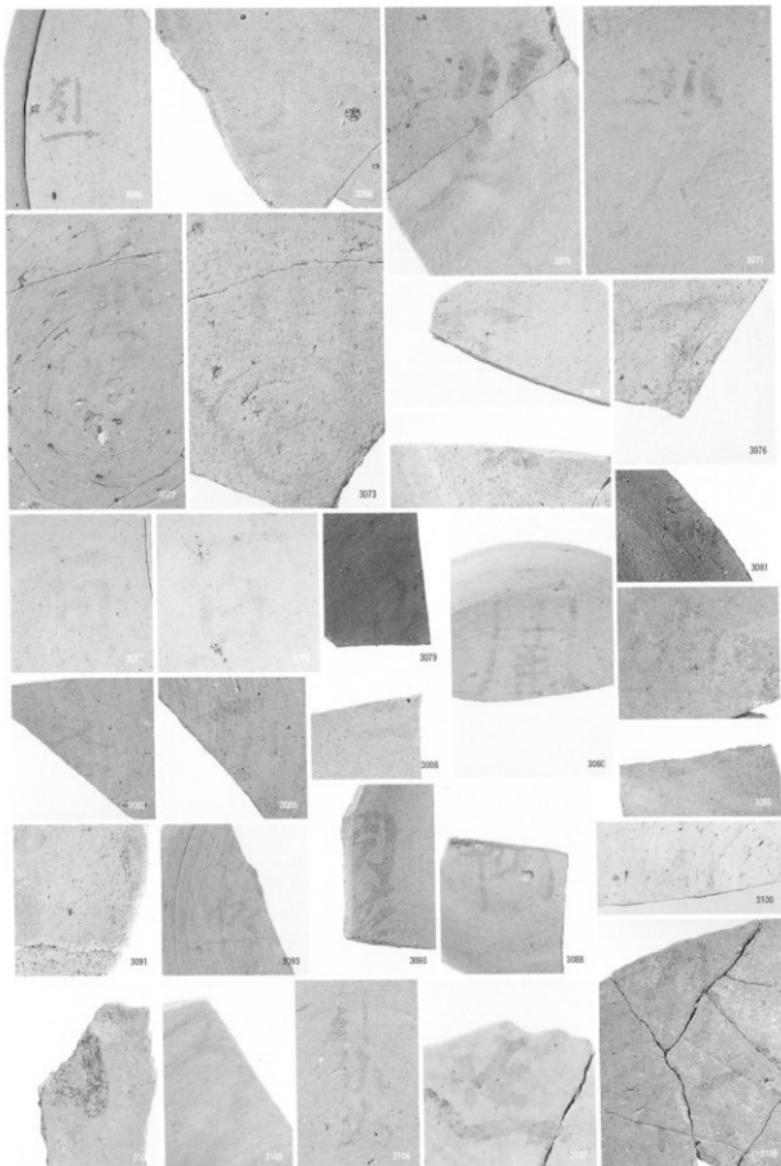


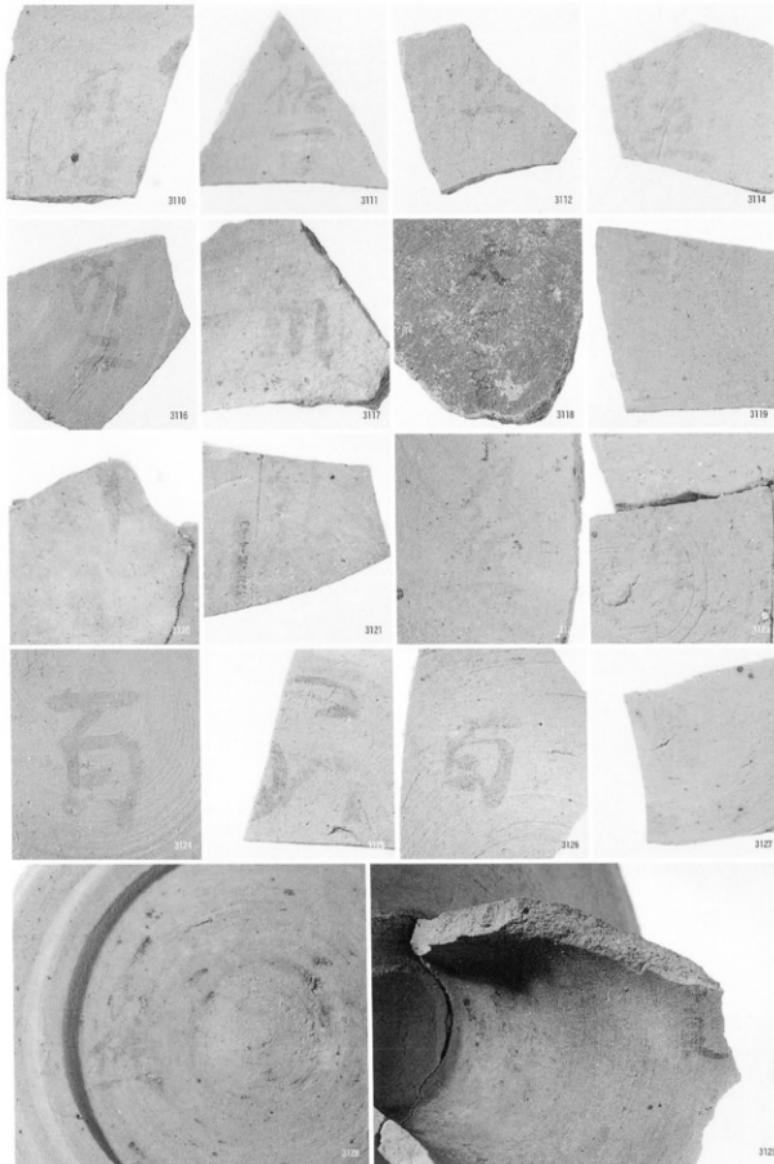


写 真 図 版
PHOTOGRAPH

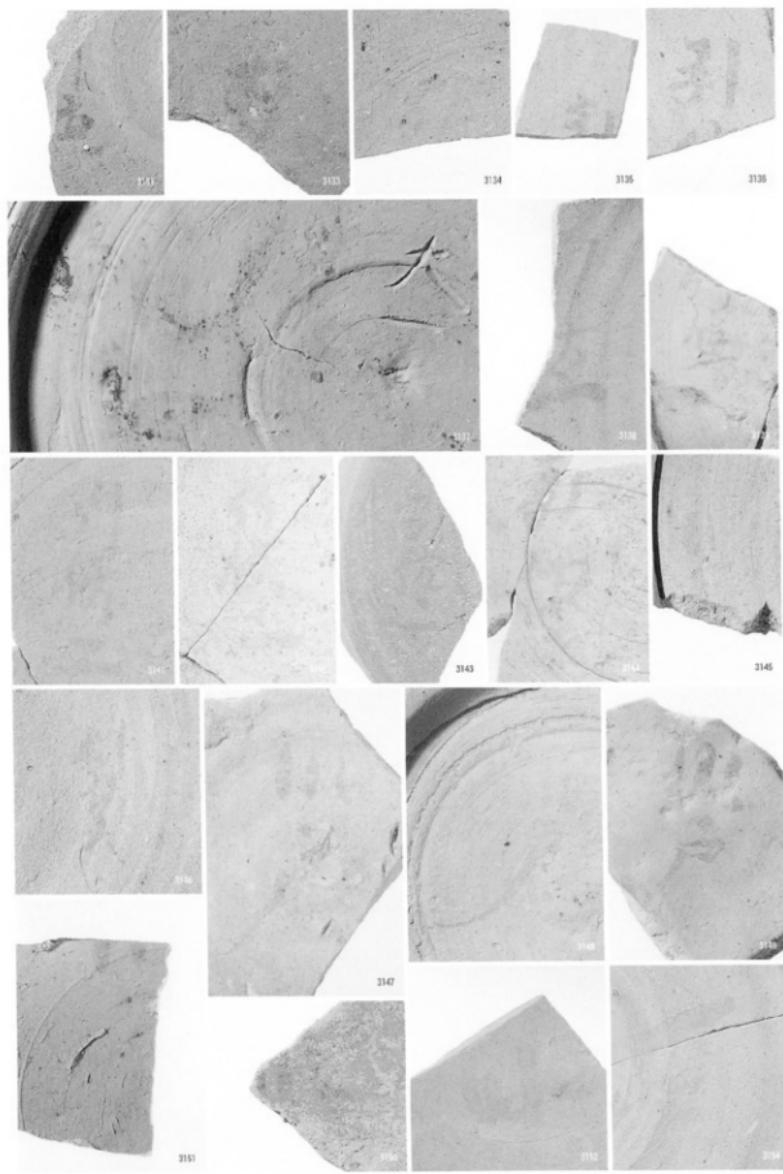


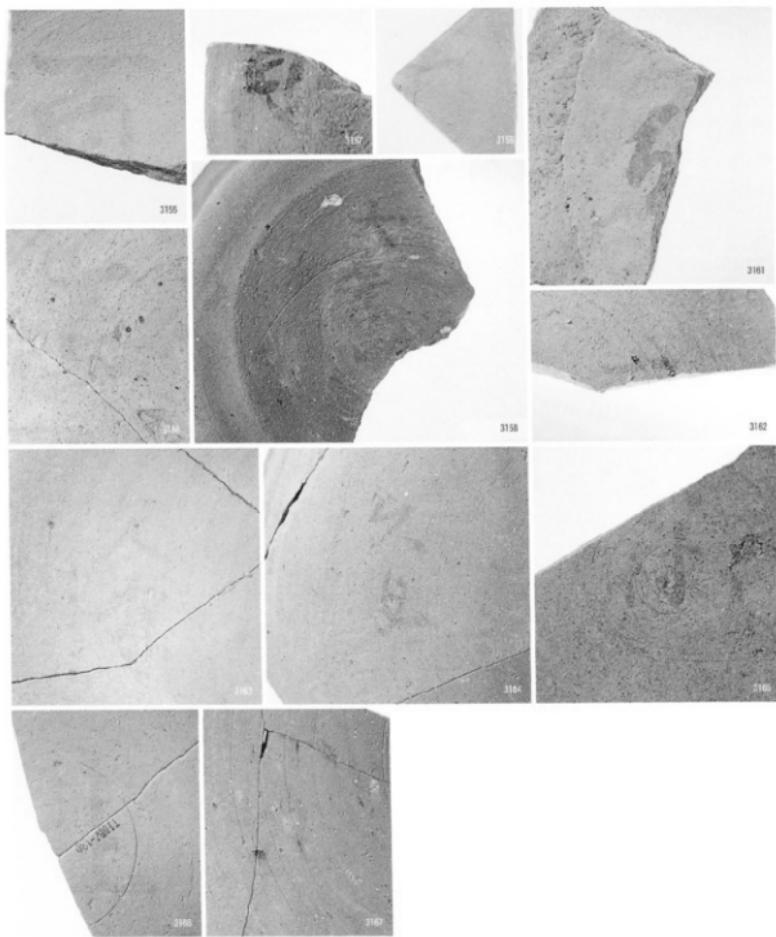


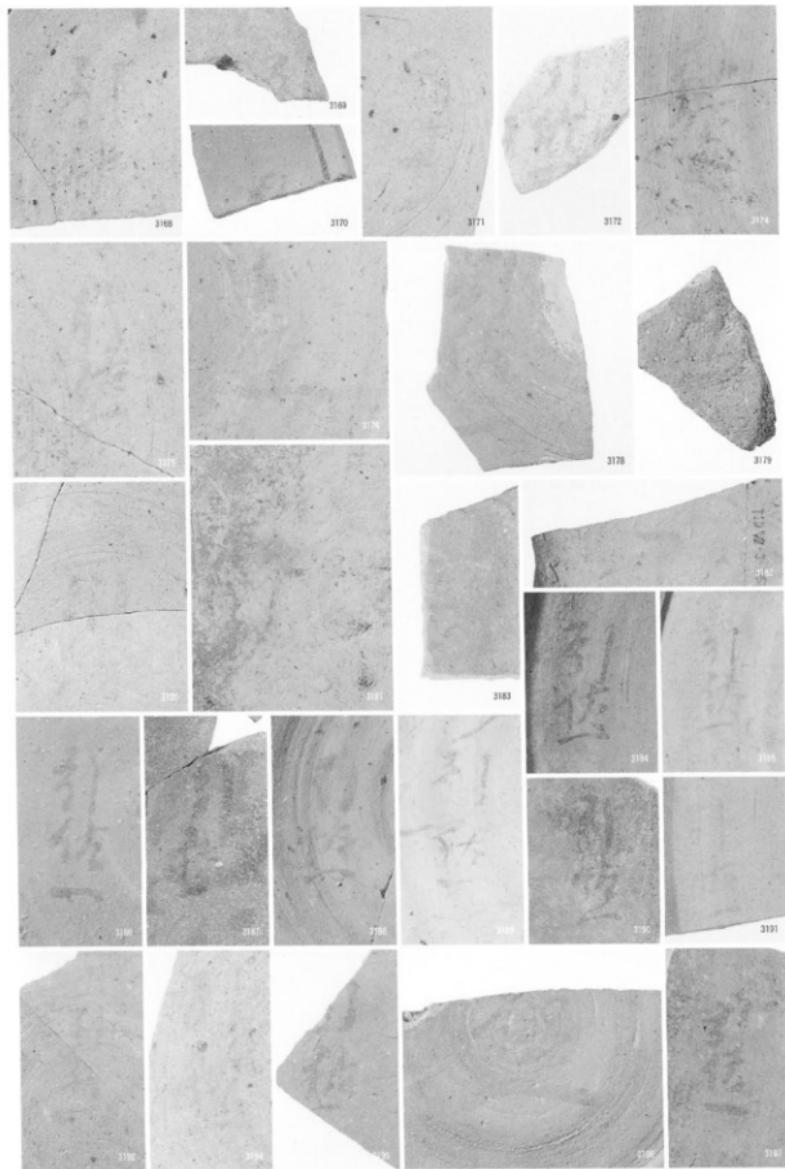




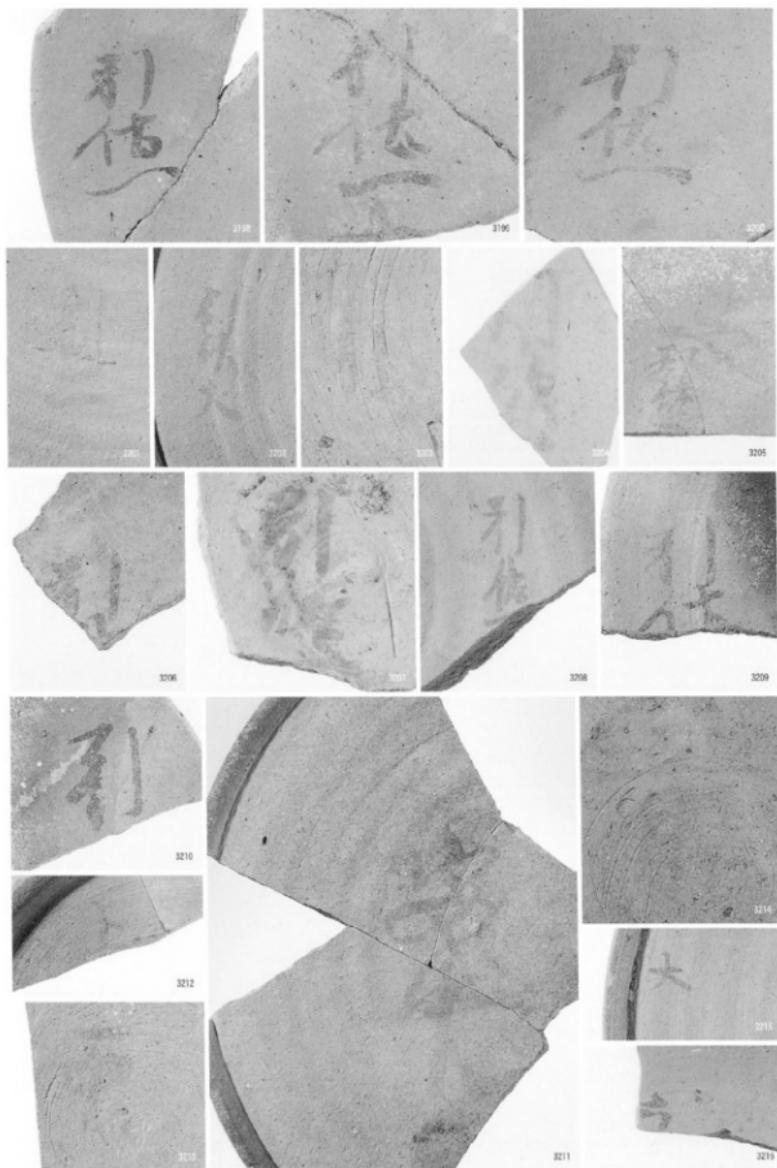
3110~3129

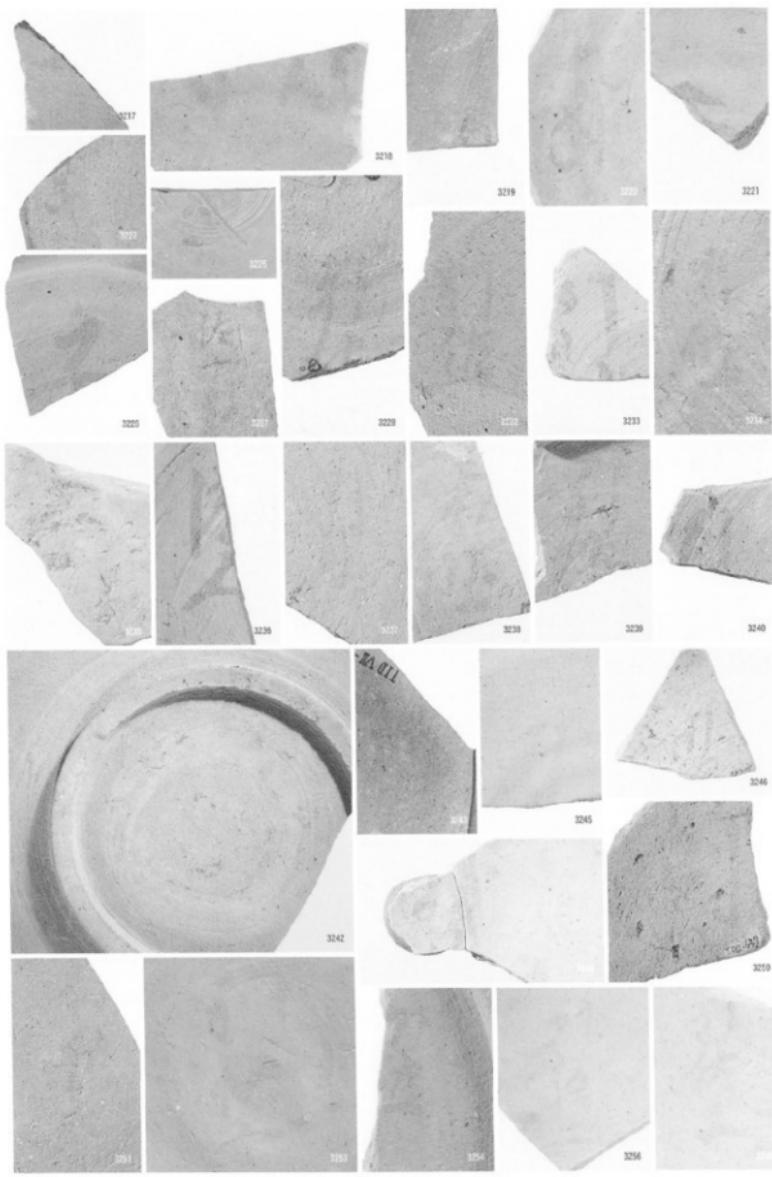


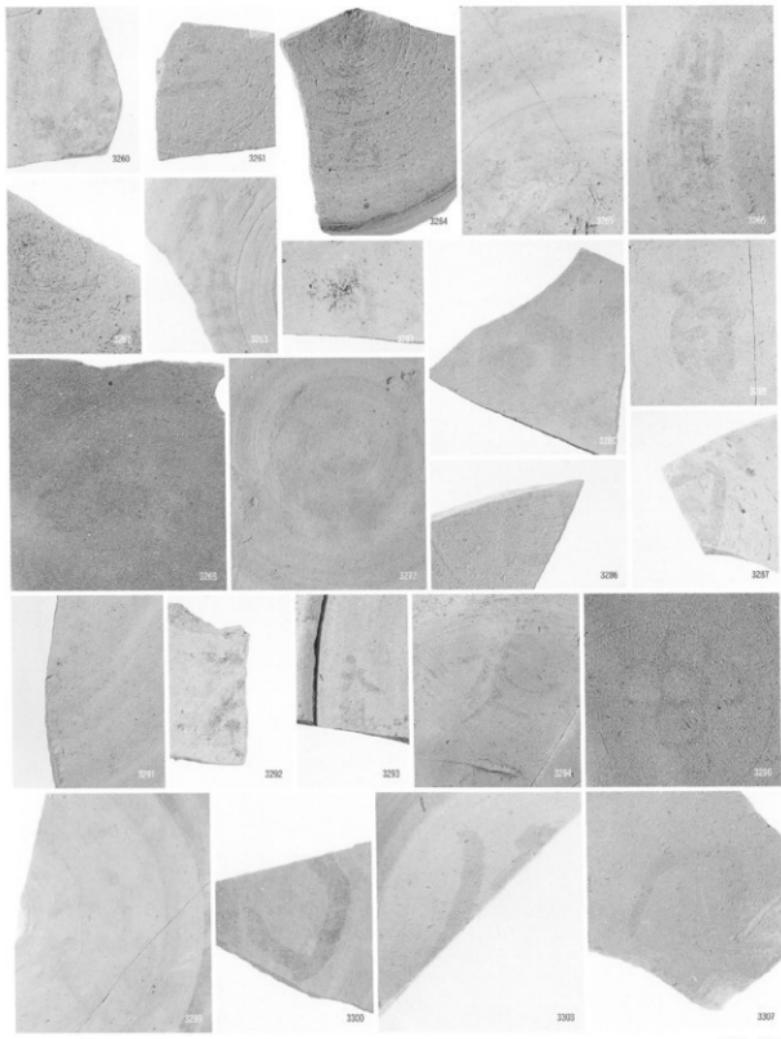




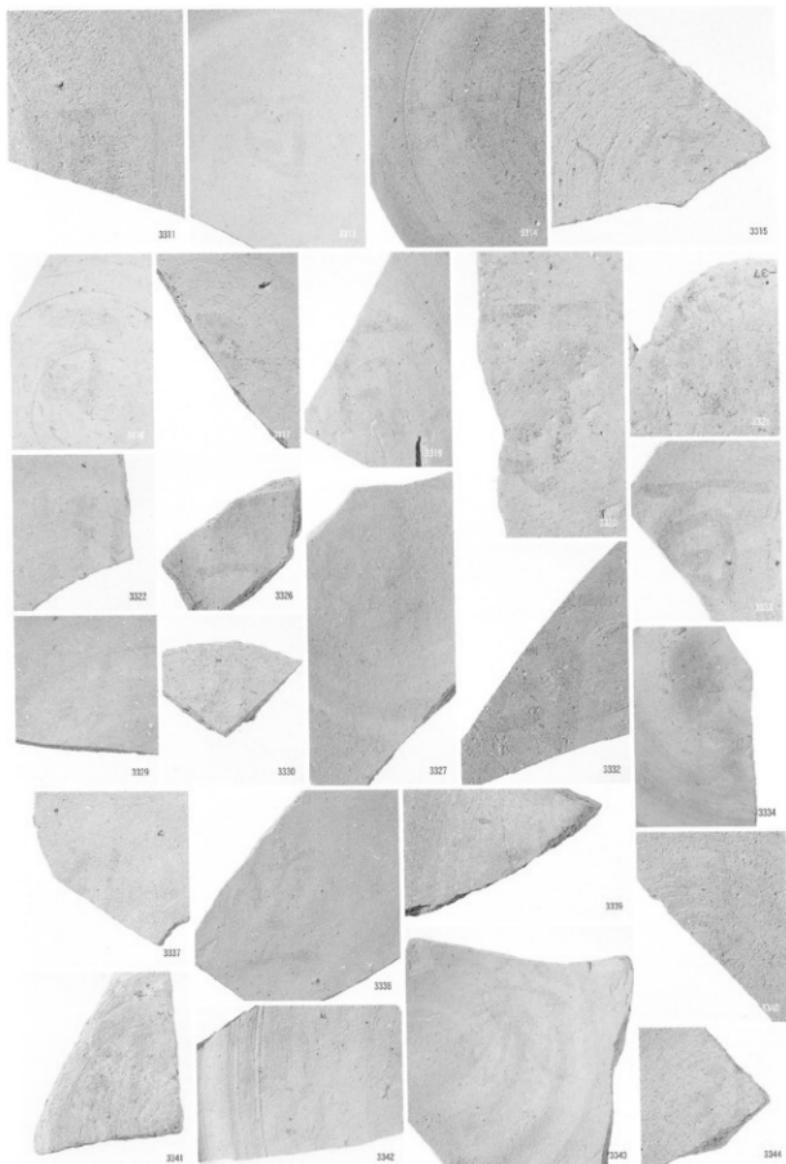
3168-3197





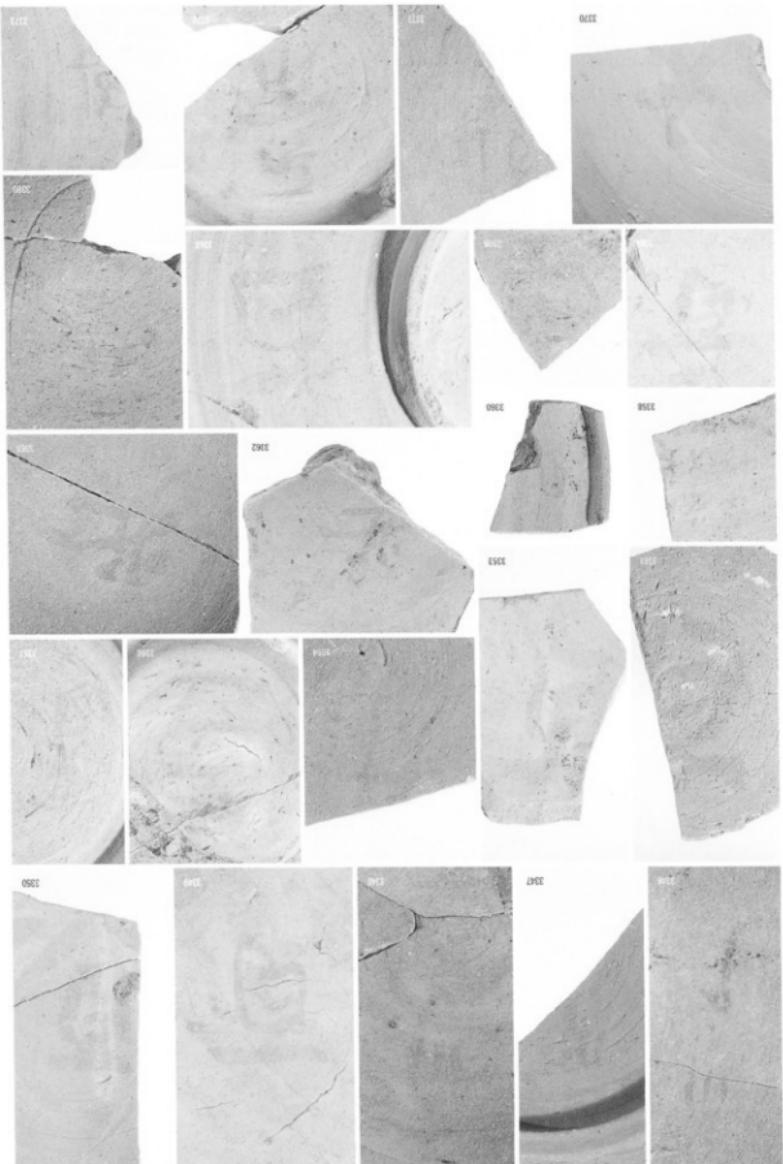


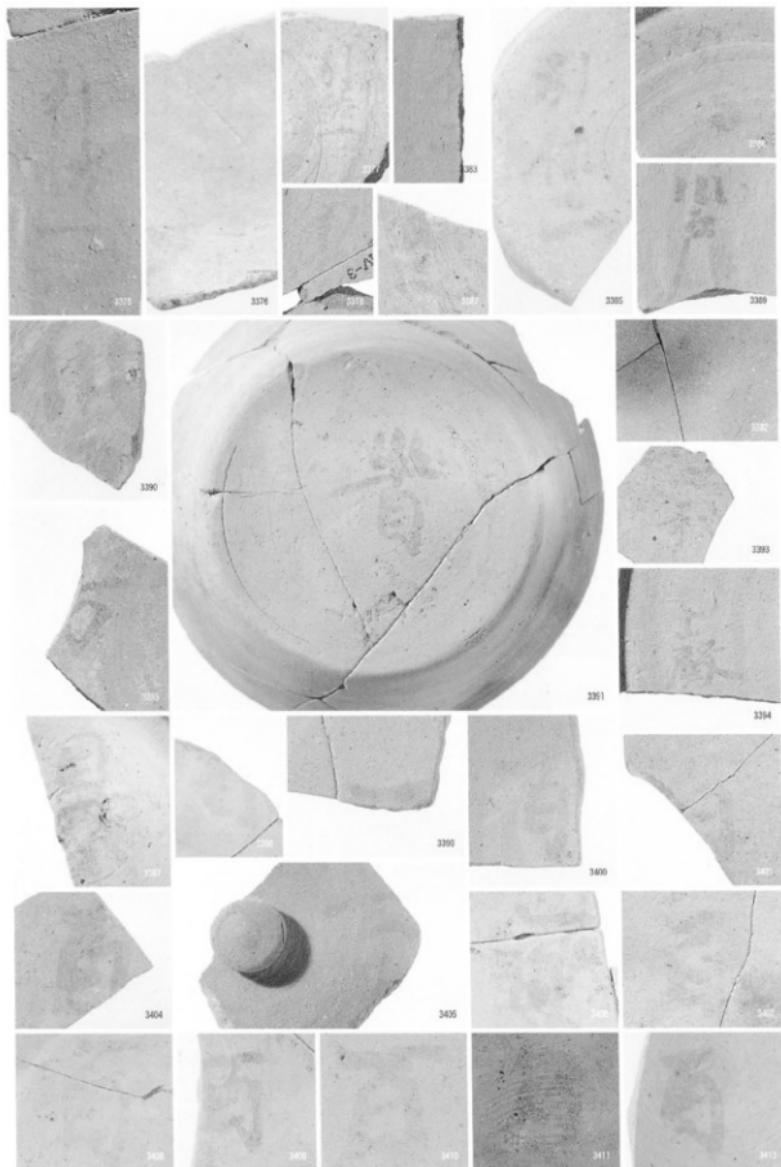
3260-3307



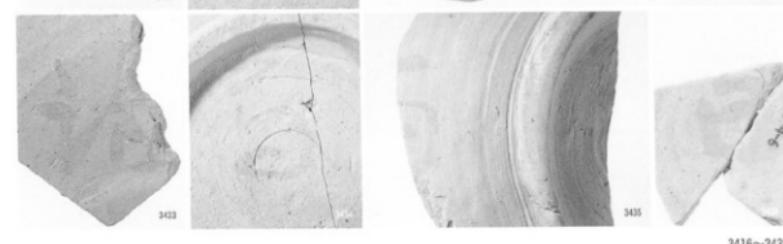
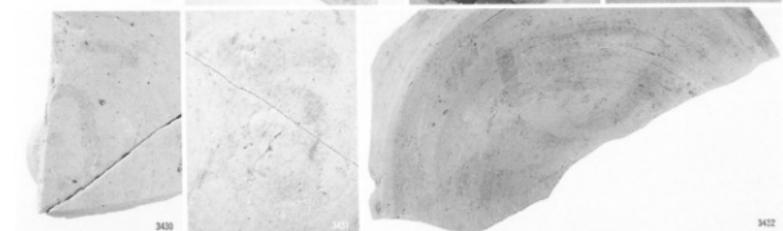
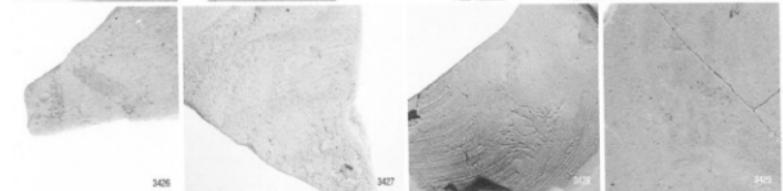
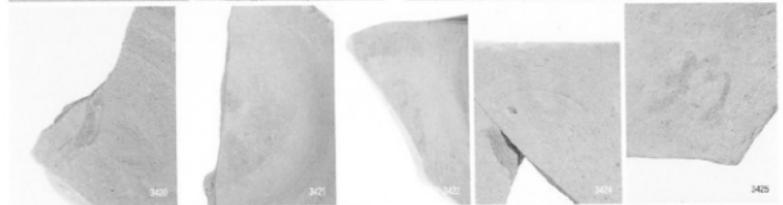
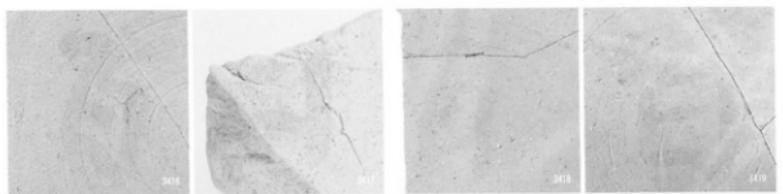
3311~3344

E1CC~G1CC

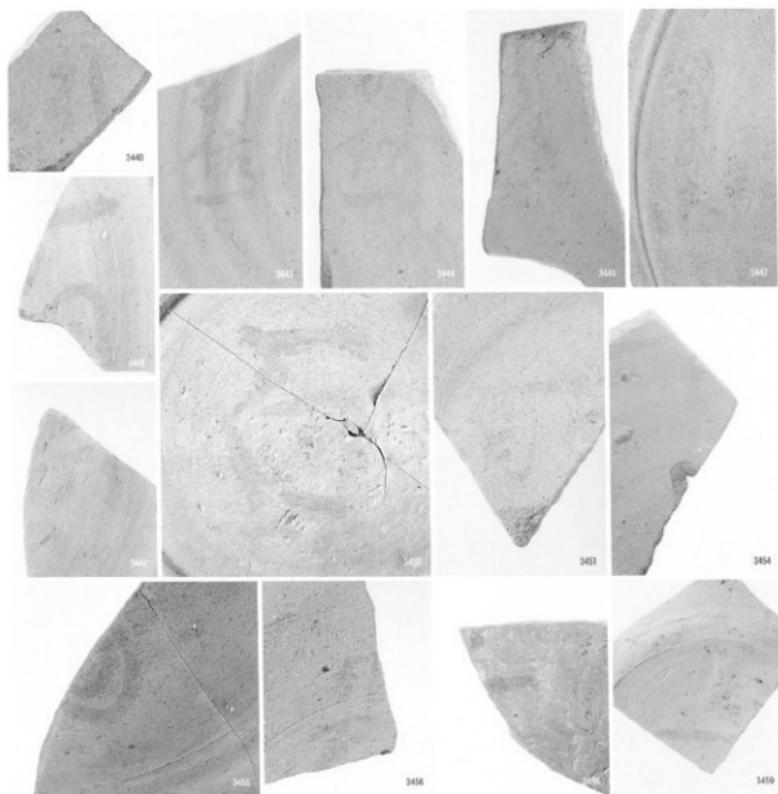


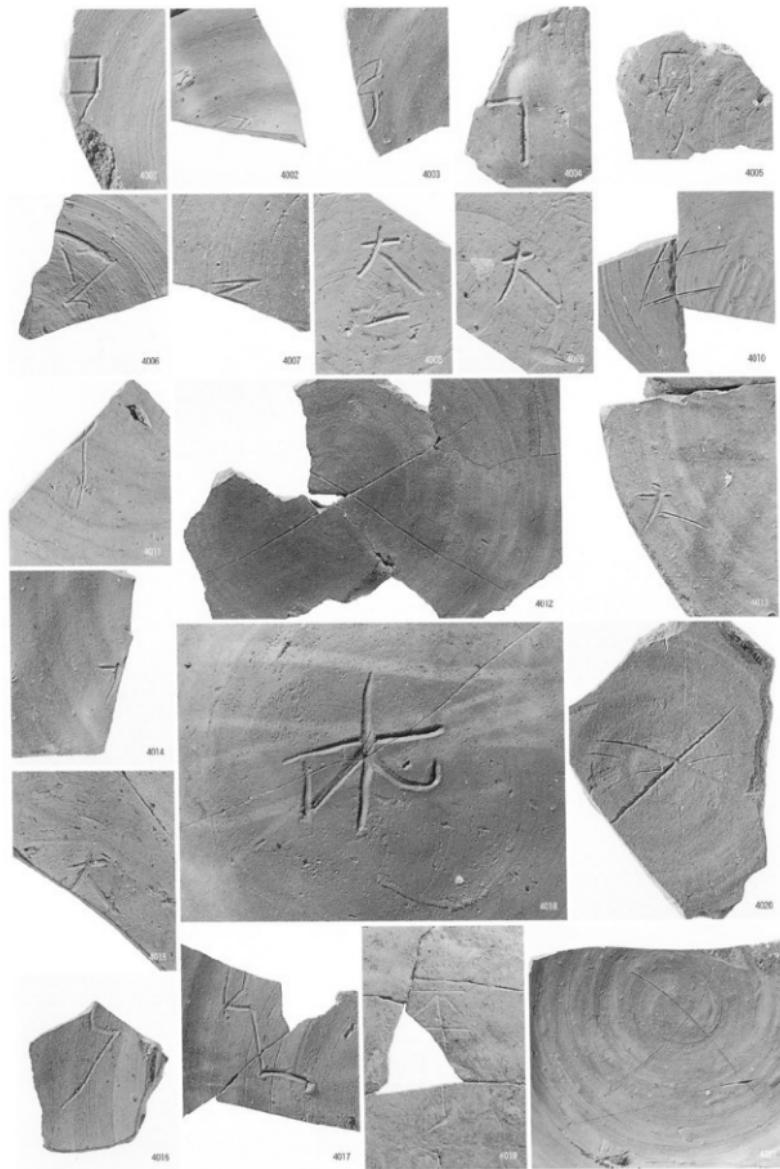


3375~3413



3416~3438





報告書抄録

ふりがな 書名	いどおりいせき
圖書名	平成8~18年度 井伊谷川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	文字資料編
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告
シリーズ番号	第174集
編著者名	丸杉俊一郎/清水尚/大谷宏治/田村隆太郎/本間祐二/西尾太加二
編集機関	財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市葵区谷口23番20号 TEL 054-262-4261(代表)
発行年月日	2007年3月16日

ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町名					
井伊谷川 井通遺跡	静岡県 浜松市 織江町 広幡字 井通	222020			世界測地系	19961201~ 19970331	11,550m ²
					34°	137°	
					48'	39'	
					36"	27"	
						19960319	
					日本測地系	19970701~ 20000331	
						20000701~	
					34°	137°	
					48'	20010331	
					24"	37"	
						20020401~ 20021231	

所取遺跡名	個別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
井伊谷川 井通遺跡	集落	古墳中期～後期	竪穴建物26軒・土坑・自然流路・土器集落	土師器・須恵器・土製品・鍛冶製造物・鉄製品・内行花文鏡	平野の要所に立地する大規模集落
	集落	飛鳥	掘立柱建物7棟・竪穴建物5軒・自然流路	土師器・須恵器・畿内產十手削・鐵製閑闊遺物・鉄製品	浜名湖北東岸の拠点集落
	官署	奈良～平安初期	掘立柱建物62棟・盛穴建物1軒・櫛6・大溝・土坑・溝・自然流路	土師器・須恵器・墨書き土器(「引佐」「引佐二」「引佐大」「川戸」など)・刻畫土器・円面鏡・獸面鏡・有孔把手付中空円面鏡・軸用鏡・朱墨付着土器・水滴・分胴・陶製計量器・畿内產土師器・三河窯址・製陶土器・移式窯・陶馬・上馬・人面墨書き土器・鈎形金具・鉄製品・鍛前(鍛?)	引佐郡家闕遺跡
	集落	平安前期～中期	掘立柱建物3棟・竪穴建物14軒・鍛冶遺構・土器集積・階地状遺構	土師器・須恵器・灰釉陶器・綠釉陶器・墨書き土器(「百」など)・刻畫土器・風字・圓底・宝珠鏡・水滴・陶製計量器・三河窯址・製塗土器・鍛製品・鍛冶窯遺物	
	集落	鎌倉	掘立柱建物4軒・井戸・自然流路	山茶碗・土師質土器・貿易陶磁	

要約	井通遺跡は弥生時代中期～中世にわたり集落が営まれた複合集落遺跡である。古墳・飛鳥時代には浜名湖北東岸における掘立柱集落として営業する。水陸交通の結節点に立地することから、奈良時代には遠江国引佐郡宗闕遺跡が運営され、港湾機能を有する津津、宿泊供給施設の館として展開する。「引佐」などと記載された墨書き土器は545点出土しており、陶鏡類・度量衡資料などが出土している。平安時代には規模は縮小するが宝珠鏡、虎尾鏡等が出土している。平安時代中期に断絶した後、鎌倉時代に短期間の集落が営まれる。
----	--

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第174集

井 通 遺 跡

井伊谷川流域の遺跡 II

文字資料編

平成8～18年度 二級河川井伊谷川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成19年3月15日

編集・発行 財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所
〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20
TEL (054)252-4261㈹

印 刷 所 松本印刷株式会社
〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片桐2210
TEL (0548)32-0851㈹

